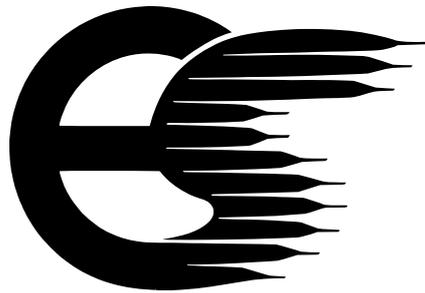


50年のあゆみ



犬山市体育協会

50周年 特別功労



堀尾 源吾



坂野 秀生



松山 邦夫



高岡 茂次郎



鈴木 光雄



奥村 久男



奥村 二郎



高木 光重



伊藤 裕規



本多 逸郎



舟橋 陽一郎

- 〈事業所〉 ● エナジーサポート株式会社
 ● 東洋紡績株式会社犬山工場
 ● 村田機械株式会社犬山事業所 (順不同、敬称略)

50周年 記念式典



▲表彰状および感謝状贈呈



▲柳本監督による記念スピーチ



▲体育館とプールの建設を陳情



▲来賓を招いての懇親会

50周年 記念事業

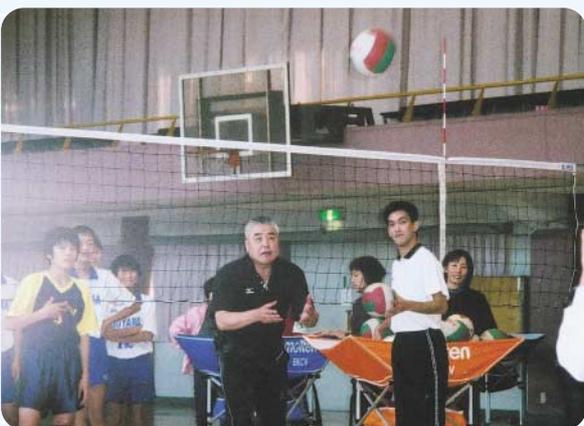
国民体育大会 第25回東海ブロック大会ソフトボール競技



記念ゴルフ大会と記念植樹（目録贈呈）



柳本監督のバレーボール教室



50周年 記念大会



▲ 犬山国際友好シティーマラソン
(2/13 市内コース)



▲ オープン卓球大会
(6/20 市体育館)



▲ ミックスチームバドミントン大会
(6/27 村田機械体育館)



▲ 近隣市町女子親睦バレーボール大会
(6/27 市体育館)



▲ 24時間マラソンサッカー
(7/31~8/1 東中グラウンド)



▲ 市民登山教室
(8/6~8 尾瀬ヶ原)



▲ クレー射撃大会
(8/8 関国際射撃場)



▲ 白帝カップ杯バスケットボール大会
(8/28,29 北小・南小・犬中・南中)



▲ バウンドテニス大会
(8/29 市体育館)



▲ 軟式野球大会
(9~12月 緑地グラウンド)



▲ 少年少女ソフトボール大会
(10/16,23 山の田公園)



▲ 国宝四城少年剣道大会
(10/23 市武道館)



▲ グラウンド・ゴルフ大会
(11/14 緑地グラウンド)



▲ スキーツアー・スキー教室
(12/25 おんたけスキー場)

目 次

発刊のことば	犬山市体育協会長	加藤武司	1
	犬山市体育協会理事長	竹中暎和	2
お祝いのことば	愛知県体育協会長	後藤 淳	2
	犬山市長	石田芳弘	3
	犬山市議会議長	前田幸雄	3
	愛知県議会議員	田中志典	4
	犬山市教育委員会教育長	瀬見井久	4
犬山市体育協会50年のあゆみ			5~12
広報「いぬやま体協だより」			13~43
スポーツ表彰受賞者一覧表			45~48
歴代賛助会員一覧表			49~52
加盟団体のあゆみ			53~95
犬山軟式野球連盟		犬山バスケットボール協会	
犬山ソフトテニス連盟		犬山陸上競技協会	
犬山剣道連盟		犬山サッカー協会	
犬山柔道会		犬山弓道協会	
犬山射撃協会		犬山スキー連盟	
犬山バドミントン協会		犬山山岳会	
犬山ソフトボール協会		犬山卓球協会	
犬山テニス協会		犬山バレーボール協会	
犬山バウンドテニス協会		犬山水泳協会	
犬山グラウンド・ゴルフ協会		犬山空手道会	
犬山ペタンク協会			

ごあいさつ

犬山市体育協会 会長 加藤武司



犬山市体育協会も、ここに設立50周年という大きな節目を迎えることができました。

これもひとえに先輩諸兄のご指導と、協会会員はもとより市民の皆様のご協力によるものと感謝いたしております。

また、名誉会長の石田市長をはじめとする行政の方々や、温かくご支援下さる賛助会員の皆様のおかげであることも忘れてはならないこととあります。ここに改めて厚く御礼申し上げます。

さて、こうして半世紀を歩んでまいりました本協会ですが、これまでの歴史を振り返り、来たるべき未来に思いを馳せますと今まで以上に様々な事業に取り組んでいかなければならないと志を新たにしております。

近年、「生涯スポーツ」という言葉が表すように、老若男女を問わず幅広い世代でスポーツの愛好者が増えております。そして地域においては「総合型スポーツクラブ」の設立を目指す取り組みも活発になってきております。

一方で世界に羽ばたくトップアスリートの育成、競技スポーツだけではなくレクリエーションスポーツにおいても全国大会に出場するハイレベルの選手の育成など、次世代はどの分野においても活躍できる選手を犬山市から輩出できる体制作りが必要であると思われまます。それを実現するためにも体育施設・設備の充実、上級指導者の育成、全国・世界でも通用する指導者を招請したスポーツ教室の開催、ジュニアスクールの開設など私の夢はとどまることがありません。

その反面、子供たちの間では互いにしのぎを削って競い合う競技スポーツではなく、友好を深めながら仲間プレーを楽しむレクリエーションとしてのスポーツをする風潮が増えつつあるように思います。

一昔前のように監督やコーチにしごかれて泣きながら自らを鍛えたスポーツのあり方が変化して、青少年が高齢者と同じ和やかな雰囲気環境で育っていくように思われまます。その是非を今ここで問うものではありませんが、私たち体育協会は時代の流れをしっかりと把握し、心身共に健康な犬山市民の生活向上のためには何が大切なのかを見極めることこそが使命であると考えております。またそれを果たすべく今後も努力をしていかなければならないと決意を新たにしております。

この50周年を契機に犬山市体育協会もNPO法人（「Non-Profit Organization（民間非営利団体）」営利を目的とせず、社会貢献を目的として活動する民間の団体）設立に向け、行政の方々のご指導を受けながら研究を重ね、より充実した組織を作っていこうと考えております。今後とも関係各方面の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

陳情のお礼と「総合体育館・温水プールの早期建設」のお願い

犬山市体育協会 理事長 竹中暎和



昭和 29 年、犬山市制と共に犬山市体育協会が誕生しました。
諸先輩先生方のご苦勞のもと、50 年の伝統ある歴史を築かれ現在の役員に引き継いでいただきご同慶のきわみでございます。

スポーツを通して市民の健康作りやその振興をはかりつつ、近隣市との交流を大事にしていきたいと考えております。今では生涯スポーツを第 1 の課題として老人社会（高齢化）や少子化の波の中、ニュースポーツ等を加えながら福祉・医療の補助をしつつ、観光事業の一環として対外試合等を多く催して泊まりのお客様を増やしたいと思っております。そのためにもこの 50 周年を機に市議会に陳情書を提出できたことは非常に有意義で、学校等を通せばもっと多くの署名があったことと思っております。「総合体育館と温水プールの早期建設陳情」にご協力いただきました市民の皆様方に体育協会理事長として改めて厚くお礼申し上げ、なお一層のご支援を賜りますようお願いする次第でございます。

これより後は、市長・市議の方々が市民のこの要望をどれほど必要と思われるかを見届けたい。今後とも、体育協会が市民の健康作りのけん引者であり続けることを期待してやみません。

祝辞

愛知県体育協会 会長 後藤 淳



このたび、犬山市体育協会が設立 50 周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴協会は、長年にわたり犬山市におけるスポーツ競技団体を統括し、体育・スポーツの普及・振興と、市民の健康づくり、体力づくりの推進に、大きく寄与されてこられました。

現在では県下でも有数の団体へと発展を遂げられ、役員の皆様はじめ関係各位の献身的なご尽力に深く敬意を表する次第であります。

さて、近年の健康意識の高まり、ライフスタイルの変化などに伴い、県民の生活とスポーツの関わりは一層深まり、スポーツ活動に対するニーズも高度化・多様化しております。

このような中、私も愛知県体育協会といたしましても、「いつでも、どこでも、誰でも」気軽にスポーツに親しめる「生涯スポーツ社会」の実現に向け、地域スポーツの振興に引き続き全力を上げて取り組んでいるところでございます。貴協会におかれましてもより一層のご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

おわりに、犬山市体育協会のますますのご発展を心からお祈り申し上げましてお祝いのことばといたします。

犬山市のスポーツ文化のために

犬山市長 石田芳弘



犬山市体育協会設立五十周年を心よりおよろこび申し上げます。
犬山市制と軌を一にする体協の歴史をふり返る時、体協関係者の果たしてこられたわが市のスポーツ文化への貢献に深く敬意を表します。

この機会に私なりにわが市のスポーツ文化のあり方を考えてみました。

文化というものの本質は、その地域の風土伝統の上に立脚したものでなければなりません。言わばオンリーワンの発想こそが、文化の尊厳を支えます。今後も犬山ならではのもの、犬山の豊かな自然環境を生かしたスポーツを育てていきたいと思えます。

一方、グローバルな普遍性を求めることも極めて大切です。オリンピックを中心とする世界に通用するスポーツ文化、レベルの高い技術を学び、施設を充実し、優秀な選手を育てていくことです。

犬山市の為に更に一層のご発展を祈念致します。

“心・技・体”を胸に

犬山市議会議長 前田幸雄



犬山市体育協会設立50周年、誠におめでとうございます。今を遡ること半世紀前の昭和29年、戦後の復興の足音が着実に高まる中、物資が乏しい厳しい環境であるにも拘わらず人々は体育を希求し、当初8団体でスタートした加盟団体も今や21を数える団体に逞しく成長されましたことは、誠に嬉しい限りでございます。

さて、社会が豊かになるにつれ、体育の併せ持つ使命も熟度を増し、知育・徳育の基盤となる本来の姿から高齢化社会に先駆けた次世代への予防医学の体系をも求められる時代となりました。これまでの「競技力向上」に加え、これからは健全な心と優れた技、強靱な体が備わった「心技体」という、まさに三位一体の在り方が求められていくのではないかと考えます。協会のご苦労に深く感謝しつつ、移りゆく人や時代の最も身近な存在として、これからも私たちをご指導下さることを心から祈念し挨拶とさせていただきます。

50周年を祝して

愛知県議会議員 田中志典



犬山市体育協会の設立50周年を心よりお祝い申し上げます。市民の競技、スポーツ等の振興や健康維持のため、体育協会が果たしてこられた役割は計り知れず、多くの関係者のご努力に敬意と感謝を申し上げます。

さて昨年は、アテネオリンピックも開かれましたが、世界の檜舞台で堂々と活躍する日本の選手も増え、とても頼もしく思っています。当然のことながら、その陰には毎日の厳しい練習があり、数秒や数分の勝負に自身のすべてをかけることにロマンを感じます。

頂点に立たなくても一般的には、充分競技を楽しめ、試合に出場できる喜びや幸せを感じることが大切な気がします。そして、「礼に始まり、礼に終わる」という精神、礼儀や心を重んじ、人格を鍛えるという極めて日本的な考え方を、どの競技でも活かして欲しいと思います。

我が犬山から、世界に羽ばたく選手が誕生することを願う一方で、競技を楽しむ皆さんの喜びがこだますることを祈ってお祝いの言葉と致します。

祝辞

犬山市教育委員会 教育長 瀬見井久



犬山市体育協会が創立50周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴協会は、犬山市制施行の昭和29年に設立されて以来、スポーツの普及・振興と市民の体力向上、健康の保持増進に努めてこられました。これもひとえに歴代役員の方々の献身的なご努力の賜物であると、深く敬意と感謝の意を表す所でありたいです。

さて、昨今のスポーツは「いつでも、どこでも、誰でも」という合い言葉のもと、子供から高齢者まで幅広いスポーツ活動が展開されています。また余暇時間の増大、健康意識の高まりなどから「生涯スポーツ」への関心はより一層高まっており、競技スポーツに限らず一人一人のニーズに応じていく指導者の育成、施設の充実が叫ばれているわけです。

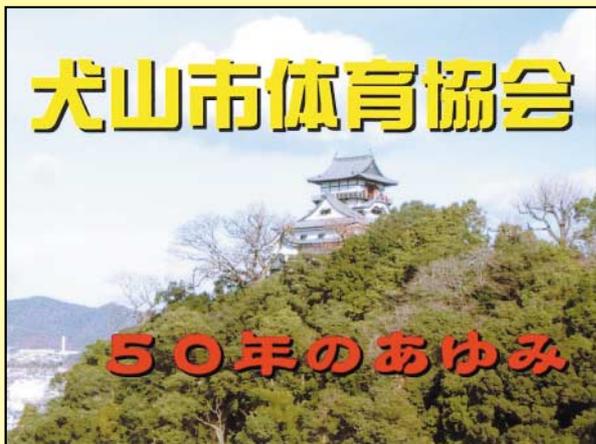
このような社会情勢の中、貴協会は「指導者育成事業」として指導者を計画的に増員する取り組みや、「総合体育館及び温水プール建設」の署名活動を展開されたことは市民全体を巻き込む活動であり、犬山市の飛躍の原動力になってくると期待しております。

創立50周年を契機に、貴協会は青少年の心身の健全な発達のみならず、スポーツを通して市民の皆さんが世代を超えて交流を深められ、生涯スポーツ「自ら学ぶ」を基本とする豊かなスポーツライフの確立に寄与されることを確信しております。

最後になりましたが、犬山市体育協会がますます発展されることを祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

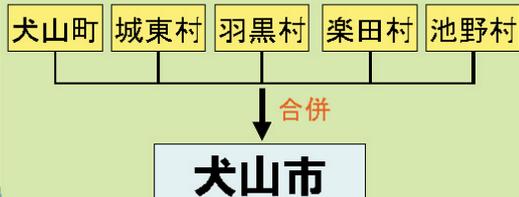
犬山市体育協会

50年のあゆみ



犬山市誕生(昭和29年)

- 昭和29年 市制施行



昭和29年、市制施行により犬山町・城東村・羽黒村・楽田村・池野村が合併し犬山市誕生。

犬山市体育協会設立

競技団体

野球、陸上、水泳、柔道、庭球、弓道
排球(バレーボール)、相撲

体育協会の目的

体育の普及振興と他の体育団体との連絡並びに体育愛好者の親睦を図る

昭和29年、堀尾源吾氏を初代会長として犬山市体育協会設立。設立時の競技団体は、野球・陸上・水泳・柔道・庭球・弓道・排球・相撲の8種目。

三市交歓体育大会始まる(昭和31年)

- 体育交歓を目的で開催

犬山市 小牧市 江南市



陸上競技表彰式

昭和31年から、体育交歓を目的として犬山市・小牧市・江南市の3市で交歓体育大会を開催。

国体旗リレー(昭和31年)



楽田から犬山橋まで国体旗をリレー

昭和31年10月、楽田から犬山橋まで国体旗のリレーを行う。

市民総合体育大会開催(昭和36年)



親睦の色彩が強いものからの脱皮

昭和36年、市民大会がしだいに親睦の色彩が強くなってきたため、市民総合体育大会と改め、より競技指向の強いものとした。

組織の変革(昭和37年)

会則の改正

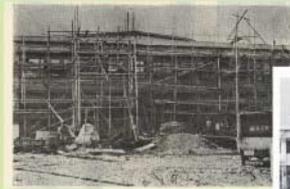
- 理事制がとられ、理事長を新設
- 役員任期は2年

競技団体が10種目

軟式野球、軟式庭球、バレーボール、
バスケットボール、卓球、陸上、柔道、
剣道、弓道、スキー

昭和37年、組織の変革を図るため会則の改正。この改正により、理事制がとられ、理事長職を設け役員の任期を2年と定めた。

犬山市体育館完成(昭和38年)



総工費 1億2千万円
延床面積 4,000㎡

昭和38年、市民待望の図書館を併設した犬山市体育館完成。総工費は1億2千万円。

事業所に会員募集(昭和41年)

11団体が会員の募集を依頼

軟式野球、バレーボール、卓球、サッカー
バスケットボール、陸上、柔道、剣道
弓道、スキー、山岳

昭和41年、スポーツ振興のため11種目の団体が事業所に会員を募集。

スポーツ教室始まる(昭和42年)

4種目で開催



サッカー



柔道



剣道



バレーボール

昭和42年、サッカー・柔道・剣道・バレーボールでスポーツ教室を開催。

オリンピック出場(昭和43年)



H2年 会員総会
で講演の村木氏

丸の内出身
筑波大学助教授

村木 征人

陸上三段跳び

メキシコ・ミュンヘン
へ出場

メキシコオリンピック、ミュンヘンオリンピックへ陸上三段跳びで丸の内出身の筑波大学助教授村木氏出場。

加盟競技団体増加

- 昭和44年
ソフトボールが加盟
- 昭和45年
射撃が加盟

加盟団体は、13団体

昭和44年、ソフトボール加盟。昭和45年、射撃が加盟。加盟団体13団体となる。

四市交歓体育大会(昭和47年)

- 三市交歓体育大会に**岩倉市**が参加



開会式の様子(江南市開催)

昭和47年、三市交歓体育大会に岩倉市が加わり四市交歓体育大会となる。

第1回大会開催(昭和48年)



バスケットボール



弓道



サッカー

昭和48年、体育協会が主催する大会が始まり、第1回大会はバスケットボール・弓道・サッカーの3種目で開催。

会則全面改正(昭和50年)

目的

体育の普及振興と他の体育団体との連絡並びに体育愛好者の親睦を図る



スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活に寄与する

昭和50年、会則の目的をスポーツの振興・市民の健康作りを目指したものに改正。

山の田公園テニスコート(昭和52年)



体育功労者として

仙田藤助氏文部大臣賞受賞

昭和52年、山の田公園テニスコートが完成。体育功労者として仙田氏が文部大臣賞受賞。

山の田公園野球場にナイター(昭和53年)

山の田公園野球場



バドミントンが加盟

昭和53年、山の田公園野球場にナイター設備完成。バドミントンが加盟。

市民プールオープン(昭和54年)



建設費

2億3600万円
50m 9コース
円形幼児用プール

体育功労者として

小川鉦氏文部大臣賞受賞

昭和54年、市民プール完成。建設費は2億3600万円。50m公認コース、幼児用プール併設 体育功労者として小川氏が文部大臣賞受賞。

規約改正(昭和56年)

常任理事
理事



理事
評議員

理事は、会長の任命から評議員会の選出となる

本則と共に細則が設けられる

テニス・サッカーが加盟し16団体となる

昭和56年、規約を改正。理事・評議員制となり理事の選出方法が変わる。本則と細則に分けられる。テニス、サッカーが加盟し16団体になる。

木曾川犬山緑地開所



昭和56年

テニスコート

昭和57年

野球場

昭和58年

多目的グラウンド

昭和56年、木曾川犬山緑地テニスコート。昭和57年に野球場。昭和58年に多目的グラウンド完成。

犬山市弓道場オープン(昭和57年)



弓道場

家庭婦人バレーボールが普及し婦人会を離れてスポーツクラブとして誕生

ソフトボールの普及がめざましい壮年のチームを町内、事業所で結成



昭和57年、弓道場完成。この頃、ママさんバレーが普及。ソフトボールも大人気で市民大会では90チームを超えることもあった。

犬山市武道館完成(昭和58年)



武道館建設調査会に役員が参画

昭和58年、武道館完成。その建設調査会委員に体育協会役員が委嘱され建設に貢献。

昭和60年～昭和62年

昭和60年

第40回国体に菊水化学工業出場

昭和61年

卓球協会藤田正澄氏全国大会で優勝

昭和62年

「キャストィバル犬山'87」開催

柔道、剣道、ソフトボールが協賛事業を開催
法人化研究委員会発足

昭和60年、菊水化学工業が国体軟式野球に出場。昭和61年、卓球の藤田氏が全国大会で優勝。昭和62年、法人化研究委員会が発足。

体協35年のあゆみ発刊(平成元年)

目次

一層の飛躍にむけて：犬山市長／松山邦夫……
健康は富に勝る財産：犬山市議会議長／加藤忍……
スポーツに求める可能性：愛知県議会議員／石田……
生涯を通じた健康づくり：犬山市教育長／鈴木光……

I部 市体育協会のあゆみ……
昭和29年度……(10) 昭和31年度……(13)
昭和36年度……(16) 昭和37年度……(18)
昭和39年度……(24) 昭和40年度……(26)
昭和42年度……(31) 昭和43年度……(32)

体協35年のあゆみ

犬山市体育協会

平成元年、体育協会設立35周年を記念し「体協35年のあゆみ」発刊。

いぬやま体協だより創刊(平成2年)



日中友好都市交流卓球カーニバル
藤田正澄・水谷ひさ子
松田博

平成2年、「いぬやま体協だより」創刊。この年東京で開催された日中友好都市交流卓球カーニバルに藤田・水谷・松田3氏が出場。

シンボルマーク決定(平成3年)



デザインした藤田氏
に感謝状

平成3年、藤田氏デザインによる体協マークが会員総会で発表。マークは「犬山市のまるいちとスポーツの頭文字であるSとの融合パターンを図式化」

石川国体ソフトボール視察(平成3年)



報告会議



視察役員

バウンドテニスが加盟、17団体に

平成3年から国体ソフトボール競技のための視察や報告会を開催。バウンドテニスが加盟。

冬季国体団長に松山氏(平成4年)



第17回山形国体
愛知県選手団
結団式

平成4年、山形冬季国体の愛知県選手団の団長に松山市長が就任。

国際交流(平成4年)



日系ブラジル人との
サッカー交流



中国の講師を招き
卓球講習会

法人化準備委員会発足

平成4年、日系ブラジル人とのサッカー交流、中国の講師を招いての卓球教室など国際交流が活発。法人化に向けての準備委員会設立。

第1回四市スキー大会(平成5年)

ソフトボール

第49回国体リハーサル大会開催



飛騨かわいスキー場



平成5年、ソフトボール国体リハーサル大会開催。この年に、第1回四市スキー大会が飛騨かわいスキー場で開催。

国体ソフトボール競技(平成6年)



平成6年、国体ソフトボール競技成年男子1部を山の田公園野球場、木曽川犬山緑地多目的グラウンドで開催。

体協事務局移転(平成7年)



平成7年、体育協会事務局が教育委員会から独立犬山市体育館に開局。

第1回市民水泳大会(平成7年)



平成7年、第1回市民水泳大会開催。水泳大会には石田市長も参加。

高岡会長就任(平成8年)



近隣体協に先駆け
民間人による会長
誕生

犬山市体育協会
「規約」施行

水泳が加盟、18団体に

平成8年、民間人の会長として高岡氏が就任。この年から現在の規約が施行。水泳が加盟し18団体になる。

かんぼ健康増進支援事業(平成8年～)

平成8年

かんぼ犬山ジュニアフットボール・リーグ

平成9年

かんぼ犬山少年軟式野球大会

平成10年

かんぼ犬山グラウンド・ゴルフ大会

平成8年から3年間、かんぼ健康増進事業が始まり、ジュニアフットボールリーグ、犬山少年野球大会、犬山グラウンド・ゴルフ大会開催。

体協だより題字変更(平成9年)



グラウンド・ゴルフが加盟、19団体に

平成9年発行の「体協だより」第14号から題字が変更。グラウンド・ゴルフが加盟し19団体になる。

愛知スポレク西尾張大会(平成9年～)

平成9年～平成11年



弓道

平成12年～平成14年



グラウンド・ゴルフ

平成15年～
平成17年



サッカー

平成9年、県民大会に代わりスポーツレクリエーション大会が始まる。弓道、グラウンド・ゴルフ、サッカーの西尾張大会を3年ローテーションで開催

体協自主事業始まる(平成11年～)

自主事業

市民ゴルフ・ハイキング

競技団体支援事業

中学卓球講習会・ジュニアスキー大会
初心者バドミントン講習会

空手が加盟、20団体に

平成11年、市民ゴルフ、ハイキング始まる。各競技団体の支援事業としての講習会や大会を開始。空手が加盟し、20団体になる。

ハイキング(平成11年～)



ハイキングでは、多くの参加者と木曾川の船下りを楽しんだり、紅葉の中を歩きました。

市民ゴルフ大会(平成11年～)



市民ゴルフ大会は、犬山カンツリー倶楽部を会場として年2回開催し、年を追うごとに盛大になっている。

給与支払い事業所開設(平成12年)

平成12年1月1日

給与支払い事務所を開設

事業種目 犬山市体育施設管理

事業所開設報告会開催

期日 平成13年3月12日(日)

会場 名鉄犬山ホテル

ペタンクが加盟、21団体に

平成12年、給与支払い事務所として体育協会を小牧税務署に登録。ペタンクが加盟し、21団体になる。

指導者育成事業(平成13年)

オーキスパレーボール教室



指導者養成講座

柳本監督熱血指導

平成13年、指導者育成事業として講座や柳本監督によるバレーボール教室を開催。

指導者育成事業(平成14年～)

平成14年



テーピング

平成15年



体ほぐし

平成14年、テーピング講習会。平成15年、体ほぐしの講習会を開催。

篠原選手扁額除幕式(平成15年)



平成15年、柔道篠原選手の扁額除幕式を犬山祭りに開催。「心技体」の書が武道館柔道場に掲げられた。

全日本女子バレーボール(平成15年)



加藤会長応援のエール



平成15年8月、柳本監督率いる全日本女子バレーボールチームによる紅白戦開催

ミニ国体ソフトボール(平成16年)



開会式



監督・主将会議

平成16年、体協50周年を記念して国民体育大会第25回東海ブロック大会ソフトボール競技を開催。

緑地災害復旧作業(平成16年)



台風23号による木曾川増水で被害を受けた木曾川犬山緑地テニス場、野外活動センターを体育協会の呼びかけによるボランティア250名で復旧。

ホームページ開設(平成16年)

● <http://www.inuyama.net/~taikyou>



● E-Mail taikyou@inuyama.net

平成16年、ホームページを開設。11月に名鉄犬山ホテルで開催した犬山市体育協会設立50周年記念式典で披露

広 報

「いぬやま体協だより」

創刊号

開かれた体育協会を目ざし

“新生犬山体協”スタート

市民総スポーツ化を目標に



犬山市体育協会会長
松山 邦夫

各種事業を拡大し

スポーツ人口の普及を図る

このたび、関係各位のご協力によりまして「いぬやま体協だより」第1号が発行できますことは、誠に同慶に堪えません。

顧みますと、昭和29年に犬山市の市政施行を契機として本協会が発足し、本年度36年の歳月が流れました。

体育協会の目的

人は誰でも、健康で活力ある人生を送りたいと願っています。しかし、近年の文化生活のなかで運動量の減少などの理由による健康・体力の低下を見逃すことはできません。心身共に充実した日々を過ごすためには、一人ひとりが

健康・体力の増進に真剣に取り組まねばなりません。

体育協会はスポーツを通じて健康で明るい地域づくりを目ざすとともに、アマチュアスポーツの振興のため、優れた競技選手の養成と競技団体の育成発展を目的として設立されています。

体協事業とは！

スポーツの振興

▼市民の総スポーツ化

- ①市民の健康と体力づくりを旨とする行事の実施・協力(スポーツ教室・市民体育祭等)
- ②市民のスポーツ意欲の向上(誰でも参加できるスポーツ行事の開催)

▼競技スポーツの振興

- ①市民大会の開催(加盟競技団体の各競技)
- ②選手強化・養成(加盟競技団体への援助)
- ③選手派遣(全国大会・県大会・四市交歓大会等)

▼スポーツ団体の育成

- ①講習会等奨励事業(加盟団体の運営・技術向上)
- ②指導者の養成事業(加盟団体の育成)

愛知国体開催の取り組み

平成六年に開催予定の国民体育大会「愛知国体」の折、犬山市はソフトボール(成年男子一部)の会場に決定しています。国体成功にむけ市民とともに一致協力し支援します。

表彰事業

広報事業

「犬山市は恵まれた環境である」と
筑波大助教授・村木氏講演



賛助会員

加入のお願い

犬山市体育協会は、創立以来各種スポーツ事業を推進し、市民の健康増進と体力の向上に努めています。このたび、より一層市民のための協会であるため、内容及び活動の充実を目ざし規約の全面改正を行い、新生体育協会として力強く発足いたしました。

つきましては、体育協会事業にご理解いただき、賛助会員にぜひご加入下さいますようお願いいたします。

(1)法人会員

会費年額 一〇一万円

(口数制限なし)

(2)個人会員

会費年額 一〇一万円

(口数制限なし)

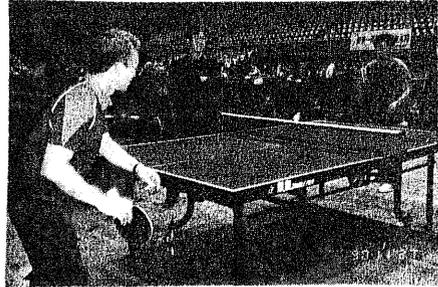
※お問合せ 犬山市体育協会事務局 ☎1800へ。

第2号

昨年十一月二十八、二十九日の二日間、北京で開かれた日中友好協会創立四十周年記念「日中友好都市交歓卓球カーニバル」に、犬山市から選手団（三大寺慈温团长）が出場、日中友好のかけ橋としてピンポン交歓を行いました。

このカーニバルは、日中両国の友好都市間で互い一つのチームをつくり、競技する初めての大会。日本からは中国の各市、各省と友好締結をしている市や県から、三百六十人の選手、役員が参加しました。

日中友好都市交歓卓球カーニバル 犬山市は3人の選手を派遣 深めたピンポン交流



犬山柔道会（会長・勝野久敏）は一月十五日、毎年恒例の鏡開きを同市武道館で行いました。

この日は、小学生が紅白試合を行った後、武道館の玄関に石うすと杵を持ち出し、お餅つきに挑戦。最近はお餅つきを知らない子供たちも多く、お父さん、お母さんに手伝ってもらいながら、慣れない手つきで、べったんべったんとお餅つきをしました。

お餅つきです 犬山柔道会が 鏡開き

つき上がったお餅は、ぜんざいにして、さつそくみんなどで味身。汗を流して出来上がったものだけに、みんな「とてもおいしい」と満足そうな顔で舌鼓を打っていました。「これで今年も元氣いっぱい練習ができそうです」と、会員のみなさん。

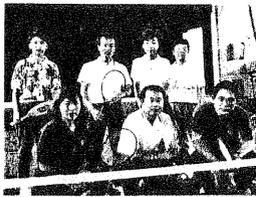


第3号

▶▶ Let's プレイスポーツ ◀◀ 私たちの クラブを紹介します

バウンドテニス

— いつでも、どこでも、誰でも楽しめる スポーツ —



バウンドテニスは、ひと言でいうならば、テニスと卓球を合成したスポーツです。

ラケットの長さが五〇cm、コート（コート）の長さが三m×一〇m、ネットの高さが五〇cmで、テニスコートの六分の一の面積でプレイができ、場所を選ばないのが何よりの特徴です。

バスケットボール

— 小学生から一般まで
広く会員を募集中 —

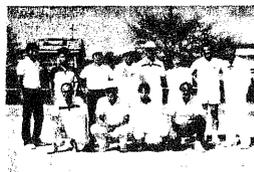


走れノサイドヘーリバウン
ドノシュートノと大きな声が
飛ぶ。心臓が破裂しそう。息
を切らして走る。愛知ミ
ニバスケットボールサーマフ
エステイバブル参加を前に開か
れた犬山選抜の合宿の様子で

す。昭和五十一年に村田機械
大山とタイアップして開催さ
れたミニ教室から、今は市内
スポーツの活動支援と地域での
普及向上のための教室に変わ
りました。現在、北小学校で
毎日曜日に男子女子の教室を
開いており、小学校四年生を
中心に会員を募集していま
す。

軟式庭球

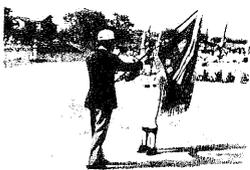
— 年を取っても
楽しめる スポーツ —



犬山軟式庭球部は昭和二十
九年四月、市政施行と共に設
立されました。犬山市では、
昭和三十六年に三市大会、四
十六年の五月に全尾張軟式庭
球選手権大会が開催されてい
ます。四十八年四月には、犬
山軟式庭球連盟として、再登
録加盟しました。

軟式野球

— 少年野球の育成・
発展を旨とす —



連盟創立以来四十有余年の
伝統と歴史のある犬山軟式野
球連盟は、現在会員数二般
社会人六〇チーム、早朝野球
七チーム、中学生四チーム、
児童一二チーム、千三百人の
毎日曜日、木曽川、犬山緑地野
球大世帯です。野球好きの事業
場を中心に、市内事業所のグラ
所やクラブ、同級生同志等々
さまざまなチームが、三月の
ます。練習は、それぞれの
チームの力量に応じたクラス
別（A、B、C級）の中で、
勝敗を競っています。

第4号

冬季国体(山形)へ
愛知県選手団参加

第四十七回国民体育大会(へ)にはな国体)冬季大会が一月二十六日(二十九日の四日間、山形県で開催されました。種目は、スケート(スピード・フィギュア)とアイスホッケーの二競技で、愛知県からも松山邦夫(県市長会会長・大山市長)を団長とした選手団が出場。日ごろ鍛えた力と技を競い、総合で男子十二位、女子九位の好成績を収めました。

松山邦夫団長率いる
選手団大活躍

松山団長は、大会前に名古屋市で開かれた愛知県選手団の結団式で、「全国各地のスポーツマンと友好の輪を広げるとともに、二年後の「わかしゃち国体」に臨む意気込みを大いに発揮したい」と挨拶。その決意どおり、大会中は積極的に選手を激励し、また施設の視察なども熱心に行いました。

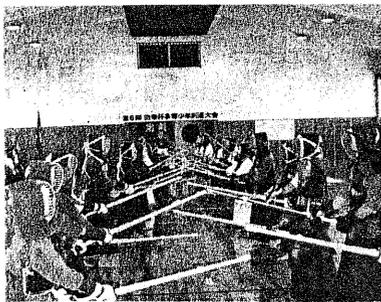
視 察

大山市は、平成六年に開催される「わかしゃち国体」(第四十九回国民体育大会)のソフトボール会場に決定していますが、その準備を進めている体育協会では、昨年の国体開催地である石川県に視察員を派遣しました。
市体育協会鈴木光雄副会長を団長とする視察員三十七人は、昨年十月十六日・十七日の二日間、金沢市などを訪問。



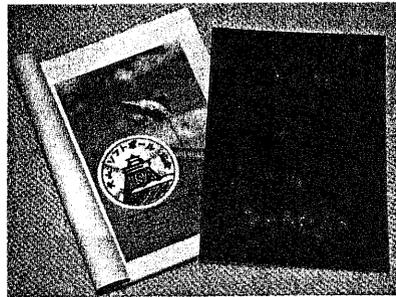
剣 道

生涯を通して
剣道を



剣道連盟の組織は、少年たちを対象としたいわゆる「スポーツ少年団」に相当するものと、一般を対象としたものからなっています。稽古は週二回、仕事の都合などで十分出来ないこともあります。短時間の稽古に気持ちは集中させ、皆、頑張っています。

創立15周年
祝



創立15周年記念誌

犬山ソフトボール協会
記念式典を開く

発足十五周年を祝って、犬山ソフトボール協会(本多克郎会長・六十チーム加盟)が十二月一日、記念式典を市福祉会館で開きました。式典には、愛知県ソフトボール協会の木下繁助理事長はじめ、来賓関係者合わせて二百六十人が参加。

「特に和の心をモットーにしてここまで歩んできました。また平成六年のわかしゃち国体に向かって、皆さんとともに全力を尽くし、ぜひ成功させたいと挨拶しました。祝いました。」
協会に詳しい、本多会長が勇壮な尾張太鼓を披露すと、会場から一斉に拍手が起りました。また同協会のあゆみにまとめた記念誌も配られ、和やかな交歓会で十五周年を祝いました。



協会のメンバーが披露した尾張太鼓

第5号



みなねのこむね

スポーツを通して国際交流

日系ブラジル人とのサッカー交流試合

梅雨期の7月12日(日)、犬山市・小牧市で働くブラジル人とのサッカー交流試合を木曾川犬山緑地グラウンドで開催しました。幸い天候に恵まれ、楽しい中に友好と親善を深めることができました。

ブラジルでは、サッカーは国民的なスポーツで、子供の頃からボールで遊んでいる彼等

中国から講師を招いての卓球講習会

は、さすがにボール・コントロールの技術には素晴らしいものがあります。

梅しい程に「サッカーを楽しんでるなあ」と感心し、学ぶことの多い一日でした。

また近い内に機会を得て、第2回の交流試合を開き、一緒にボールを蹴れる日を楽しみにしています。

卓球講習会

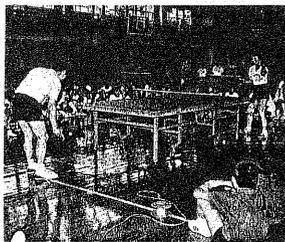
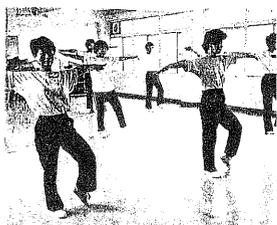
元中国第5位の羅武漢氏を招き、中学生を主体とする卓球講習会が、犬山市卓球協会の主催により、8月23日(日)に開かれました。

同講習会は、同卓球協会が卓球の持つ楽しさを広め、底辺の技術向上を計るために毎

グループ紹介

体操クラブ「コプラムワールド」は、結成5年目。健康で楽しくをモットーに、年を忘れた仲間達と「ストレッチング体操」にはげむグループです。

毎週月曜日、午前10時~11時30分。場所、犬山市西公民館。会費月1000円。講師に、梅田、保浦両先生を迎え、軽やかな音楽に合わせて、リズム体操をしております。



年開いているもので、当日は一般を含め200名近くが参加しました。講師の先生の指導のもと、基本技術を中心に終日熱心な講習が続きました。

講習会後には城東中学校卓球部生徒との交流会も開かれ、貴重な体験談も披露されました。同卓球協会では、これからも講習会や初心者のための教室を開き、卓球を広めていく方針です。

第6号

Let's プレイ・スポーツ



グループ紹介

太極拳犬山婦人クラブ

今ブームでもある「太極拳」の教室です。ゆったりとした動きで意識をもって気を通して行えば体の中からリフレッシュさせ気血の流れを良くして、体調を整え、腰痛、肩こり、頭痛などを解消します。

犬山婦人会のクラブ(毎週木曜日、午前10:00~12:00)として発足して1年2ヶ月過ぎましたが、入会して太極拳をやり出してから、頭痛薬を一度も飲まなくなったとか。針治療に一度も行かなくなったという会員の方の言葉も聞

つくりとした動きですので、年

令など関係なく、どなたでも出来ます。



武道館(月曜、午前10:00~12:00)、しろひがし集会所(水曜、午後2:00~4:00)橋爪中公民館(金曜、午後8:00~9:30)の教室があり、先日、4つの教室の「合同野外太極拳大会」を、木曾川の緑地公園で行いました。青空の下、木曾川のせせらぎと小鳥のさえずりを背に受けて皆さん心から楽しみながら太極拳を演舞しました。これからも春秋、年2回合同行事として行いたいと思っています。どうぞ皆様も気軽な気持ちで参加して下さい。

第1回 四市交歓体育大会 スキー競技大会 開催される!

四市の親善とアマチュアスポーツの普及、スキー技術の向上を目的として、2月21日(日)岐阜県飛騨かわいスキー場で「第1回四市交歓体育大会スキー競技大会」が開催されました。

四市交歓体育大会は37回の歴史を誇りますが、このスキー競技大会は冬季競技として交歓体育大会に初めて登場しました。

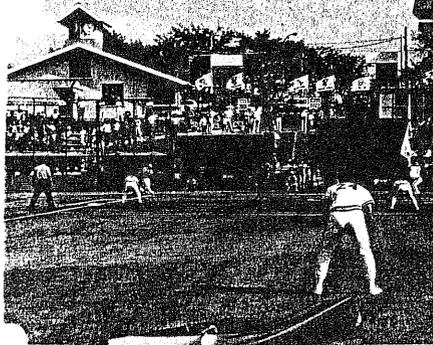
大会は、激しく降る雪の中で行われましたが、各市代表の80名余の選手の熱気と地元河合村、スキー場関係者、大会役員のみなさんの尽力により、事故も無く順調に競技がすすみ、素晴らしい大会となりました。

大会成績は次のとおり。
優勝 小牧市 準優勝 江南市
3位 岩倉市 4位 犬山市



第7号 平成5年 わかしやち国体

リハーサル大会



リハーサル大会を終えて
愛知県で、第5回国体体育大会が開かれて以来45年ぶりに、第49回わかしゃち国体が再度本県で開催され、犬山市でもメイン種目のソフトボール成年男子1部会場となり、全市挙げて歓迎ムードが盛り上がりまして来ました。今年度はリハーサル大会として、平成5年度日本男子ソフトボール・リーグ1部第4節が開催されました。このリーグ戦を観戦してさすが日本一を誇る各チームだけあって、随所に素晴らしいプレーを見る場面が多々あり、平素あまり見ることのできないレベルの高い試合を市民が観戦することができ、色々と今後の参考になるのではないかと思います。

特に私はソフトボール種目だけでなく、どの種目においても日頃の心身の鍛練の大切さを参加選手諸氏より学ぶ所が多いと思います。それはどのレベルにおいても常に各自の技量を維持向上させる努力の大切さを感じました。彼等も仕事を持ち余暇を見い出して、努力をしていることを見がしてはならないと思えます。私たちはこの国体を通し、参加選手より学ぶところは学ぶと共に日本全国からの遠来のお客様を迎える市民の心配りが大切だと思います。そして、犬山市体育協会としても、リハーサル大会を生かし来年度の「わかしゃち国体」にむけ一層の努力と協力をせねばと思います。
犬山市国体事務局 小島 敏三

第8号

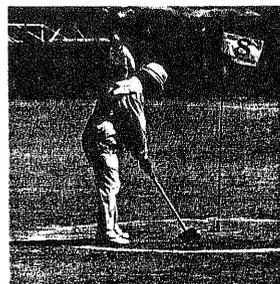
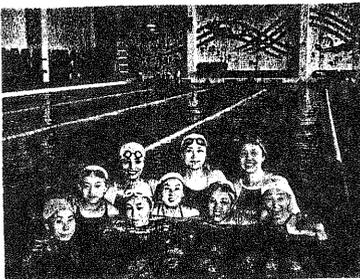
犬山マーガレットスイミングクラブ
水泳は身体器官全体のバランスのとれた発達、健康管理、また衛生的な生活をするためにも有意義なスポーツです。犬山マーガレットスイミングクラブは発足以来6ヶ月とまだまだ日は浅いのですが、お年寄りから若い方まで生涯スポーツとしての水泳に真剣に取り組んでいます。毎週水曜日午後13:00~14:00まで大口町温水プール(または各務原市温水プール)において前田節子、竹島幸子両先生の指導のもと泳げない人は泳げるように、また泳げる人は仲間と楽しく練習に励んでいます。
泳げなかった人が水に浮かんだ時、また浮いて進んだ時、水との戦いの中で勝ちとった感動、それは苦しさの中らつかみとったこの上もない喜びであると思います。やがて迎える高齢化社会をはつらつと生きぬく為にも私達のクラブ活動に参加しませんか。泳いだ後の爽快感に、心も体もフレッシュ、長寿社会への貯金を始めてみませんか。

ゴルフ紹介

犬山グラウンド・ゴルフ同好会
グラウンド・ゴルフってどんなスポーツ?。ゴルフはよく知ってるけれど……
こんな疑問を最近よく耳にします。
それでは皆さんにご説明しましょう。

このスポーツは、高齢化社会を迎えた今、高齢者の健康、体力づくりの一環としてスポーツ種目の創造、生涯スポーツの推進を目的に生まれたのです。

このグラウンド・ゴルフは、専用クラブでボールを打ち、ホールポストへホールインするまでの打数を競うものです。場所によって、また距離によってホールポストの数や場所を、自由に設定することが



でき、ルールも簡単なため、高齢者はもちろんご家族でも手軽に楽しむことが出来ます。市でも5年前からこのグラウンド・ゴルフを取り入れられ、市民大会がすでに5回開催されています。

また、グラウンド・ゴルフを楽しむ愛好会も各地で組織され、現在5つのクラブがグラウンド・ゴルフを楽しんでいます。そして、今、その組織が一つとなって「犬山グラウンド・ゴルフ協会」が本年4月に設立される運びとなっています。皆さんも是非一度グラウンド・ゴルフに挑戦してみたいかがですか?用具等の心配は要りません。詳しいことを知りたい方、ご質問等は次のところまでご連絡ください。
犬山グラウンド・ゴルフ同好会事務局

第9号

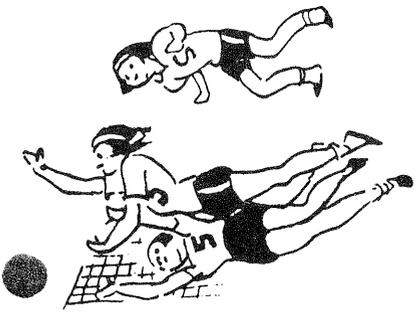
体協

40周年のあゆみ

●昭和29年	犬山、城東、羽黒、栗山、池野の1町4村が合併し大井市となる。
●昭和31年	市制施行に伴ってスポーツ界も合併、再編し大井市体育協会を設立する。
●昭和35年	体育交歓を目的に大井市、小牧市、江南市で三市交歓体育大会が始まる。
●昭和36年	各競技団体による行事は卓球、陸上、バスケットボール、バレーボール、野球、陸上競技、スキーの7種目で行われる。
●昭和37年	市民総合体育会組織される。組織の改正により理事部制がとられ理事長職を新設、役員任期は2年となる。
●昭和38年	競技団体が、軟式野球、軟式陸上競技、バレーボール、バスケットボール、卓球、陸上、柔道、剣道、弓道、スキーの10種目となる。
●昭和39年	三市交歓体育大会で大井市が総合1位、初優勝する。
●昭和40年	第1回卓球教室が始まる。
●昭和41年	新事業として第1回蹴球競技陸上競技大会開催される。
●昭和42年	市内各事業所に公益施設の依頼を行う。その種目は、軟式野球、連盟バレーボール協会、バスケットボールクラブ、卓球協会、サッカークラブ、陸上競技クラブ、柔道会、剣道協会、弓道会、スキークラブ、山岳会の7団体であった。
●昭和43年	体育協会主催のスポーツ教室が始めて開催される。
●昭和44年	サッカー教室、バレーボール教室、柔道教室、剣道教室の4種目で行われる。
●昭和45年	丸の内出身の村木貞八氏が三段昇進でメギンコロンビックに出場する。
●昭和46年	競技団体が軟式野球、軟式陸上競技、バレーボール、バスケットボール、卓球、陸上競技、ソフトボール、柔道、剣道、弓道、山岳、スキーの12団体となる。
●昭和47年	第1回男子バレーボールリーグ戦が行われる。
●昭和48年	競技団体に射撃が加わり13団体となる。
●昭和49年	第1回オリエンタリング大会が行われる。
●昭和50年	三市交歓体育大会に岩倉市が参加、この年から岩倉市体育大会となる。
●昭和51年	第1回弓道大会、第1回サッカー選手権大会、第1回バスケットボールリーグ戦が開催される。
●昭和52年	四市交歓体育大会は柔道、

●昭和50年	体育協会会則が昭和47年米のもので現状にそぐわない節も多くなり、他市を参考に会則の全面改正が行われる。
●昭和51年	第1回バドミントン大会が開催された。
●昭和52年	1000キロ歩こう会がこの年から始まる。
●昭和53年	50年改正の会則のもと、各競技団体は改めて加盟申し込み書を提出、この年現在の体育協会の母体ができる。
●昭和54年	関係書類等がほぼ完全に揃うようになり、書類保蔵も正確になる。仙田勝助氏体育功労者として文部大臣賞受賞する。山の田公園にテニスコートオープンする。
●昭和55年	テニス、バレーボールの7チームが始まる。
●昭和56年	バドミントンクラブが加盟団体となる。
●昭和57年	山の田公園野球場にナイター設備できる。
●昭和58年	四市交歓体育大会男子総合で1位になる。
●昭和59年	小川敏文文部大臣賞受賞。各競技団体が体育協会に加盟する形をとってか、近代化
●昭和60年	へ向けて着実に脚音を始める。
●昭和61年	規約が改正され、理事、評議員の任期が2年となる。
●昭和62年	とかわり、その理事は会長からの任命から評議員会選出となる。
●昭和63年	新規約は、本則と共に細則が設けられる。
●平成元年	競技団体は軟式野球、連盟バレーボール、バスケットボール、卓球、陸上競技、剣道、サッカー協会、柔道協会、弓道協会、陸上競技協会、スキー連盟、バドミントン協会、山岳会、ソフトボール協会、卓球協会、テニス協会、バレーボール協会の16種目となる。
●平成2年	ソフトボールの数がめざましく、30、40年代は選手1チームが町内単位、又は事業所でつくられる。
●平成3年	女性では家庭婦人バレーボールが普及し婦人会を離れてソフトボールクラブとして誕生する。
●平成4年	大井市弓道場オープンする。
●平成5年	理事の改選による新体制のもと、武蔵館建設調査会に役員が参加する。
●平成6年	四市交歓体育大会女子総合1位となる。
●平成7年	大井市武蔵館オープンする。
●平成8年	市制30周年記念(在委市民体育大会が市制30周年記念大会

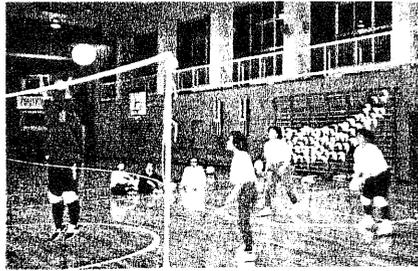
●昭和60年	の名称を冠して開催される。
●昭和61年	第40回団体に、岩倉化学工業
●昭和62年	卓球協会の藤田進氏全国大会で優勝される。
●昭和63年	大井市築城400周年を迎え、「キヤスティブル大井市」博覧会が開催される。
●平成元年	大井市築城400周年を迎え、「キヤスティブル大井市」博覧会が開催される。
●平成2年	「いぬやま体協だより」創刊号発行される。
●平成3年	大井市体育協会シンボルマーク決まる。
●平成4年	第46回国民体育大会ソフトボール競技成年男子組開催の石川照幸氏がソフトボール会場を視察する。
●平成5年	大井市バウンディング協会が体育協会に加盟し、17競技団体となる。
●平成6年	第47回国民体育大会ソフトボール競技成年男子組開催の山形県鶴岡市で開催する。
●平成7年	第47回国民体育大会男子ハル大会、第27回日本大学男女ソフトボール選抜大会の香川県観音寺と大井市を視察する。
●平成8年	大井市体育協会近代化準備委員会発足、日中友好都市卓球カニバル大会に参加する。
●平成9年	第49回国民体育大会ソフトボール競技リハサル大会開催される。



第10号

犬山ソフトバレーボールクラブ

犬山ソフトバレーボールクラブ
ソフトバレーボールは生涯スポーツとして若者男女誰でもできるスポーツです。コートは、バドミントンコートと同じ大きさです。4人1チームで試合をします。男性2名、女性2名でつくるトリムの部
小学生以下の子供2名、大人2名でつくるファミリーの部
女性だけのチームなど色々です。年齢別にもなっております。
ボールは柔らかく、体に当たっても痛くないので誰でも楽しくできます。ソフトバレーボールクラブができて約2年が立ちます。
毎週1回の練習日が楽しみになっています。
また市内4ヶ所で練習していますので、ぜひご見学ください。



グ
ル
ー
プ
紹
介

※北小学校体育館

土曜日 午後7時～午後9時

坪内

※栗栖小学校体育館

土曜日 午後7時30分～午後9時30分

長谷川

※東小学校体育館

金曜日 午後7時～午後9時

浦上

※南部中学校体育館

木曜日 午後7時～午後9時

原

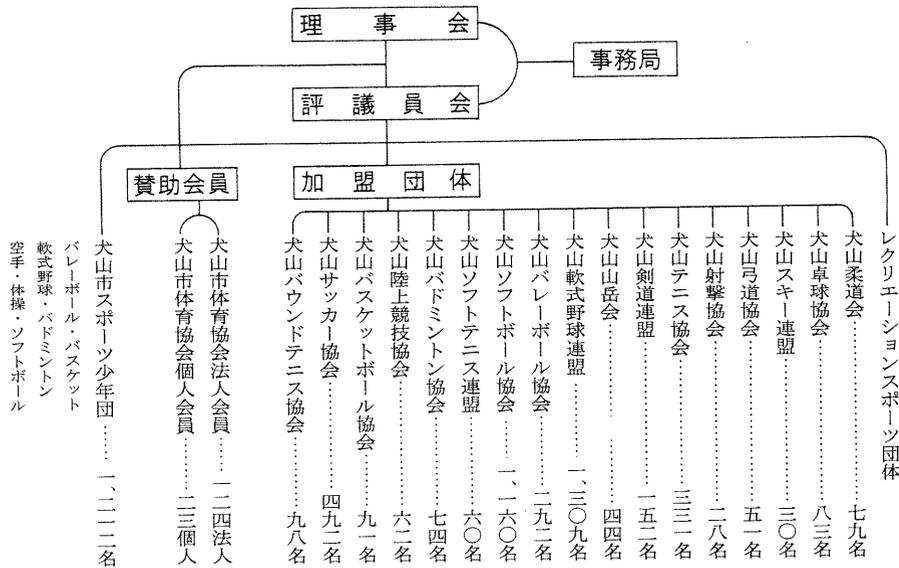
※会員募集しています。

5月21日(日)市体育館でソフトバレーボール大会を行います。

午前9時～

見学歓迎します。

犬山市体育協会はこうなっています。



*今後組織については見直しがあります。

第11号

新会長のことば
「体協の発展を願って」



石田芳弘会長

昭和29年、犬山市制施行と同時に発足した犬山市体育協会は、本年度で41年目を迎えます。

9団体で発足した「体協」も、スポーツ人口の増加と底辺の拡充によって、今では17団体を数えるまでに至りました。

これもひとえに、犬山市の体育に情熱を傾けてこられた先輩諸氏をはじめ、市民の皆様の温かいご支援があったからこそ、と思ふとき、新会長としての責任の重さをひしひしと感じる次第です。

高齢化社会の到来、余暇時間の増大など著しく変化する社会情勢のなかで、健康で明るいまちづくりを理念に、スポーツを通して市民の和を広げ、市民総スポーツ、生涯スポーツの実現に向けて精一杯の努力をして行かなくてはならないと思ふます。

今後とも、「体協」に対し、関係各方面の相変わらぬ、ご支援、ご協力を賜りますことをお願い申し上げます、ごあいさついたします。

平成7年度
犬山市体育協会会員総会



体協理事長のあいさつ

石田新会長の挨拶の後、中県議会議員、増田市議会議長より、体育協会への温かい励ましの言葉がありました。
このあと、社会体育の普及振興に功績のあった市内在住の体育協会会員七名の方へ、表彰状と記念品の贈呈が行われました。
引き続き、平成六年度の事業・決算監査の報告及び平成七年度の事業・予算案の提案審議が行われ、すべての議事に承認を得ました。

平成七年度の会員総会が、六月十日(土)午後二時から、オープンしたばかりの犬山国際観光センターフロイデホールで開催されました。
その後のかんぽ健康講演会は、愛知県立西尾高等学校校長の浅井溢夫先生をお迎えし、「これから生涯スポーツと体力づくりについて傾聴しました。」



(講演される浅井溢夫先生)



声援願いま～す

中国襄樊市卓球友好団来日
(犬山市体育館)

11月18日(土)
市民と交歓試合
13:00～16:00

11月19日(日)
市内中学生への指導会
10:00～15:30
卓球模範実技
15:30～17:00

私たちのクラブ

紹介します

第12号

犬山 レディーステニスクラブ



私たちのクラブは、創立二十周年を迎える、犬山で一番最初にできた女性だけの硬式テニスの同好会です。

現在、会員数は三十名。

毎週、月・木曜日の午前十時から午後一時頃まで、犬山緑地公園のテニスコートで練習しています。

夏のどんな暑い時でも、冬の凍りつくような風の中でも、テニスボールを追いかけ、コートを走り回っています。

全員が主婦ですが、スポーツを通しての健康づくりと楽しい仲間との交流は、忙しい毎日の生活の中の大切な時間となっています。



犬山 レディース バスケット クラブ L・B・C

犬山LBCは発足して17年毎週水曜日に勤労青少年センターの体育館で練習しています。年齢層もキャリアも幅広く下は26才から上は50才まで、初心者から実業団経験者まで和気合い合いと、バスケットを楽しみ、心地よい汗を流して、ストレスをためない事を目的に活動しています。

少しでも興味のある方、ぜひのぞきにきて下さい。きっと、身体を動かしてみたくくなりますよ。

お待ちしております。



冬季スイミングフェスティバル
 去る二月十二日(振替休日)犬山国際観光センター「フロイデ」★犬山水泳協会は、四月より、温水プールで冬季スイミングフェスティバルが開催されました。



こんにちは 「犬山水泳協会」

です

一昨年発足した犬山水泳協会(会長 荻田誠二)が主催し犬山市体育協会、犬山市教育委員会の後援を受けて「フロイデ」の全面的な協力の下、小学生から70歳以上の高齢者まで70名余の参加で25mの競泳(自由形、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ)と愉快なゲームに午後の半日を年齢を忘れて楽しめました。寒さ知らずの室内と体に心地よい水のきれいな温水プール。おまけにジャグジーとサウナ付で健康を満喫しました。

水泳協会も発足してまだまだ新しいのですが昨年は春にも中央ブラザスイミングスクールで春の「スイミングフェスティバル」を開催しそして夏には「第一回市民水泳大会」を開催しました。

また市民水泳教室にもコーチとして協力し水泳の普及に努めています。これからも気軽に水泳協会

第13号

新会長のことば



高岡茂次郎会長

生年月日 昭和7年2月24日
同志社大学経済学部卒
昭和29年、株式会社高松電気製作所(現エナジーサポート)入社。同社代表取締役社長を経て現在代表取締役会長。
黄綬褒章、科学技術庁長官賞他受賞。
犬山市都市計画審議会会長、犬山商工会議所副会頭、日本電気工業会名古屋支部長など10数団体の役職にある。

Shigejiro Takaoka

「世界へはばたく体協」

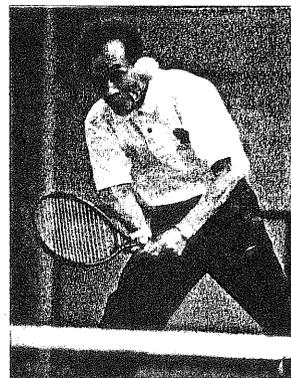
昭和29年の発足以来、今年で42歳になった歴史と伝統ある犬山市体育協会の会長に就任し、身にしみる光栄に存じております。人間(男性)なら本厄ということで、厄除けもさることながら、人生の中でももっとも充実し、可能性を秘めた壮年ということでしょう。幸い当協会には数多くのメンバーと支援を惜しまぬ市御当局、更には沢山の賛助会員や全市民挙げてのご支援、ご協力があり、われわれ役

員一同大いに張り切っております。

さて、世はいわゆるグローバル時代、つまり国境を越えて世界の人々が一つになって助け合う時代です。今夏はアメリカのアトランタ市へ世界中の人々が集って、オリンピックを成功させました。

われわれも大いに努力し、何年か後には、市の代表として一人でも多くの人が参加できればと期待致しております。

「第一回県バウンドテニス選手権大会」が六月三十日、名古屋で開かれ盛況に終わりました。その陰に上垣外勝安さん(犬山市橋爪在住)の裏方としての多大な尽力がありました。同競技はテニスのミニ版。県内では昭和五十八年、初めて犬山で教室が開かれ彼はその受講生。以来、全国大会四位入賞を果たし、県協会事務局長に、また犬山市体協においても協会理事を努められるなどめざましい活躍をされています。「人との出合いを大切にすることもよし。レベル向上を目指すのもいい。楽しみ方は人それぞれ」生涯スポーツ全般に通じる彼の言葉。ますますの普及・発展を願いたいと思います。



上垣外勝安さん(提供 中日新聞社)

- ▼犬山市の成績は次のとおりです。
- ▼シングルス
 - 男子四位 今井 省三
 - 女子優勝 武藤素恵美
- ▼ダブルス女子四位
山口ゆり子・伊藤カオル

題字のデザイン大募集!

犬山市体育協会では、広く皆様から題字のデザインを募集します。体協のイメージにふさわしい、明るく躍動感あふれる作品をお待ちしておりますので、ふるってご応募ください。

作品内容/「いぬやま体協だより」の9文字で構成してください。

用紙はA4サイズ(21×29.7cm)の白紙を横に用い、着色自由ですが、白バックに限ります。

応募先・問い合わせ先/

〒484 犬山市大字犬山字北古券12番地 犬山市体育館内
犬山市体育協会まで(郵送または持参) TEL(0568)61-0544

締切り/平成8年12月15日(平成9年1月10日審査)

※入選作品1点を採用。入選者には直接連絡します。

第15号

ニュースポーツ ペタンク

「一緒にやってみませんか？」



ボールを投げて目標にどれだけ近づけることができるかを競うゲームです。昔のビー玉を思い出して下さい。

フランスの国民的なスポーツで、日本には1965年頃に紹介され、現在ねりんピックの正式種目にもなっています。

- 〈用具〉・金属製のボール
・木製の目標球(ビュット)
・メジャー ・タオル

〈場所〉 地面であれば可

〈人数〉 3人対3人

〈ルール〉 ジャンケンで勝ったチームが地面にサークルを書き、その中からビュットを投げる。1チーム6個のボールを如何にして相手チームよりビュットの近くに投げるかを競う。

投げ方は、転がしても高く上げて良く、立っても座っても構いません。相手のボールを妨害する位置に投げ逆転をねらう面白さもあります。

立つ・歩くという基本運動が期待できるので、中高年者に最適な生涯スポーツの1つです。一緒にペタンクを楽しみませんか？ (犬山市羽黒・掛札保雄)
※希望される方は、犬山市体育協会までご連絡下さい。

『犬山走友会』です!!

発足は19年前。仲間が三々五々集まるうちに、自然に会ができました。会費・会則もなく、練習は2回の月例会という形で4つのコースを選んで走っています。あとは「犬山元旦マラソン(1/1)」をはじめ年6回のイベントを実施、また「犬山国際友好シティマラソン」「名古屋国際女子マラソン」等ではお手伝いをしております。元気な先輩は、海外のマラソンにも出掛けております。

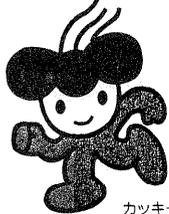
とにかく走る事が3度の飯より大好き。遅い人が主役の「走友会」。皆様も、お気軽に参加して下さい。

(犬山市妙覚・可児春雪)



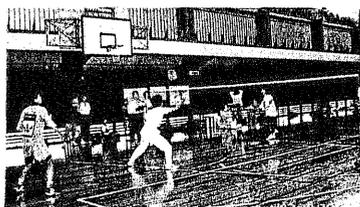
第16号

城下町を走ろう!



カッキーくん

新人戦開催! 犬山バドミントン協会



シャトルを打つことは簡単そうに見えるのに、やってみると思わぬ方向に…。力いっぱい打ったのに目の前にポトリ。初めてラケットを握る人もいた犬山バドミントン協会の初心者対象新人戦が、十月二十六日、村田機械体育館にて行われました。

一ゲームより二ゲームめと力が入り、ラケットに当てることも難しかった人が目をみはるようシャトルを追い、相手コートへ打ち返していく。参加者は、バドミントンの難しさを楽しみながら味わうことができました。

皆さんも参加してみませんか? お問い合わせは犬山市体育協会まで。

(犬山バドミントン協会・溝口美智子)

ねりんピック今秋開催!
いぬやま

『三世交代マラソン大会』

第十一回全国健康福祉祭「ねりんピック、98愛知・名古屋」が県下で開催されます。

犬山市では、十一月一日(日)に犬山城を中心とした特設コースで「三世交代マラソン大会」が行われます。

全国から選ばれた60歳以上の男女四百人に一般参加者を加えた三千人のランナーが、「城下町 犬山」を駆け抜けます。

第17号

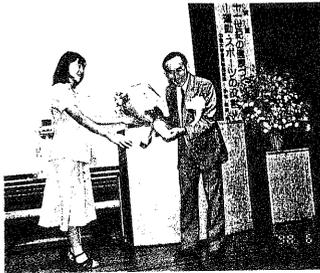
みんなのひろば

「体協だより」は今年度より年3回発行します。(8/1・12/1・3/31)
市民の皆様の身近なスポーツニュースをお知らせ下さい。写真・投稿・ご意見など何でも結構です。

〒484-0082
犬山市大字犬山字北古券12番地
犬山市体育協会事務局
TEL 61-0544
FAX 61-8855

平成10年度の記念講演会および会員総会が、6月6日(土)犬山国際観光センターフロイデホールで開催されました。
今回は講師に犬山在住、中京大学教授の小林義雄氏をお招きして「21世紀の健康づくり」と題して講演いただきました。犬山陸上競技協会会長も努められる氏は、スライドを使って、運動やスポーツの果たす役割について熱心に語られました。
総会には多数の来賓や会員が出席。高岡会長の挨拶、社会体育功労者の表彰、平成9年度の事業・決算報告、10年度の事業計画・予算などの報告が行われました。
そのあと記念パーティーを行い、全日程を終了しました。

◆役員は6つの専門委員会に分かれ、より良い体育協会を目指して努力しています◆



▲花束を贈呈される小林義雄氏

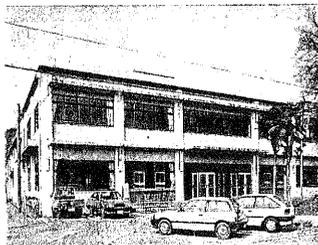
- 何かやろうかい 講演会・イベントの企画等
- 上げてもらおうかい 加盟費・賛助会費等の検討
- 選ぼうかい 各種表彰者の選考等
- 知ってもらおうかい 機関誌編集などの広報
- 記念誌つくろうかい 記念誌発行についての検討
- 会場みつけるかい 競技会場の調整・検討

第18号

スポットライト

「犬山市体育館」ってどんな所?

- Q どこにあるんですか?
A 犬山城のふもとです。緑の屋根、白い壁の二階建の建物です。
- Q 中にある設備は?
A 競技場・柔道場・調理室・会議室・シャワー室などがあります。
- Q 開館時間を教えてください。
A 8時30分～21時で年中無休です。(ただし年末年始を除く)
- Q 利用する時はどうすればいいのでしょうか。
A 体育館では、次の施設の借用申請を受けています。
①犬山市体育館
②犬山市武道館
③グラウンド(緑地・三笠・橋爪山)
ご利用日の①②は2ヶ月③は1ヶ月前から、最低5日前までに申請書を提出し、
- Q 精算下さい。テナスコートは現地(木曾川緑地)にて申請して下さい。これらの受付は午後5時までです。
- Q ほかにご利用できるものはありますか?
A 競技場の使用がない時には一般の方の卓球を付けています。先着順にご利用下さい。
- 備品(テント、運動用具など)の貸出しも行っていますのでお問い合わせ下さい。
電話 61-0544



第19号

スポット
ライト

「犬山射撃協会」です！

クレイ射撃、ライフル射撃、エアライフル射撃などの銃砲スポーツは、狩猟を原点として、ヨーロッパで発展しました。

生涯スポーツです。みなさんも始めてみませんか！

平成十年度
愛知県民クレイ射撃大会

◆団体総合 四位

◇トランプ競技 団体三位

小川 博己

大竹 清

宇都 正亜

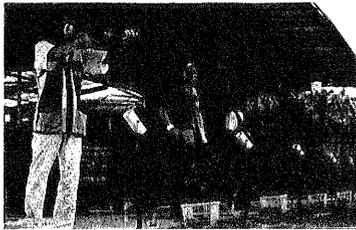
◇スキート競技 団体八位

鈴木 信義

小川加津美

石田利治

銃砲スポーツに携わる全ての人は、自己の責任において法を守りマナーの向上に努め、絶対に事故を起こさないように心掛けなければなりません。



第20号

スポット
ライト

「こんにはは、空手道会です！」

空手、古武道の精神を通して青少年の健全育成に微力を尽くしたいと念願して早18年。その指導者育成の母体である犬山空手道会が、このたび体育協会に加盟する運びとなりました。

空手は、心身の鍛錬はもとより、手足の微妙な動きによって大脳や内臓を刺激し呼吸法と相まって健康増進にも役立つといわれています。

現在の会員は14名（5名は女性）。毎週土曜日の午後7～9時まで市武道館にて稽古をしています。形、組術、古武道（棒、ヌンチャク、サイ、トンファー）等、多彩な内容であることから、今後幅広く市民に親しまれていけたらと思います。

（代表 浦本直記）



第2回 日本バウンドテニスゴルフクラブ

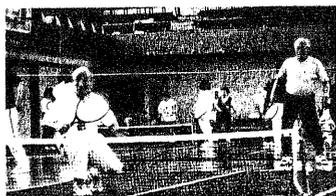
懇親愛知大会

3月19日から21日の3日間、北は北海道、南は九州の全国18道府県から、シルバードパー溢れる80名のバウンドテニスのつわものが市体育館に集いました。

このクラブは全国大会に出場した60歳以上の経験者の全国的な組織で、昨年設立されたもの。2日間は試合と研修で親睦を深め最終日は市内観光をし、参加者を大いに満足させました。

また、大会運営には犬山バウンドテニス協会がボランティアであったり、その手腕が大好評を博しました。

（犬山バウンドテニス協会 上垣外勝安）



第21号

スポットライト



山形県に於て、10月16日から19日にかけてスポレクやまがた99が開催されました。18種目に全国から選手監督役員が集い、犬山市からはバウンドテニス協会の六名の選手が愛知県代表として出場し、予選ブロック一位で決勝に進出しました。決勝トーナメントで敗れましたが、他県の選手との交流や競技開催地寒河江市でのスタッフ及びボランティアの温かい歓迎に、私たちにとって心に残る感動を受けた大会参加となりました。

(バウンドテニス協会 奥田康雄)

「スポレクやまがた99」

第12回 全国スポーツレクリエーション祭

第22号

名古屋証券総合運動場が
利用できます！

内田にある名古屋証券総合運動場が4月より緑地グラウンドと同じように市民が利用できるようになります。

今までは、名古屋証券さんの厚生施設として会員が主に利用していましたが、市が借り上げることで利用しやすくなります。

「東海マスターズ長水路(50m) スイミングフェスティバル」

2月6日(日)、名古屋市レインボールにて、日本スイミングクラブ協会東海支部主催で行われた同大会では犬山水泳協会より次の人が入賞しました。

- ・男子 自由形100m(45~49歳区分) 1位 横田 幸男(中央プラザ) 1分08秒44
- ・男子 バタフライ100m(25~29歳区分) 1位 岡本 真樹(中央プラザ) 1分01秒28(大会新)
- ・男子 バタフライ50m(25~29歳区分) 1位 岡本 真樹(中央プラザ) 27秒28(大会新)

(犬山水泳協会 横田幸男)

穏やかな秋晴れに恵まれた11月27日(土)、150名の老若男女が10.5kmの登山コース、8kmの林道コースに分かれて鳩吹山をめざしました。澄んだ空気とまっ盛りの紅葉を満喫できた「秋のハイキング」。平成12年度も第2弾を計画する予定です。

平成12年4月1日より犬山ベタンク協会(代表・掛札保雄)が犬山市体育協会に加盟します。

第23号

スポット
ライト



(代表 掛札保雄)

会員は、50代から82歳の27名。毎週水・木曜日午後2時～5時、するすみふれあい広場でゲームを楽しんでいます。随時、初心者参加を歓迎しています。今後、親睦交流の市民大会を目指し、愛好者を増やします。地区等で体験希望があればお知らせ下さい。

「どんなには、

パタンク協会です！」

スポーツ振興と心身の健全な発達、その一翼として願って結成した犬山パタンク協会です。この4月、体育協会に仲間入りしました。

パタンクは、2人が3人のチームが対戦し、金属製球を標的にして、より近くに投げ合うターゲット球技です。フォアハンド指先のコントロールは下半身を鍛え、脳を活性化させ、高齢者や女性の人気スポーツになっています。

第24号

愛知スポーツレクリエーションフェスティバル2000



西尾張地区大会



大会の成功は団結力！

初めて犬山グラウンド・ゴルフ協会が単独で主管をした大きな大会でした。前日の準備の時には、土砂降りになり開催が危ぶまれましたが、当日はともすがすがしい晴天に恵まれ、西尾張20市町村37チーム296人の精鋭が自分の持てる力を思う存分発揮することができたようです。

本協会も紀藤会長を中心に一致団結をし、出場選手に少しでも気持ちよくプレーができるように一人一人が心がけ、「歴史と文化を伝え豊かな心を育むまち犬山」のPRにつとめました。来年も、今年以上にすばらしい大会にしたいと役員一同張り切っております。



大事にしたい 名証グラウンド

本年7月より名証グラウンド多目的広場を整備して頂き、主にサッカー場として利用しています。わかりやすい場所にあり、野球場・テニスコートもあり、とても親しみやすく感じています。

最近ではジュニアユース（U-15）大会・スポーツ少年団のお父さんのシニア大会・協会のリーグ戦等中学生から壮年まで喜んで楽しくボールを蹴っています。

ただ問題点もあります。予想以上に水はけが悪くコンディションには苦労しています。先日も有志でグラウンドの整備を行いました。また、隣接する住民のみなさんには騒音などでご迷惑をかけているかと思えます。

今後はこのグラウンドを大切にプレイできることに感謝しながら少年から壮年・男女問わず楽しくできることを目指して頑張りたいと思っています。

犬山サッカー協会 市川 豊



わがバレーボール協会

私共、犬山バレーボール協会が池田会長のもと、発足して20年、現在は男子10チーム、女子20チームと大所帯になりました。十月には会長杯の20周年記念大会を賑やかに開催し、記念式典において長年にわたり、チームを育て、仲間作りや審判に尽力された5名の方々に感謝状を贈呈いたしました。

20年も過ぎますと、これまで先頭にたつてチームを引っ張って来られた方が第一線を退かれ、若い人が中核をなすようになりました。

中には母娘、夫婦、嫁姑がチームメイトの関係であるという微笑ましいチーム

も多く見られるようになりました。

これからも老若男女知恵と力を合わせ、30周年、40周年を目指し底辺拡大、バレーボール人口の増大と協会のますますの発展に尽力したいと思います。



ベタソウ大会に参加して

木俣 禮子

10月29日、摺墨公園のグラウンドにおいて秋季ベタソウ大会が行われました。

ボールを見てびっくり、金属製の野球ボールに似ていて約700グラムぐらい。ボールを上からつかんだ格好でスナップを効かせ、直径3センチ程の小さい目標球を目がけて投げるのです。真つすぐ投げたつもりがうまくいかないところがおもしろさでした。競技は二人で一チームとなり三試合行いましたが、要領もわかってきて順調に二勝することができました。

絶対調と喜んだのも束の間、最後の試合で主人のチームと戦うことになりました。あせりが抗して負けてしまいました。

20数名の少人数ではありましたが懐かしい方々にも会え、楽しいひとときを過ごすことができ参加してよかったと思いました。

誰にでもでき、体の負担もかからないこのスポーツ、是非皆さんにも知ってもらいたいと思います。いろいろな方との出会いも生まれます。

第25号

バドミントンというスポーツをご存知ですか？わずから5gの羽根をラケットで打ち合うスポーツです。

スポーツ経験の有無は関係ありません。一度体験してみませんか。良い汗かいてストレスを解消し、明日のエネルギ―に変えてみよう!!

期間 4月～6月

毎週月・火曜日

午前10～12時

参加料 無料

申込先 犬山バドミントン協会

溝口

犬山市体育協会

611-0544



ラケットのない方はお貸しいたします。

いい汗かいて
気分爽快!

犬山ソフトテニス連盟です。スポーツシーゾンの到来です。皆さん、青空の下でソフトテニスの白球を思いっきり打っていい汗を流しませんか……。楽しいです！爽快です！

主な大会は

- ・春と秋の市民大会
 - ・四市交歓体育大会
 - ・犬山ソフトテニス連盟会長杯争奪戦
- ぜひ、皆さんお出掛け下さい。

連絡先 澤野

ソフトボールわが人生

今回、愛知県体育協会より体育表彰を受けることになりました。これもひとえにソフトボール協会役員と会員の皆様のお力と、深く感謝しております。

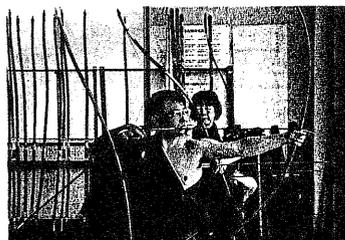
昨年のシドニーオリンピックでは、日本女子ソフトボールチームが大活躍を見せてくれました。これを機会に、競技人口の拡大につながればと期待しています。これからもご支援をよろしくお願いいたします。

(犬山ソフトボール協合理事長 長瀬 一男)

ちよつと覗いてみませんか!!

犬山弓道協会は、現在77名の会員で活動しています。春と秋の市民大会・弓道教室・新年射会・高校生の白帝杯大会・年5回程度の対外試合等を中心に犬山市弓道場で活動しています。弓道は礼に始まり礼に終ると云われ自己の心身を鍛え、一箭(矢)にすべてが表現され、技より精神を重視し鏡に自分自身を再発見するものです。

主婦で初心者Fさんは、初段をとる目標を見つけ、また高校弓道経験のSさんは知らなかった技量や諸動作を学び、再開して良かったと各自其々の目標を持って自己修練に努めています。



参加者の皆様の声

初参加で身に余る光栄。またチャレンジさせて下さい。キャディーさんがとても良かったです。

(二般 水野 和好さん)

新世紀スタートにこの様な賞を受け、夢の様な感謝感激の思いでいっぱい。もっと好スコアの先輩プレイヤーの方々に申し訳ない気持ちですが、天が授けてくれたラッキーと素直に喜びたい。貴協会の益々の活躍と発展を祈念します。

(シニア 渡部久仁夫さん)

以前優勝できたので今回も頑張った。凍った所があつてちよつと残念だった。

(シニア 笠原 勇さん)

お天気に恵まれ楽しい一日だった。もう少し緑のある時期にプレーできると良いですね。

(シニア 梅村 勝正さん)

準備勝てきてラッキー。流れが悪く待たし時間が長かったのと賞品の差が大きかったのが残念だった。

(レディース 仙石さち子さん)

ソフトホールでも難しい位置にクラブがきつてあつた。市民ゴルフレベルはもう少し簡単な場所にして欲しい。

(レディース 橋本貴美子さん)

冬の大会には参加させて頂いてるが次の8月は暑いので、また来年の冬に参加します。

(レディース 稲垣 幸子さん)

良
ゴルフ



第26号



Vリーグがやって来た!

「東洋紡バレーボール教室」開催

春のVリーグ女子優勝チーム「TOYOBOオーキス」の皆さんによるバレーボール教室が、7月12日(木)犬山市体育館で開催されました。

一行は、名古屋市稲永スポーツセンターで行われたサマリーリーグに出場された後、東洋紡績(株)犬山工場での合宿中に立ち寄られたものです。

試合の疲れも見せず柳本晶一監督をはじめコーチ、マネージャー、選手の総勢23名の方々が来館して下さいました。選手の中には全日本やワールドカップでも活躍された吉原知子選手や江藤直美選手もおられ、一同が入場すると会場からは大きな歓声が上がりました。

教室参加者は犬山市と近隣市町の中高校生約50名で、ウォーミングアップのあと柳本監督自らボールを握られる

中、選手たちと一緒にトスやレシーブやサーブの基礎練習に汗を流しました。選手を囲んでの質問タイムで「どうしたら強くなれるんですか?」「過呼吸になると聞きましたが…」などの問いかけに「楽にプレーしているうちはダメ。



ランニングや練習で過呼吸になるくらい追い込んだ『もう限界!』の次の一歩が自分を強くする。接戦の試合でジュニアの応酬後の一打を分けるのはこれ。練習以上の成果が試合で絶対出るわけないから。」選手の膝の無数のアザに、一流プレーヤーの言葉の重みを感じました。教室終了後は選手のサインボールが当たる抽選会が行われ、盛んな拍手に送られながら当選者たちが嬉しそうにボールを手に入れました。

また教室参加者全員にも選手直筆のサイン色紙が送られ、握手をしたり記念写真を撮ったりと大盛況のうちに全日程が終了しました。

「オーキス」とは野生のランの花のことで、いちばん美しく、たくましいチームという意味だそうです。多忙なスケジュールの中、時間をさいてご指導下さいました監督や選手、スタッフの皆さん、東洋紡績(株)の社員の方々に深く感謝申し上げます。その名のとおり今後もますます大きく咲きほこるチームとなれることをお祈りしたいと思います。

犬山市体育協会では、協会会員でアマチュアスポーツ競技全国大会等に出場する個人およびチームに対し、激励費を支給しています。今回は、平成13年7月7日～8日に東京体育館で行われた第19回全日本バウンドテニス選手権大会に進出の2人に送られました。

今後の益々のご活躍を期待します。

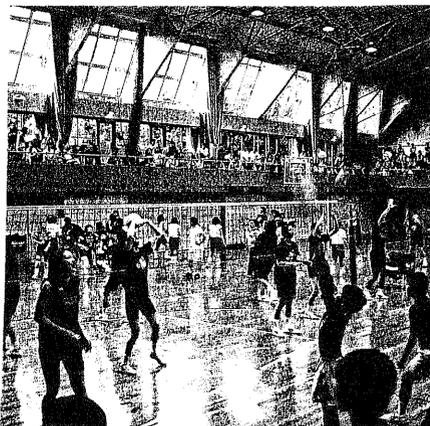
倉田 勝子

(愛知県地区大会 女子シングルス・ダブルス シニアの部優勝)

水口 幸子

(愛知県地区大会 女子シングルスミドルの部優勝)

*敬称略



監督の指導を受けて、やはりバレーは「楽しく、元気に、皆でやるものだ」ということを再認識しました。

東洋紡オーキスバレーボール

教室に参加して

第27号

シドニー パラリンピック 金メダリスト

成田真由美選手講演会

演題

強く生きる

2002.2.9

犬山市民文化会館大ホール

聴きに
行こう!!



写真提供 中日新聞社

シドニー パラリンピックの金メダリスト成田真由美さんの講演会が平成14年2月9日(土)市民文化会館で開かれます。

この講演会は、犬山国際友好シティーマラソン大会(市体協も後援)が20回を迎えた記念事業として行われるもの。

ご承知のように、成田真由美さんは、1970年、川崎市で生まれましたが、中学1年の13歳のとき、横断性脊髄炎で、下半身麻痺となりました。

その闘病生活のなか、1994年、24歳のとき、水泳と出会い、同年6月には第4回東北身体障害者選手権水泳競技大会に出場。2種目で優勝

したものの、その帰途、交通事故で頸椎損傷、右手指に障害を負います。しかし、この障害も克服。

1996年には、アトラクタパラリンピックに出場。150m個人メドレー銅メダル、200m自由形、50m背泳ぎの2種目で銀メダル。100m自由形と50m自由形で金メダル。

さらに2000年10月、シドニーパラリンピックでは、150m個人メドレー、200m自由形、50m×4自由形メドレー、50m背泳ぎ、100m自由形、50m自由形の6種目でいずれも世界新記録の金メダル、50m平泳ぎで銀メダルを獲得。

この活躍で、同年12月、内閣総理大臣顕彰を受賞されました。

当日の講演は、彼女の生きざまそのままに「強く生きる」。開場は午後12時30分、開演は午後1時30分。オープニングやビデオ上映などのあと、午後2時15分から成田真由美さんの講演、このあと記念品や花束の贈呈、アトラクションがあり、終了は午後4時の予定。

入場は無料ですが、人数に制限があり、整理券が必要です。申し込みは往復ハガキで、市教育委員会市民体育課(〒484-8501 犬山市大字犬山字東畑36 TEL 61-1800)へ。

第28号

犬山バスケットボール協会

スポーツ少年団ミニバスケットボール秋季大会が終了し、2月23日(土)犬山北小学校で表彰式が行われました。6年生にとっては小学校生活最後の大きな大会となり、最優秀選手に選ばれた子供たちは大喜びで「最後の大会で賞がもらえて嬉しい」「一生懸命やって来て良かった」「中学校でも頑張ります」と話してくれました。一緒に頑張ってきた力を発揮して、中学に進学しても活躍してくれることを祈ります。



- 最優秀選手**
- 6年男子**
大藪佳弘、安藤良太
- 6年女子**
石原 芽、大森悠加
二俣文美、湖上小雪
ほか全部で15名の皆さん

(会長 竹中暎和)

犬山柔道会

平成14年1月13日(日)、恒例の「寒稽古と鏡開き式」を会員と家族およそ60名で開催しました。

早朝より気合いの入った稽古が繰り広げられ、締めくくりには道場から針綱神社までラングシ目標成就と健康を祈願しました。

鏡開き式では、大きな杵によろけながらも餅つきに汗を流し、ぜんざいにいただきました。稽古の後という事でおかわりが相次ぎ、5升のお餅がみるみる減っていききました。普段はおとなしい子もこの日ばかりは生き生きと嬉しそう。ご家族も大喜びの1日となりました。親子や地域社会へのふれあいが少なく自分の殻に閉じこもりがちの子供が多い時代ですが、こういった行事が青少年の健全育成につながればと思います。



(会長 安田 喬)

第 29 号

就任ごあいさつ



会長 加藤 武司

まずは、先輩高岡会長に永い間ありがとうございましたと御礼申し上げます。さて、今年は世界中がサッカーワールドカップ一色に染まり、興奮未だ冷めやらずといったところではないでしょうか。本当にスポーツとは良いものですね。

石田市長様の方針の中でも最も強調されておられるのが犬山市の文化です。体育も文化も担う一つの役割といえるでしょう。

本協会は、お子さんから高齢者、また体の不自由な方までござって何らかの形でスポーツに親しんで頂きたいと思っています。犬山市スポーツ指導員の有資格者も、競技団体の協力を得て早急に150名に増やしたいと考えております。犬山市民に心身共に健康な生活が続きますよう、4,100名の本協会会員が活動します。運動してみようと思われる方はご連絡下さい。

文化の一役を担う犬山市体育協会に、皆様のご協力をお願い申し上げます。

第 30 号

犬山市体育協会では、指導者育成事業として11月1日(金)にテーピング講習会を行いました。インターハイ・国体・実業団大会などでトレーナーとして活躍され、鍼灸師の資格を持つ森川敬忠氏を講師にお招きし、2人1組でテーピング実習を受けました。

足首のネンザ予防(再発予防)のテーピングをご紹介しますので、お試しください。

最高に爽快!

スキーの楽しさは、白いキャンパスに絵を描くように好みにシュプールを書くことにある。決してきれいだる必要はない。

スタート地点でキャンパスと向かい合い、構成を考える。しかし、最初は思うように書けない。これが結構悔しい。そんな時は青い空を見上げる。今度はどんな風に書こうかと思うと非常に気持ちがいい。何回か挑戦していると、少しずつ書けるようになる。最高に爽快でくせになる。これがスキーが巧くなるコツだと思う。

真っ白な世界に青い空、この大自然の中ではすべてのものが自由である。スキーは楽しい。この楽しさを、できるだけ多くの仲間と共有したいと思う。

(スキー連盟理事 あっちゃん)



テーピング講習会

全国大会に進出

犬山市体育協会では、アマチュアスポーツ競技全国大会等に出場する本協会会員及びチームに対し激励費を支給しています。今回は、第20回全日本バウンドテニス選手権大会進出の3名と第36回全日本社会人卓球選手権大会進出の1チームに贈られました。今後の益々のご活躍を期待いたします。

小島豊光(バウンドテニス愛知県地区大会男子ダブルス ミドルの部優勝)

倉田勝子(バウンドテニス愛知県地区大会女子シングル シニアの部優勝)

水口幸子(バウンドテニス愛知県地区大会女子シングル ミドルの部優勝)

中村夕佳・松田恵チーム(全日本社会人卓球選手権大会愛知県予選女子ダブルスの部 リーグ優勝) ※敬称略



加藤会長 松田さん 中村さん

第31号



大山市体育協会名誉会長
犬山市長
石田 芳 弘

その世界最強の篠原選手が、わが武道館の為に揮毫をお寄せくださいました。
この感動を長く犬山の歴史に止めておきたいと思います。



篠原 信 一 選手

シドニーオリンピックの柔道一〇〇キロ超級で、審判の誤審によって銀メダルに終わった篠原選手のテレビインタビューを見て、私は「この人こそ日本人の武道精神を持った人だ」と思いました。それは、結果について一言も言い訳をしなかったからです。

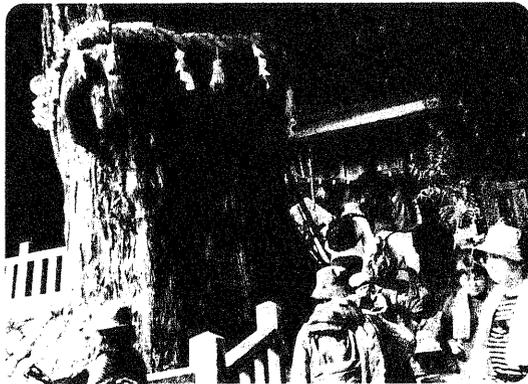
「秋のハイキング」

犬山市体育協会では、平成14年度自主事業の一つとして、11月23日(祝)に「秋のハイキング」を行いました。今回の行先は瑞浪市「竜吟の滝」と「中山道大湫の宿」。秋晴れの中、参加者81人は市の福祉バス3台に分乗し、名証グラウンドを出発しました。



▲竜吟の滝

竜吟峡では、雄竜と雌竜が互いに慕って呼び合ったという伝説を残す七つの滝を巡り、竜吟湖へ。日本一長い石畳が敷かれた琵琶峠を越えると、大湫宿のシンボル樹齢千三百年を数える神明神社の大杉のお出迎え。皇女和宮の心情が偲ばれる歌碑を拝んで現在小学校になっている本陣跡を抜け、全員揃って帰途につきまし



▶神明神社の大杉

事後のアンケートでは、「ちよūd良いコース」「自然を満喫できた」「また参加したい」などの声が寄せられ、スタッフ一同また次回に向けて計画したいと考えています。次回は5月24日(土)を予定しています。



ここで
ワンポイント

足首捻挫の固定法

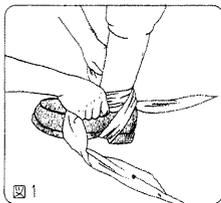


図1

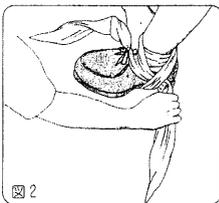


図2

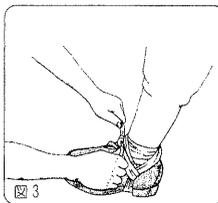


図3

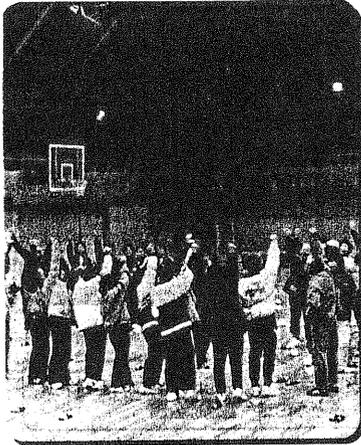
ハイキングや登山などで足首を捻挫した時の救急法をご紹介します。

はきものを履いた上から、(※)たたみ三角巾などで固定します。まず三角巾の中央を土踏まずに当て、足首の後ろで交差し前に回します(図1)。足首の前で交差します。次に両端を土踏まずから足首の後ろへいく三角巾に、それぞれ内側からおし、ひきしめながら足首の前でしっかり結びます(図2、図3)。あまった端は足首に巻きつけて結びます。

※たたみ三角巾……日本手ぬぐいのような薄手の布。一般のタオルでは代用することができない。

(資料提供「日本赤十字社」)

第32号



▲犬山市体育館での指導の様子

指導者育成事業「体ほぐし体操」

3月6日(木)、指導者育成事業として、名古屋YMCAスポーツ・英語学校副校長の山口栄三氏を講師にお招きし、スポーツ全般のウォーミングアップとケガの防止を目的とした体ほぐし体操の講座を開催しました。各競技団体やスポーツ少年団・高齢者・子供会の指導者など、約80名の参加がありました。

氏によると、「無理をしない」「時間は短く」がポイント。従来にありがちな体が痛みを感じるまでほぐすのではなく、あくまで低い強度で、神経伝達速度・血流量・循環器反応などを促進させるのがねらいだそうです。

20分ほどの講義の後はいよいよ実技。両手に軽いプラスチック製のダンベルを持つてのゆるやかな屈伸(ペットボトルに水をいれたもので代用可)、音楽にのっての前・横・後向きスキップ、リズムに合わせて右手でグー・チョキ・パーを出し同時に左手でそれに勝つ一人ジャンケンなどのユニークなものまであり、競技種目や対象年齢を超えての充実した指導となりました。

体育協会では今後このような事業を企画し、指導者の育成に力を入れていきたいと考えています。

水分補給は水orスポーツドリンク?

「運動時に水分補給をするときは水とスポーツドリンクどちらがいいか」という質問をよく受ける。大量の汗をかいた場合には、水分とともに電解質を補給する必要がある。スポーツドリンクを半分程度に薄めたもの、あるいは水に食塩を加えた0.2%位の食塩水を飲むと良い。

それほど大量の発汗もなく、炎天下の運動でもない場合は、水でもスポーツドリンクでもよく、補給をこまめに行うことを重視する。

水分補給になるからといって、運動後にアルコール類を摂取する人がいるが、アルコールには利尿作用があるので、かえって脱水を促進するので勧められない。



「私のいきがい」

「犬山を制する者は管内を制する」という格言と共に、「いつでもどこでも誰にでも挨拶できる子供と親を作る為」に。

(体育協会理事長 竹中 映和)

犬山高校へ入学してバスケットが大好きになり、それ以後とりになりました。

背も低く経験のない私は指導の道に進み、試合に勝つ楽しみを学び子供と泣いたこともありました。母校を強くする為には犬山市内の中学校を強くする事、その為に各中学校へ出掛け指導し、部活のない学校には作っていただくよう働きかけ、その後指導に行きました。ところが市内の中学から犬山高校へ入学する子供が少なくなり、母校への思いが薄らぎました。しかし各中学校は健在でした。そこで各小学校のスポーツ少年団を多種目から単位種目の少年団に切り換え、強化に乗り出したのです。

道場に着くと、私は会長さんに大役を任せられました。テレビで見かけたことのない銀メダリストの篠原選手の内役です。あまりに急だったため、驚きと嬉しさを口がポカッと開いてしまいました。

何回も練習を行い、とうとう除幕式が始まることになった瞬間、後ろからワッショウと声がかました。すぐに「あっ、篠原選手が来たんだな」と思いました。近くで見ると、予想以上に大きくて驚きました。私と篠原選手と市長さんは、大きな拍手で迎えられました。緊張しすぎて呼吸ができなくなるかと思いましたが、席に着いた篠

原選手は、私と握手をしてくれました。とても大きな手でした。今、私は中学生として勉強や部活を頑張っています。この日を忘れず、柔道も頑張りたいです。

4月5日(土)、シドニー五輪の柔道銀メダリスト篠原信一選手が揮毫した書「心技体」が、犬山市武道館に寄贈されました。除幕式では柔道歴7年の和田さんに先導されて篠原選手が入場、「犬山の武道家の励みになれば！」とエールを送られました。

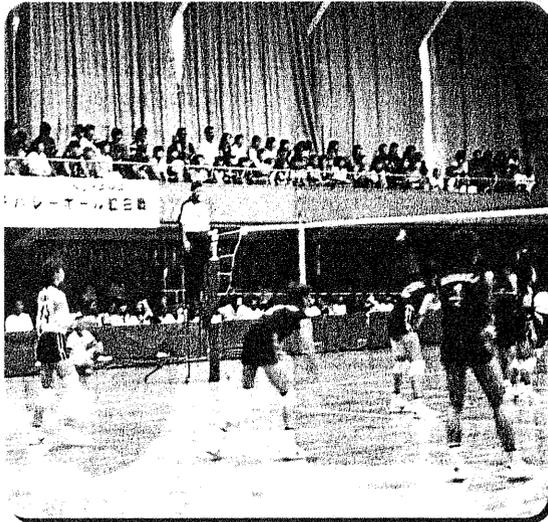
(犬山柔道会 和田朱穂)



第 33 号

「全日本がやって来た!」

8月30日(土)、全日本女子バレーボールチームの選手団が来犬されました。今回の開催は、一昨年の7月、市体育館で東洋紡「オーキス」によるバレーボール教室を開催したのがきっかけで、当時同チームを率いた柳本晶一監督が再びのラブコールに快く応えて下さったものです。



午前中のバレーボール教室に続き、午後からはいよいよ紅白戦。体育館狭しと目の前で展開される「全日本」一流プレーヤーの生の迫力に、会場を埋めた七百名の観衆が魅了されました。

閉会式では、加藤体育協会長が記念品と共に自ら選手団にエールを贈り、今後の益々の活躍を祈念しました。

「あの選手に教えてもらって!」



前日、私はウキウキしていました。テレビで見ている人に教えてもらうことができるなんて、とても嬉しかったからです。当日、選手の方がみえた時には、すごく背が高くてびっくりしました。2人の選手とトレーナーの方々から、今まで経験のない方法で基礎のアップなど色々教えてもらいました。私はアタッカーなので、教えてもらったボールの打ち方を練習の時に今も思い出してやっています。選手との楽しい練習時間はアツという間に過ぎてしまいましたが、私の大切な思い出になりました。全日本選手の対抗試合は、とても迫力がありました。教えてもらったことを、これからの練習や試合に活かしていきたいです。

(楽田スポ少バレー 佐藤晴菜)



「バレーボール教室」に参加して



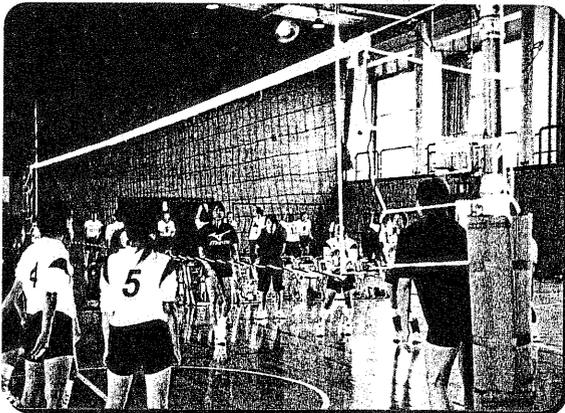
犬山中
横井 千恵

全日本女子の方にバレーを指導していただく機会に恵まれ、選手の到着を待っていました。テレビでしか見たことのない憧れの方たちを前に、胸が高鳴りました。3年生女子を担当して下さったのは、キャプテンの吉原知子選手でした。最近ではボールに触れることも少なくなり動きも悪い私たちに、基礎の形から優しく教えて下さいました。背中を押し声をかけてもらった。こんな些細なことが最高の思い出となりました。受験勉強に追われる日々が続く中で、県大会進出を賭けた最後の大会で味わった感動を思い出させてくれました。本当に感謝したい一日となりました。



南部中
松山 りえ

全日本の選手によるバレーボール教室、紅白戦を観戦するという幸運な機会を得ることができました。不思議な気持ちでした。いつもならテレビで活躍している選手が目の前にいるのですから。1時間位しか一緒に練習できませんでしたが、私たちにはとても大切な時間でした。紅白戦はものすごい迫力！南部中の生徒は1階のフロアー、しかもベンチのすぐ後ろから応援することができたのでとても興奮しました。全日本選手のプレーを見て、高校へ進学してもバレーを続けたいという気持ちがさらに強くなりました。



城東中
今崎 桃子

私の心と体はドキドキわくわくしていました。なぜなら、大好きな熊前選手たちが城中に来てくれるからです。選手たちが入場した時、とても驚きました。身長がすごく高かったからです。始めは緊張していたせいで体が硬くなってしまいました。しかし、友達が指導されているのを聞いて自分の参考になると、上手くパスを出せるようになりました。その後スパイクやシートレシーブをやり、基本の大切さを知りました。これからの試合や練習の中で活かそうと思います。今後、またこのような機会があると良いと思います。



東部中
今井 有香

全日本の選手が犬山に来て下さると知らされ、「本当？」と何度も聞き返してしまったほど嬉しかったです。でも最後の大会も終わりバレーボールから遠ざかっていたので、一緒に練習できるか不安でした。当日、抱いていた気持ちが一瞬に吹き飛びました。吉原選手に教えてもらい、心から楽しんでプレーすることができました。紅白試合では選手がアタックを打つを見た時、あまりのすごさに拍手をしてしまいました。いつかあんなふうに打てたらいいなと思いました。8月30日は一生の宝物です。私はもっとバレーボールが好きになりました。



第34号

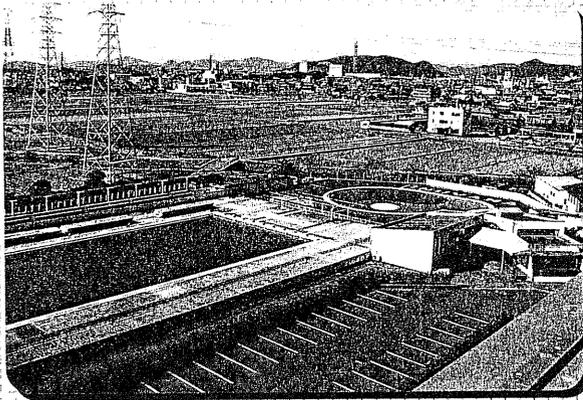
「総合体育館」と「温水プール」の
早期建設へ

—— 市長に要望書を提出 ——

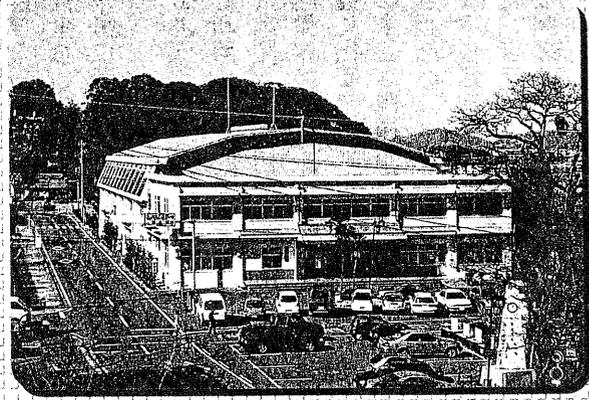
市民や団体が十分にスポーツ活動できるよう「総合体育館」と「温水プール」の早期建設を目指し、犬山市体育協会では加藤会長はじめ協会役員が市庁舎に向き、石田市長と熊澤市議会議長に要望書を手渡しました。



両氏ともに「何の異存もなく大賛成だが、市は今、早急に解決しなくてはいけない問題を抱えている。資金の面から考えても準備期間が必要であり、ご理解をいただきたい。建設に対する気持ちは同じ。十分に検討し、早期実現に向けて努力していきたい。」とのことでした。



▲犬山市民プール（昭和54年建設）



▲犬山市体育館（昭和38年建設）

「地域で子供たちを育てる」

犬山サッカー協会では、週休2日制に伴い、9年前より中学生を対象にサッカースクールを始めました。子供たちが活動できる場を地域で設けたいとの思いからです。練習は第2・4土曜日と、火・木曜日のナイター。今ではスクールの指導者が市内4中学校の部活動にも出向き、顧問の先生とも連携を取り合っています。将来は、犬山市全体で展開できればと考えています。

スクールの中で現在、女子の中学2年生が4人・1年生が1人活動しています。小学校時代にサッカーをする女子は今では珍しくありませんが、中学生になっても続けているのは初めての事です。さすがに男子とは体格の差が出てきてしまい、一緒にプレーすることは難しくなっています。そこで5人制のフットサルで、女子の試合をしています。できることなら、女子だけでスクール活動できる日がくることを楽しみにしています。

本年度より、幼児のキッズ教室も始めました。「あいさつをしよう」「ボールと遊ぼう」を大切に、月曜日に行っています。

幼児から高校生までの地域総合型サッカーグループを目指したいと思っています。

(犬山サッカー協会 市川 豊)

4月からの陳情にご協力下さい!

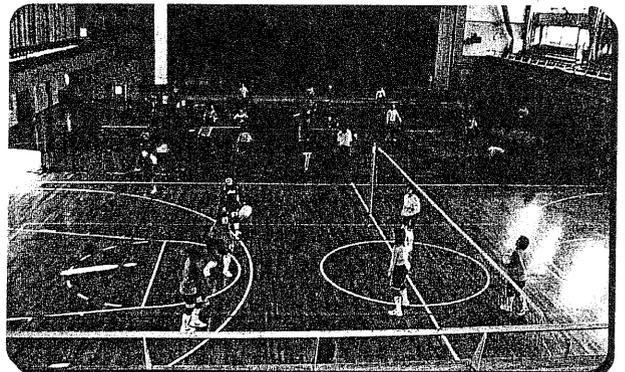
▲予約状況がビッシリ書かれた体育館予定表。予約の合い間をぬってバドミントン・バスケット・卓球などの個人利用に開放されている。

犬山市も人口7万人を越え、市民の教育への関心が高まり、地域で子供たちを育てていこうとする機運も益々強まってきております。さらに、体育・スポーツの愛好者が急激に増加し、その活動内容・範囲も多様化・広域化してまいりました。

本市においては犬山市体育館をはじめ数多くの施設があり、市民のみならず市外の人たちにも幅広く利用されております。

しかしながら、市体育館は昭和38年、市民プールは昭和54年に建設され、老朽化が目立ちます。また、体育館ではバレーボール・バスケットボールなどの正式なコートがとれず大きな大会の誘致ができません。さらに個人利用者も多くなり、使用希望が重複して競技場が使えない場合もしばしば見受けられるようになりました。

▼競技場の半面奥では一般卓球、手前でバレーボールの練習といった具合に並行して使用。この間、他の種目には利用できない。



市民プールにおいては、7・8月の夏季2ヶ月余りしか利用できず、せっかくの施設が十分に活用できているとは思われません。

このように、今の状態ではスポーツ施設として利用しづらい面が多く、利用者のニーズに 대응することができません。スポーツ関係諸団体からも、施設の整備充実を願う声が強くなってきております。

このような皆様の願いを少しでも早く実現させるために、本協会は「総合体育館・温水プール建設促進を求める陳情」を4月から行います。

この運動を成功させるためにも、ぜひ市民の皆様のご協力をお願いいたします。



「求む! 元気な女の子」

私たちは毎週火・木曜と第2・4土曜に男の子に混じてサッカーを習っています。男の子と一緒にやっているだけであって以前よりだいぶサッカーを楽しむことができます。

女の子は、現在5人しかいません。いずれは女の子だけのチームも作りたと思っているので、「犬山クラブ」に入っ一緒にサッカーをしませんか? 未経験な人も大歓迎ですよ! これを機にサッカーをやってみてはどうでしょうか?

(城東中 今崎桃子)



「ずっと続けていけたら…」

犬山キッズは、子供が楽しみながらサッカーを覚えてもらえるところです。

うちの場合、はじめは親が連れて行ったようなものでした。

風邪をひきがちなので少しは強くなってくれるかも…そんな期待からです。うだるような夏も冷たい風の冬も、練習はあります。でも、決して厳しいだけのクラブではありません。服装は自由。休憩も水分補給も十分に取ってくれ、遊びの要素もいっぱい。何よりコーチの接し方がすごくうまいんです。何度も褒めて、子供たちがサッカーを楽しめるように導いて下さるんです。本当にありがたいと思います。息子に1年間の感想を聞いてみると「サッカーは楽しい。走るのも楽しい。お友達とサッカーで遊ぶのが楽しいよ。」と答えが返ってきました。これからも楽しんでくれたら、そして週1回のキッズをずっと続けていけたらいいなと思います。

(キッズ教室 父兄 谷口智子)



第 35 号

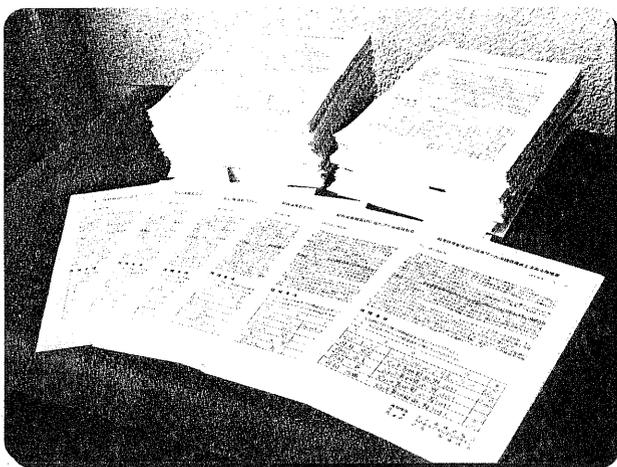
スポーツ教室開催!

全日本女子バレーボール 柳本監督ご来犬

11月20日(土)あの全日本代表女子バレーボールチームの柳本晶一監督が来て下さることになりました。
加藤会長、竹中理事長、溝口委員長らで貝塚トレーニングセンターに伺ったところ、「犬山市民のためなら」と快諾を得ました。
当日は、西村コーチ・中村マネージャーと共に、市内の小・中学生を対象にスポーツ教室を開催して頂く予定です。いよいよアテネオリンピック開幕です。11月にはメダリストとしてお迎えできますよう、市民全員で応援したいと思います。



▲柳本監督(右)、加藤会長(左)



▲市民から寄せられた署名

「総合体育館」と「温水プール」の建設実現へ

陳情書に市民の署名続々と...

犬山市体育協会は、昨年末「総合体育館」と「温水プール」に対する要望書を市長と市議会議長に手渡しました。

そして、今年4月からは会員が中心となり、建設の早期実現に向けて署名活動も行っています。本協会の呼びかけに市民の皆様が賛同して下さり、温かい励ましとともに、たくさんの方の署名が寄せられております。

「狭いし、設備も不十分。今のままでは不便です。」「近隣の体育施設の充実ぶりには目を見張るばかり。試合ともなれば、他市町を借用せざるを得ないのが現状。」「犬山市にも建設されたらこんな嬉しいことはないですね。ぜひ実現させて下さい。」(署名者の声)

体育協会では、より多くの方に賛同して頂けるよう今後も活動を推し進め、今秋の協会設立50周年記念式典には再度、陳情書とともに市長および市議会に対して提出する予定です。

署名は体育協会事務局(市体育館内)、協会会員ほか有志の方々のお手元などで受けしております。

市民の皆様の益々の協力をお願いして、ぜひ実現させたいと考えております。

夏に多発

急変も...

無知と無理 でおこる熱中症

時には生命にかかわることも……!

4つの病型

熱失神

皮膚血管の拡張により血圧が低下。脳に血が通わなくなり顔面はそう白、唇がしびれ、失神にいたる。

熱疲労

脱水が原因。倦怠感、めまい、頭痛、吐き気などの症状が表れる。

熱けいれん

水だけを補給して塩分濃度が低下することにより発症。足、腕、腹の筋肉に痛みを伴ったけいれんがおこる。トライアスロンなどで見られる。

熱射病

体温の上昇(40℃以上)により中枢機能に異常をきたした状態。意識障害がおこり死亡率も高い。



あなたの種目の危険度は？

■事故の発生時期

4月	1
5月	1
6月	2
7月	32
8月	52
9月	2
合計	90

■スポーツ種目別の事故数

部活動	野球	19
	ラグビー	8
	サッカー	7
	柔道	6
	山岳部	6
	剣道	5
	陸上	5

ハンドボール	4
卓球	3
バレーボール	3
アメリカンフットボール	2
ソフトボール	2
テニス	2
バスケットボール	2
その他	4

校内行事	登山	7
	徒歩	3
	マラソン	1
	農園実習	1
合計		90

(1975~1990年の死亡事故90例)

予防8カ条

1. 知って防ごう熱中症

まずは正しい知識を身につけて。
知ってるつもり?!は知らない証拠

5. 体重で知ろう健康と汗の量

起床時に体重を測って自分の発汗を知って下さい。
運動時には体重減少が2%を越えないように水分補給を。

2. 暑いとき無理な運動は事故のもと

特に湿度には気をつけよう。
屋内競技や学校行事も油断大敵

6. 薄着ルックでさわやかに

暑いときには熱を逃がすのが鉄則。防具を付ける場合は休憩中に衣服を緩めよう。

3. 急な暑さは要注意

梅雨の晴れ間の気温急上昇、合宿の初日などは要注意。体が馴れてません。(暑熱馴化の低下)

7. 体調不良は事故のもと

「何年もやってるし」「これくらいは…」
同一人でも体調により耐性が変わります。

4. 失った水と塩分を取り戻そう

水だけ補給してもダメ。適度な塩分(0.2%程度)が必要。スポーツドリンクなどもうまく活用して。

8. あわてるな、されど急ごう救急処置

自らの水分補給が困難な時は、水筒などの水を口に含み霧状にして全身に吹きかけるのも手。汗による冷却と同じ効果が得られます。

<資料提供(財)日本体育協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」より>

第36号

50周年記念式典 開催

50周年記念ゴルフ大会

委員長 木納 隆義

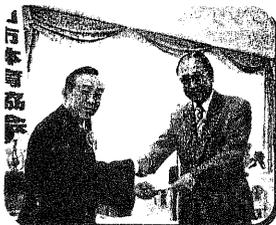
11月10日(火)、犬山カンツリー倶楽部にて記念ゴルフ大会を開催しました。

- 一位 唐澤よ志江
- 二位 松田 好明
- 三位 加藤 志朗
- 四位 白井 芳春
- 五位 水野 直也
- 六位 高橋 隆治
- 七位 加藤 武司



記念 植樹

体育協会50周年を記念し今後ますます発展することを願って、もみじの木を植樹することになりました。



11月20日(土)午後5時から、名鉄犬山ホテル彩雲の間にて50周年記念式典を開催しました。

石田市長、前田市議会議長、田中県議会議員など市内はもとより、愛知県体育協会・三井事務局長や近隣体育協会の会長など多くの来賓にご臨席賜り盛大に行われました。

はじめに加藤会長がご支援に対するお礼を述べ、長年にわたって貢献された11人3団体に特別功労賞を、また寄与された賛助会員104名に感謝状を贈りました。



引き続き、三度めのご来犬となります。まず全日本女子バレーボールチーム監督の柳本晶一氏より「アテネへの道」と題して記念スピーチをいただき、体育協会の節目にふさわしい有意義な式典となりました。

式典終了後は同会場南の間にて懇親会を開催。「体協50年のあゆみ」と新しく開設された「体協ホームページ」をスライドで鑑賞しながら相互の親睦を深め、今後も一致団結して体育協会を盛り立てていくことを誓い合い全日程を終了しました。



「木曾川犬山緑地グラウンド、冠水」

台風23号により、テニスコートに大量の土砂

10月31日(日)午前9時30分から、総勢250名余りで木曾川犬山緑地グラウンドと野外活動センターの災害復旧作業を行いました。

20日夕方から夜半にかけて中部地方を通過した大型で強い台風23号の影響により、木曾川が増水。市の管理する施設のうち、川沿いにあるこの2ヶ所が水没してしまいました。水の引いたあとは流木やゴミが山のように散乱し、何の施設に使われていたのかわからなくなるほどに…。特にテニスコートは大量の土砂が流れ込み、長靴が埋まってしまっただけの泥の海となってしまうほどに荒れてしまいました。面が荒れてしまったため大型の重機が入られず、管理職員が毎日手作業で撤去していましたが、とてもはかどる量ではなく、皆様にボランティアの協力をお願いすることにしました。

この体育協会の呼びかけに、加盟会員はもちろんのことスポーツ少年団の子供たちや父兄、この施設を利用している方々など250余名という有志が快く集まって下さり、泥まみれになっての復旧作業が行われました。

「市民の安全と健康を願い、7768名の署名を提出」

大地震など災害時にも対応できる
「総合体育館」と「温水プール」の建設を要望！

現在の市体育館は昭和38年、市民プールは昭和54年に建設され老朽化が著しく、スポーツ施設としての利用に支障をきたしています。特に体育館は市民の避難場所にもなっており、耐震性はもちろんのこと、自家発電等のライフラインが確保できる設備が整っていないければ新潟県中越地震クラスの災害に対応することができません。

記念式典ではこの署名用紙を石田市長と前田市議会議長に手渡し、再度早期建設をお願いしました。体育協会は、実現に向けて今後も活動を続けていきます。

指導者育成事業(委員長・溝口美智子)

「バレーボール教室」開催

柳本監督・熱血指導

監督の指導のようによろうと思っただけ、難しかった

(中2女子)

すごくいい経験になった(中一女子)

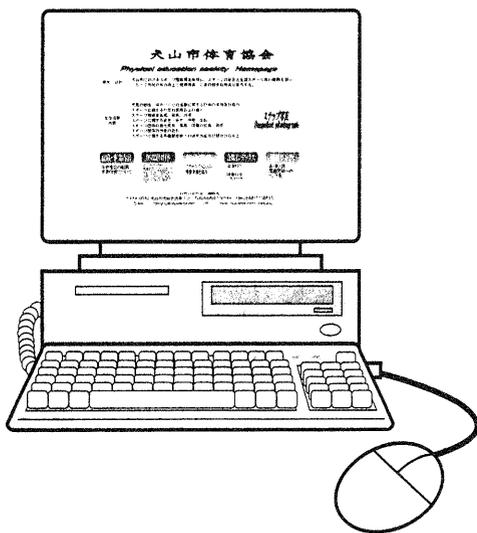
これからの練習に生かそうと思う(中一女子)

勉強になった。きびしいと思っただけと優しくかった(中一男子)

また来て欲しい。背が高かった(中2男子)

生徒に言うことは同じだが、気分の乗せ方・気持ちの掴み方はさすが。参考にしたい(部活コーチ)

子供たちをコートに散らせる、集める、指示してまた散らす...そのタイミングが絶妙！(部活コーチ)



体育協会のホームページができました

幼児から高齢者までたくさんの方がスポーツに親しんで下さることを願って、犬山市体育協会ホームページを開設いたしました。体育協会の事業計画や加盟競技団体の試合結果などをはじめ、たくさんの情報を提供していきたいと思っています。お好きな項目をクリックして色々なページをご覧になり、もっと体育協会のことを知って下さい。

ご意見・ご要望などありましたら、これからはインターネットでもどうぞ。もちろん電話でもお受けしております。皆様からのたくさんのアクセスをお待ちしています。

H・Pアドレス www.inuyama.net/~taikyou
Eメールアドレス taikyou@inuyama.net

「国民体育大会
第25回東海ブロック大会」
—ソフトボール競技—



犬山市制50周年・体育協会50周年を記念して、8月21日(土)・22日(日)、木曾川犬山緑地グラウンドと犬山中学校の4会場で国民体育大会第25回東海ブロック大会ソフトボール競技を開催しました。犬山での国体競技開催は、平成6年の「わかしゃち国体」以来10年ぶりになります。

静岡・岐阜・三重・愛知の選抜16チームによる熱戦が繰り広げられ、「成年男子」「成年女子」「少年男子」「少年女子」のすべての部門で「愛知県」代表が優勝し全国大会へと進出しました。

スポーツ表彰

スポーツ表彰受賞者一覧表

年 度	愛知県体育協会	四市交歓体育大会	犬山市体育協会
昭和51年	奥村 二郎 高木 光重		
昭和52年	舟橋 陽一郎 松山 邦夫 ※文部省表彰 仙田 藤助		★菊水化学工業(株)野球部 松浦 峰義 (陸上) 白石 常善 (卓球) 高橋 信行 (卓球) 大海 敏成 (軟式野球) 後藤 正郎 (バスケットボール) 磯野 秀夫 (柔道)
昭和53年			大森 平一 (バスケットボール) 後藤 敬治 (柔道) 安田 安男 (軟式野球)
昭和54年	※文部省表彰 小川 鈺		竹中 暎和 (バスケットボール)
昭和55年		仙田 藤助 (市体協理事長) 舟橋 陽一郎 (サッカー) 近藤 清 (軟式野球)	★菊水化学工業(株)野球部 後藤 安正 (ソフトテニス) 村田 隆行 (柔道) 小川 勝一 (射撃) 板津 正治 (軟式野球) 香ノ木 教司 (軟式野球) 佐橋 昭夫 (軟式野球) 登坂 裕明 (軟式野球) 斉藤 幸夫 (陸上) 間宮 一枝 (卓球) 大塚 弘活 (卓球)
昭和56年		奥村 二郎 (市体協理事長) 大海 敏成 (軟式野球) 後藤 正郎 (バスケットボール)	★菊水化学工業(株)野球部 三品 仲道 (サッカー) 大澤 輝幸 (ソフトテニス) 安田 喬 (柔道) 松井 邦康 (バスケットボール) 佐光 嘉明 (軟式野球) 水野 鎮夫 (軟式野球) 高田 章 (射撃) 大竹 清 (射撃)
昭和57年		奥村 久男 (市体協副会長) 高木 光重 (市体協役員) 小川 恭二 (柔道)	★菊水化学工業(株)野球部 星月 義男 (軟式野球) 小川 弘美 (軟式野球) 水野 智子 (バドミントン) 宮島 二郎 (ソフトテニス) 石田 利治 (射撃) 小川 慎太郎 (柔道) 長岡 茂 (バスケットボール) 寺澤 正久 (サッカー)
昭和58年		後藤 安正 (ソフトテニス) 勝野 久敏 (柔道) 加藤 隆 (剣道)	森 義隆 (ソフトボール) 青山 二三男 (サッカー) 藤田 秀勝 (柔道) 山田 信宏 (ソフトテニス) 伊藤 照吉 (射撃) 吉田 豊 (射撃) 横井 孝弘 (軟式野球) 武藤 健 (剣道) 河村 大作 (陸上) 日々野 利輝 (陸上) 宮田 智治 (陸上)
昭和59年		本多 逸郎 (ソフトボール) 仙田 逸二 (軟式野球) 藤原 トミコ (バレー)	寺澤 良平 (サッカー) 小林 武 (ソフトテニス) 藤木 隆 (軟式野球) 山本 国広 (スキー) 鵜飼 茂夫 (テニス)

年 度	愛知県体育協会	四市交歓体育大会	犬山市体育協会
			鹿田 和彦 (柔道) 飯田 博司 (弓道) 塩田 忠明 (射撃) 馬場 幸一 (射撃) 服部 宗司 (ソフトボール) 九鬼 秀美 (テニス)
昭和60年		後藤 敬治 (柔道) 大澤 輝幸 (ソフトテニス) 鈴木 健夫 (剣道)	★菊水化学工業(株)野球部 箱崎 新之助 (軟式野球) 鈴木 英明 (サッカー) 参木 政彦 (柔道) 山本 聖留 (弓道) 西垣 守 (ソフトボール) 井戸 正俊 (スキー)
昭和61年	舟橋 陽一郎	斉木 淳一 (陸上) 阿諏訪 澄枝 (バレー) 水野 智子 (バドミントン)	★犬山南高校弓道部男子 ★犬山中学校ソフト女子 宮島 完 (軟式野球) 岩井 但 (柔道) 藤田 正澄 (卓球) 青井 節子 (卓球) 安藤 万太郎 (バスケットボール) 阿諏訪 澄枝 (バレーボール) 山田 憲司 (山岳) 板津 英基 (山岳) 橋本 辰彦 (ソフトボール) 佐藤 安一 (射撃) 小川 則行 (スキー) 広瀬 勝正 (スキー) 持田 誠 (陸上競技)
昭和62年	奥村 二郎	長岡 茂 (バスケットボール) 鷺見 宏治 (テニス) 石田 利治 (射撃)	★犬山卓球協会女子 畠山 富士男 (バスケットボール) 井戸 隆男 (軟式野球) 戸上 義三 (柔道) 横井 且英 (サッカー) 加藤 正博 (サッカー) 角田 美智子 (テニス) 加藤 千統 (山岳) 渡辺 茂 (山岳) 本多 克郎 (ソフトボール) 伊藤 博光 (スキー)
昭和63年		仙石 達雄 (柔道) 宮島 二郎 (ソフトテニス) 佐橋 昭夫 (軟式野球)	★東洋紡績(株)野球部 澤野 和二 (ソフトテニス) 長瀬 一男 (ソフトボール) 佐橋 昭夫 (軟式野球) 長谷川 文男 (軟式野球) 近藤 れい子 (バスケットボール) 小川 勝広 (卓球) 渡会 由貴夫 (卓球) 磯山 登 (山岳) 大津 浩一 (柔道)
平成元年		久郷 大完 (射撃) 寺澤 正久 (サッカー) 竹中 暎和 (バスケットボール)	★犬山OB野球チーム ★犬山軟式庭球男子 川村 昇 (軟式野球) 小川 登志子 (卓球) 松田 博 (卓球) 嶋崎 成志 (柔道) 小川 博己 (射撃) 田中 豊明 (バレーボール) 大嶋 将文 (ソフトボール) 石黒 三郎 (バスケットボール) 宮地 成幸 (サッカー)
平成2年		水野 鎮夫 (軟式野球) 本多 克郎 (ソフトボール)	山田 秀雄 (サッカー) 水野 伸子 (バレーボール)

年 度	愛知県体育協会	四市交歓体育大会	犬山市体育協会
		安田 喬 (柔道)	佐合 憲治 (卓球) 村田 勝己 (卓球) 神谷 誠 (スキー) 鈴木 信義 (射撃) 中村 寿男 (軟式野球) 水野 三美男 (ソフトボール) 高橋 勲 (軟式野球)
平成3年		安藤 万太郎 (バスケットボール) 寺澤 良平 (サッカー) 田中 豊明 (バレーボール)	加藤 博文 (軟式野球) 河尻 満男 (射撃) 岡田 和明 (サッカー) 山中 正和 (テニス) 小川 宏嗣 (テニス) 小林 峰子 (バスケットボール) 松山 清子 (バレーボール) 小倉 勇治 (柔道) 小川 浩史 (ソフトボール) 中垣 敦雄 (バウンドテニス) 今井 省三 (バウンドテニス)
平成4年	鈴木 光雄 (市体協副会長) 勝野 久敏 (市体協理事) 県体協創立60周年記念表彰 松山 邦夫 (市体協会長) 奥村 久男 (市体協相談役) 奥村 二郎 (市体協相談役)	藤田 正澄 (卓球) 服部 宗司 (ソフトボール) 横井 孝広 (軟式野球)	板津 裕蔵 (射撃) 仙石 金一 (ソフトボール) 仙田 豊 (柔道) 副田 喜美子 (バレーボール) 鷺見 宏治 (テニス) 平井 至 (テニス) 小島 信義 (卓球) 和田 豊 (軟式野球)
平成5年	後藤 安正 (ソフトテニス団体長) 藤田 正澄 (市体協副会長) 後藤 正郎 (バスケット団体長)	嶋崎 成志 (柔道) 橋本 辰彦 (ソフトボール) 小川 勝広 (卓球)	渡辺 侑子 (ソフトボール) 中島 順子 (バレーボール) 大沢 昌樹 (テニス) 須藤 義明 (軟式野球) 山口 ゆり子 (バウンドテニス) 板津 賢 (柔道) 久郷 大完 (射撃)
平成6年	前田 達郎 (サッカー団体長) 池田 信之 (バレーボール団体長) 本多 克郎 (ソフトボール団体長)	横井 且英 (サッカー) 福田 貴美子 (バレーボール) 宮島 完 (軟式野球)	島岡 照夫 (ソフトテニス) 近藤 五男 (軟式野球) 宮脇 りえ子 (バウンドテニス) 鈴木 正 (バウンドテニス) 塩崎 勇喜人 (バウンドテニス) 鈴木 愛子 (バウンドテニス) 伊藤 カオル (バウンドテニス)
平成7年	伊藤 英男 (市体協相談役) 本多 逸郎 (市体協相談役) 小林 義雄 (陸上競技団体長)	長瀬 一男 (ソフトボール) 澤野 和二 (ソフトテニス) 村田 勝己 (卓球)	岡山 正子 (バレーボール) 引地 清一 (ソフトボール) 木下 秀男 (ソフトボール) 長谷川 仁 (テニス) 長瀬 隆生 (サッカー) 宮島 京子 (バスケットボール) 星月 義男 (軟式野球) 竹内 信一 (射撃) 今井 省三 (バウンドテニス) 武藤 博紀 (バウンドテニス) 水口 幸子 (バウンドテニス) 橋谷 修身 (バウンドテニス)
平成8年	阿諏訪 澄枝 (バレーボール) 小川 宏嗣 (ソフトテニス) 伊藤 裕規 (市体協相談役)	大竹 清 (射撃) 小林 峰子 (バスケットボール) 渡辺 侑子 (ソフトボール)	山本 聖留 (弓道) 倉知 正人 (弓道) 星野 善樹 (軟式野球) 水野 毅 (柔道) 奥村 みよ子 (バレーボール) 杉江 正行 (テニス) 小川 登志子 (卓球) 武藤 素恵美 (バウンドテニス) 小島 豊光 (バウンドテニス) 市川 豊 (サッカー)

年 度	愛知県体育協会	四市交歓体育大会	犬山市体育協会
平成9年	竹中 暎和 (市体協理事) 仙田 逸二 (市体協副会長)	熊崎 俊朗 (軟式野球) 水野 伸子 (バレーボール) 山下 敏弘 (テニス)	藤田 辰男 (軟式野球) 長瀬 繁生 (サッカー) 柴山 基臣 (柔道) 清水 直 (弓道) 江口 進 (弓道) 稲田 詠二 (ソフトボール) 岡本 えみ (卓球) 金成 敏弘 (バレーボール)
平成10年	宮島 完 (体協副理事長) 大竹 清 (体協理事) 鷲見 宏治 (体協理事)	鈴木 信義 (射撃) 小川 登志子 (卓球) 岡田 和明 (サッカー)	上田 秋吉 (軟式野球) 三宅 一夫 (軟式野球) 木津 プライト (軟式野球) 馬場 英幸 (サッカー) 宮澤 茂 (柔道) 奥田 峰男 (柔道) 荒木 俊定 (テニス) 川合 雪恵 (バレーボール) 安藤 康之 (ソフトテニス) 水野 克巳 (ソフトテニス)
平成11年	服部 宗司 (市体協理事) 後藤 敬治 (市体協理事) 山本 聖留 (市体協理事) 大澤 輝幸 (市体協理事) 星月 義男 (軟式野球) 水野 鎮夫 (軟式野球) 横井 孝弘 (軟式野球) 佐橋 昭夫 (軟式野球) 橋本 辰彦 (ソフトボール) 宮島 二郎 (ソフトテニス) 安田 喬 (柔道)	仙田 豊 (柔道) 星月 義男 (軟式野球) 小川 浩史 (ソフトボール)	古箭 国重 (軟式野球) 佐橋 昇 (ソフトテニス) 小倉 武司 (サッカー) 弓削 文裕 (柔道) 千田 健治 (射撃) 小川 加津美 (射撃) 高木 茂子 (山岳) 林 和雄 (卓球) 山下 敏弘 (テニス) 森川 幸子 (バレーボール)
平成12年	上垣外 勝安 (市体協理事) 鈴木 健夫 (市体協理事) 坂野 秀生 (軟式野球団体長・ 体協顧問) 戸上 義三 (柔道) 仙田 豊 (柔道) 長瀬 一男 (ソフトボール) 山中 正和 (テニス) 寺澤 正久 (サッカー) 藤原 トミコ (バレーボール) 澤野 和仁 (ソフトテニス)	安藤 康之 (ソフトテニス) 山田 秀雄 (サッカー) 大島 禄弘 (バスケットボール)	松浦 清昭 (ソフトボール) 福井 健人 (サッカー) 藤原 トミコ (バレーボール) 浅野 政春 (卓球) 神谷 勝利 (ソフトテニス) 岡嶋 強 (軟式野球)
平成13年	和田 豊 (軟式野球) 須藤 義明 (軟式野球) 安藤 康之 (ソフトテニス) 小川 浩史 (ソフトボール)	戸上 義三 (柔道) 小川 博己 (射撃) 岡山 正子 (バレーボール)	佐橋 光春 (柔道) 河田 計司 (弓道) 小柳津 光正 (ソフトテニス) 松浦 幹宏 (サッカー) 近藤 寛 (ソフトボール) 倉田 勝子 (バウンドテニス)
平成14年	鈴木 信義 (射撃) 小川 博己 (射撃) 寺澤 良平 (サッカー) 近藤 五男 (軟式野球) 高岡 茂次郎 (犬山市体育協会)	須藤 義明 (軟式野球) 水谷 ひさ子 (卓球) 仙石 金一 (ソフトボール)	上外外 勝安 (バウンドテニス) 伊藤 昌弘 (サッカー)
平成15年	星野 善樹 (軟式野球) 山田 秀雄 (サッカー) 水野 克巳 (ソフトテニス) 加藤 武司 (犬山市体育協会) 溝口 美智子 (市体協理事) 加藤 隆 (市体協理事)	長瀬 隆生 (野球) 松山 清子 (バレーボール) 水野 克巳 (ソフトテニス)	保坂 毅 (ソフトボール) 笹倉 八郎 (ソフトボール) 兼松 康江 (弓道) 多和田 聡 (ソフトテニス) 大深 直人 (ソフトテニス) 横井 尚幸 (サッカー) 高田 健太郎 (柔道)
平成16年	藤田辰男 (軟式野球) 横井且英 (サッカー)	松浦 清昭 (ソフトボール) 小川 加津美 (射撃) 奥田 峰男 (柔道)	

贊助會員

歴代賛助会員一覧表（順不同）

事業所名・氏名
愛知北農業協同組合 犬山市事業本部
愛朋コンクリート株式会社
株式会社 アイトップ
愛知北農業協同組合
株式会社 愛知機工
愛北木材 株式会社
株式会社 青山組
青山建設 株式会社
青山製作所
有限会社 安桜
有限会社 あじか
安達建築 株式会社
株式会社 アトリエシア
株式会社 アルファ日産
安藤クリニック
安藤医院
株式会社 イクサム
池田信之
株式会社 石田鉄工所
総合食料品店 石田屋
有限会社 板津燃料店
株式会社 伊藤土建
株式会社 井戸庄
株式会社 稲葉製作所 犬山工場
犬山ガス 株式会社
犬山写真館
犬山しろひがし商業協同組合
犬山福祉事業協同組合

事業所名・氏名
犬山料理業組合
合資会社 犬山衛生社
株式会社 犬山カンツリー倶楽部
犬山福祉事業協同組合
井上印刷
株式会社 今仙電機製作所
株式会社 今仙技術研究所
株式会社 今商
ウメダ 株式会社
H I L L - T E C
エスケー株式会社
江戸っ子
エナジーサポート 株式会社
株式会社 遠藤不動産設計
株式会社 近江屋
株式会社 オオイ
大脇照夫
株式会社 大橋屋商店
大竹産業株式会社
大竹 清
オーモリニッセキ株式会社
大沢合成工業所
有限会社 大野屋
大脇米穀店
株式会社 小川製作所
小川通也設計事務所
小川浩史
合資会社 小川鉄工所

事業所名・氏名
株式会社 オクムラ オクムラスポーツ
奥村久男
奥村工業所
有限会社 奥村工業所
尾関作十郎陶苑
スポーツ&サービス オフサイド
株式会社 各務原商事
楽田クリーニング
掛札保雄
株式会社 カトージ
金井仏具店
カフェレスト トミー
河田歯科医院
菊吉運輸 株式会社
キトウ歯科医院
有限会社 キノウ商会
株式会社 木村屋
医療法人 木村内科
料理・割烹 清川
合資会社 共和機械製作所
久保田カヨ子
栗原真一
桑原木材 株式会社
有限会社 ケイ・テイ・エム
株式会社 迎帆楼
ケミカルテック株式会社
小島施設 株式会社
小島鑛三
寿洋菓株式会社

事業所名・氏名
合資会社 寿老飴本舗
後藤陶逸陶苑
有限会社 後藤保険サービス
ごとう歯科
有限会社 後藤産業
後藤安正
株式会社 後藤製作所
小林義雄
近藤隆雄
坂下 松仙
有限会社 酒のはっとり
サントリー株式会社 木曾川工場
株式会社 三新製作所
敷島製パン株式会社 犬山工場
株式会社 島由樹脂
株式会社 島正技研
株式会社 清水屋犬山店
松栄ゴム工業株式会社
白帆スタジオ
株式会社 新栄工業
株式会社 シンエイライフ
有限会社 杉本保険サービス
鈴木歯科
鈴木光雄
セイトク工業 有限会社
株式会社 セイワ
株式会社 成正建装
株式会社 銭高組名古屋支店
有限会社 仙田運動具店

事業所名・氏名
合資会社 千賀鑄造所
大和印刷 株式会社
株式会社 大幸
大丸建設株式会社
株式会社 大安
株式会社 ダイア
大同メタル工業株式会社 犬山事業所
大和企画 株式会社
高木写真館
高木照京
株式会社 タカコム
高根碎石株式会社
医療法人 竹内整形外科クリニック
竹田製菓株式会社
竹内サイクルセンター
株式会社 田島順三製作所名古屋工場
田中工業株式会社
丹葉電機計測 株式会社
中部魚錠 株式会社
中京研磨 株式会社
ケーキ&パスタ テネシーホーム
天衣工業 株式会社
東洋紡績株式会社 犬山工場
東航エンジニアリング 株式会社
東洋自慢酒造 株式会社
東洋ファイン 株式会社
東洋航空電子株式会社
有限会社 豊場屋
(株)豊川仲店土産物連合犬山支部イストラキラク

事業所名・氏名
株式会社 ナイトビーム
株式会社 ナイト
内藤タオル店
中村電機工業株式会社 名古屋工場
長瀬一男
合資会社 永津製作所
株式会社 名古屋銀行犬山支店
名古屋鉄道株式会社西部支配人室
成田山 大聖寺
二宮孝治
日本紙工業 株式会社
日本ライン観光旅館連盟
日本ライン観光株式会社
株式会社 ニュータス
株式会社 丹羽由
株式会社 白帝社
合資会社 博文社
有限会社 ハグロ精器
理容 はぐろ
橋本辰彦
長谷川 潤
八剣伝 犬山市役所前店
合資会社 八勝閣
服部宗司
株式会社 林鉄工所
株式会社 林鑄造所
坂野秀生
税理士法人 麩城総合経営事務所
ヒロセ株式会社 名古屋工場

事業所名・氏名
合資会社 福富商店
福岳産業株式会社
有限会社 富士鍍金工業所
有限会社 藤原商店
扶桑自動車株式会社
株式会社 ふそう特印
舟橋 陽一郎
文化出版 株式会社
北斗設備株式会社
堀 正行
本多克郎
前田達郎
勝建設 株式会社
料理旅館 榊屋
医療法人松陽会 松浦病院
松山邦夫
松田設計事務所
松野屋 有限会社
株式会社 松仙商店
有限会社 マルヒロ
株式会社 丸一建商
株式会社 丸正自動車
株式会社 丸富
株式会社 マンツネパッケージ
ミズノ 株式会社
水谷製作所
水野建設株式会社
水野技研
水野三美夫

事業所名・氏名
溝口塾
美乃又住宅設備 (資)
宮博建設 株式会社
株式会社 宮田建設
合資会社 宮田屋
株式会社 宮岡商店
合資会社 みやこや
村田機械株式会社 犬山事業所
株式会社 名鉄犬山ホテル
株式会社 森土商會
矢崎化工株式会社 犬山工場
安田法務測量事務所
安田電業 株式会社
安田電機工事
山口建鉄 株式会社
山根水道工業 株式会社
ヤングビーナス薬品工業株式会社
株式会社 UFJ銀行犬山支店
有限会社 横井包装
吉田製粉株式会社
吉恵商店株式会社
吉田千代子
株式会社 ワイジェーエス
若松屋 阡壺
株式会社 ワクタ
株式会社 ワコー車検センター
渡邊達也
渡辺政彦
株式会社 ワタギン

加盟団体のあゆみ

犬山軟式野球連盟	54	犬山山岳会	76
犬山バスケットボール協会	56	犬山ソフトボール協会	78
犬山ソフトテニス連盟	58	犬山卓球協会	80
犬山陸上競技協会	60	犬山テニス協会	82
犬山剣道連盟	62	犬山バレーボール協会	84
犬山サッカー協会	64	犬山バウンドテニス協会	86
犬山柔道会	66	犬山水泳協会	88
犬山弓道協会	68	犬山グラウンド・ゴルフ協会	90
犬山射撃協会	70	犬山空手道会	92
犬山スキー連盟	72	犬山ペタンク協会	94
犬山バドミントン協会	74		

犬山軟式野球連盟



第19回 中日旗争奪少年軟式野球 犬山大会 2004.9.19~ 犬山木曾川緑地野球場他

■ 創立とあゆみ

昭和21年、愛知県軟式野球連盟が結成され、それと同時に当時の丹羽郡に野球の組織が作られた。その後昭和29年市制発足と同時に設立された犬山市体育協会の一員として野球部が出来ました。50年の規約改正に伴い、軟式野球連盟として加盟、現在に至る。我が連盟も体育協会と同じ50年の歳月を数えた組織であることの誇りをもって活動をしています。

■ 活 動

29年発足より野球好きの若者がチームを結成し始め、とくに会社のチームがこぞって連盟に加入してきました。しかし、バブル崩壊という現象から会社のチームが次々と解散、ややチーム数は減少しましたが、その後はクラブチームが多く結成された。本当に野球が好きで若者が、同級生、同窓生を中心にチームを作り連盟に参加してきた。若い人たちのチームはまとまりには欠けるが元気を与えてくれ、若者特有の力が感じられる。現在56チームが登録されています。そして、A、B、C級と組み分けをしてほとんどの大会はトーナメント方式で年間5つの大会を開催しています。木曾川緑地グラウンドを中心に名証グラウンド、そして事業所のグラウンドをお借りして、3月初めから12月までの毎日曜日に試合を行っています。以前は会社チームで強いチームが集まりましたが現在は県大会が平日の試合が多いので参加が出来ませんが、土、日曜日の大会には参加をしています。尾張地区との交流大会には積極的に参加して親睦も深めています。また、大会運営に当たり、審判技術には特に力を入れ開催される研修会には必ず参加して、技術の向上を図り、選手の皆さんが楽しくプレーできるように公正な審判をするよう努力は怠りません。軟式野球を通して互いの親睦と技術の向上を目指して各チームが一生懸命プレーをしています。



中学生、学童

市内4中学校と、学童（小学生）7チームが連盟に登録をして多くの大会を行っています。中学生はクラブ活動の中でのチーム作りで、民間の方々も指導者として適切な指導をいただきレベルアップの向上が期待されています。一方、学童の部はクラブチームで昭和54年秋に第1回大会を開催しすでに26年が経過しました。その間指導者の皆さんのご努力により、県大会、東海大会での優勝もでき、犬山の少年野球のレベルが非常に高く評価されています。この上は全国大会の出場をめざして、それぞれのチームが練習に励んでいる。小学生の選手が中学生になってもより高いレベルの野球が出来ることを期待しています。



年間スケジュール

一般の部

天皇賜杯軟式野球犬山予選（A級）
高松宮賜杯軟式野球犬山予選（B, C級）
市民軟式野球大会（主管）
春季会長杯軟式野球大会
勤労者少年軟式野球大会（主管）
理事長杯軟式野球大会
秋季会長杯軟式野球大会

中学生

全日本少年軟式野球犬山予選
中日少年軟式野球犬山予選
県新人中学生軟式野球犬山予選

学童

全日本学童軟式野球犬山予選
スポーツ少年団軟式野球大会
市民軟式野球大会（学童の部）
中日少年軟式野球大会犬山予選
県学童軟式野球選手権大会犬山予選
中日旗争奪少年軟式野球大会（主催）
県新人学童軟式野球大会犬山予選
秋季会長杯学童軟式野球大会

役員

会長・県常任理事・市体育協会副会長	仙田 逸二	副会長	星月 義男
理事長・市体育協会副理事長	宮島 完	審判長	星野 善樹
少年部長	和田 豊	技術担当	古箭 国重
顧問	大海 敏成 佐光 嘉明 小川 弘美 安田 安男		
監事	水野 鎮夫 兼松 潔		
理事	横井 孝弘 須藤 義明 近藤 五男 藤田 辰男 上田 秋吉 岡島 強 野沢 敏 松永 英雄 東 和美 木村 敏彦 上野 淳 永井 恵三 五藤 康明 伊藤 清 斉藤 紘宇 中山 祐二 宮田 孝秀 渡辺 淳治		

犬山バスケットボール協会

平成 16 年度 主な年間行事

一般の部

- ・ 春季市民大会（4月）
- ・ 春季会長杯（4月）
- ・ 四市交歓大会（5月）
- ・ 秋季市民大会（11月）
- ・ 秋季会長杯（11月）
- ・ 練習 毎週火 19～21（村田機械）
- ・ 〃 毎週土 19～21（市体育館）

婦人の部

- ・ 春・秋季市民大会
- ・ 練習 毎週日 19～21（南中）

ジュニアの部

- ・ 春・秋季市民大会
- ・ ジュニア大会（県）（9月）
- ・ 白帝カップ（8月・3月）
- ・ 練習 毎週月 19～21（犬中）

ミニの部

- ・ 春・秋スポ少大会（犬山）
- ・ 春・秋季市民大会
- ・ 大垣大会（5月）
- ・ 高山カップ（8月）
- ・ サマーフェスティバル（8月）
- ・ 尾張大会（県予選）（10月）
- ・ 白帝カップ（2月）
- ・ 練習 毎週火・金 19～21（北小）

平成 16 年度 役員名簿

会 長	竹中 映和
理事長	三島 嗣與
会 計	広井 真紀
理 事	坂井 忍 大島 禄弘
	神谷 勝治 江原 靖人
	種広 茂昇 勝村偉公朗
	小木曾洋一 近藤 淳司
	柴田 硬平 安藤 幾江

第18回 愛知県ミニバスケットボール尾張大会

犬山ミニバスケットボール教室

2004年10月30・31日/11月7日
小牧市スポーツ公園総合体育館



コーチ・竹中 瑛和

- 4 大澤 優香
- 5 澤木 芽生
- 6 近藤 綾香
- 7 林 未紗
- 8 木納 依里
- 9 服部 結
- 10 河合 苑美
- 11 奥村 恭子
- 12 小川 晴菜
- 13 岩田 美穂
- 14 井戸 温子
- 15 曾我 純花
- 16 江口 愛実
- 17 中村 優希
- 18 石原 歩

	35年	43年	49年	52年	56年	57年	58年	59年	60年	平6・7年	平15年
会長	後藤正郎	〃	(県議) 林銃二	〃	〃	〃	〃	後藤	〃	竹中	〃
副会長			(村田工場) 大森平一	〃	後藤	〃	〃				
理事長			後藤	〃	松井邦康	安藤 万太郎	〃	〃	〃	長岡	三島
顧問			新井晴生 (市邨短大)	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
体協	竹中映和	後藤	竹中	鈴木正	竹中	〃	三島	大島	竹中	森田学 小林峰子	竹中

※ 53年6月犬山バスケットボール協会 10周年記念大会を開催

あゆみ

犬山市制と共に犬山市体育協会が合併・発足した。当時バスケットボール協会は加盟しておらず、当時は犬山高校が市近隣の中学校を招待し試合を開催していた。その頃の犬山中学校は県大会出場の常連であり、実業団の東レ愛知女子などは犬中出身者で占められていた。

昭和 35 年には犬中を指導していた後藤正郎先生により、協会設立のための体協理事として竹中暎和を派遣した。その後 43 年 2 月、犬中 O B を中心に犬山バスケットボール部を結成、同 4 月には県のクラブチームにも登録。49 年 4 月、犬山バスケットボール協会が設立された。



<愛知県都市対抗バスケットボール大会>

1 回 昭和 43 年（名古屋市）～ 30 回 平 8 年以後不参加

<愛知実業団バスケットボール連盟>

昭和 45 年加盟（村田キカイ&部会メンバー）、リーグ戦に参加

50 年 22 部から 15 部に登格するも昭和 51 年、退会する

<婦人教室>

昭和 53 年 7 月 楽田 P T A（杉山佐紀子）

54 年 4 月 婦人教室として指導者（後藤、竹中）のもと、勤労青年ホーム体育館で練習する

56 年 8 月 全国家庭婦人交歓大会第 3 回（埼玉県上尾市）県代表として出場、1 勝 3 敗。泊まりで参加。（バスで行く）隣の宿舎が火災で大変でした。

57 年 県婦人大大会が結成。豊田市にて第 1 回が催されスリーダイヤ婦人が強力だった。56 年、犬山 L B C（犬山レディース）とチーム名をする。以後、犬山市内だけで活躍する。

<ミニバスケットボール>

昭和 48 年 以後、竹中で男子チームを作り県交流会を始める。

51 年 三島と長岡 指導者で教室を開催する。

52 年 1 回県ミニ大会始まる。

60 年 9 回 〃（県選手権始まる）

62 年 1 回尾張大会始まる。第 1 回愛知サマーフェスティバル始まる。（愛知県体育館で交流会として）平 16 年度は 22 回県選手権大会

<犬山リーグ戦>

昭和 48 年 11 月 1 回～ 55 年 11 月 8 回

プログラム等の冊子を作る広告を募集し、大会運営費と協会費用を捻出する。

<犬山ミニ大会>

昭和 54 年 1 回～ 56 年 3 回

<バスケットボール仲間の集い（みんなの輪）>

昭和 58 年 11 月 1 回～ 61 年 11 月 4 回

ミニや父母、婦人、子供、一般の会員相互の連帯を深める親睦ができた。

犬山ソフトテニス連盟

あゆみ

昭和29年市制施行と共に「犬山市体協庭球部」を設立。第1回三市交歓体育大会に参加。それ以来昭和31年尾北地区大会、昭和32年尾張地区大会、昭和33年尾北地区大会に参加好成績を挙げました。一方女子もニチ紡犬山の選手を中心に、東海地区大会を始め、西日本、全日本大会に参加上位入賞を果たしました。その間、中学生大会、テニス教室等開催し、普及に務めて来ました。昭和40年代には、四市交歓体育大会においては、男女共に優勝と輝しい成績をおさめて来ました。昭和50年～昭和60年代特に昭和61年～昭和63年は、連続3年間の優勝と犬山市が全盛を誇った時代です。

主な年間行事

- ・春季中学生大会（4月）
- ・秋季中学生大会（10月）
- ・春季市民大会（4月）
- ・秋季市民大会（10月）
- ・四市交歓体育大会（5月）
- ・会長杯争奪戦（12月）



市民大会 入賞者

平成に入り、転勤・転居により主力選手が分散、加え選手の高齢化にともない選手が激減し、四市交歓体育大会に参加する選手の確保に苦慮したこともありましたが、残留選手の皆さんの努力により、四市交歓体育大会・ソフトテニス連盟会長杯大会・犬山市民大会等の参加を積極的に呼びかけ、選手の方々の士気を高め復活を図ってまいりました。



市民大会 風景



日の出住宅の皆さん

犬山市には、充分練習できるクレーコートがなく、犬山高校のコートを借りて練習に励み、四市交歓体育大会では優勝する等、好成績を挙げてまいりました。

最近では、関西電力さんのコートを借りて練習をおこなっておりますが、幸い3～4名の若い選手も加わり活発な練習が行われています。他に日の出住宅のコートでは、住宅内のテニス愛好者が毎週日曜日に集まり熱心に練習を行っています。先述したように、クレーコートがなく、ソフトテニス発展を期するためにも犬山市の絶大なるご尽力により近い将来立派なクレーコートが出来ると信ずるものであります。

役員名簿

会 長	澤野 和二				
副 会 長	宮島 二郎				
会 計	小柳津光正				
理 事	水野 克巳	大深 直人	佐橋 昇	多和田 聡	
体協理事	澤野 和二				

犬山陸上競技協会

犬山国際友好シティーマラソンと犬山陸協

犬山陸上競技協会 会長 小林 義雄

犬山から柴田恭志、松浦峰義、斉木淳一、吉田鋭夫氏らを始めとして全国的に活躍された幾多のアスリートが輩出され、今日の陸協の中核メンバーとしてご活躍を頂いております。最近ではアテネの切符を逃してしまいましたが、2年続けて全日本チャンピオンとなった笹野浩司選手が出ました。残念ながら、昨今のスポーツの多様化により、走る、跳ぶ、投げるということの魅力が薄れ、とうとう犬山中学から陸上部が消滅するという状況となりました。その反面、健康と生涯スポーツが強調される時代の到来で健康マラソン、フルマラソンブームが訪れ今日の市民マラソン隆盛期となりました。そのような時代の趨勢に対応するために犬山シティーマラソンが誕生しました。会長としての私の活動はまさに犬山シティーマラソンとともに歩んできましたので、本稿では主としてシティーマラソンの誕生、発展について触れることにします。

手作りの犬山シティーマラソン誕生

市民の健康づくりの啓蒙に対応することにとどまらず、寒い犬山の冬にも躍動感のあるスポーツ祭典を起こそうではないかという声が持ち上がり、犬山市街地をコースにする市民マラソン大会を立案したのが20数年前のことでした。残念ながら、そのような大掛かりな計画は犬山市当局、教育委員会、体協の賛同が得られず、そこで中日新聞社にお願いし共催の形でとにかくやってみようということになりました。

しかし、実行に移すには幾多の課題を越えなければなりませんでした。その時多大なお骨折りをいただいたのが犬山ロータリークラブでした。さらに地元の個人企業の皆さんからは広告などのご協賛ご支援を頂戴することができ、それが今日まで続いております。また、申し込み受付には末広町の数人の主婦から無償の労が提供されました。ポスターの図案も美術学校の学生さんであった方から無償で作っていただきました。運営面では、陸協メンバーだけではとうてい不可能でしたので、犬山ソフトボール協会の仕事に携わっておられた元中日ドラゴンズの名選手、本多逸郎氏にお願いして大勢のお手伝いを頂くことができ、併せて犬山ライオンズクラブと犬山J.Cの二つの団体からも暖かいご支援を頂くことになりました。

ここに市民の手作による大会が“冬の犬山健康フェスティバル”「犬山シティーマラソン」として誕生したのです。それは1983年1月30日でした。その第1回大会には7000名を超える市民ランナーの参加が得られ、まさに冬の犬山祭りの体裁が整ったように思えました。関係者の誰もが想像したことのない参加人員に仰天し、大会成功に感動しました。ご支援いただいた方々への感謝の気持ちはいまだ失っておりません。民のパワーが起こした大会は近隣の多くの市関係者の関心を惹きさせたようで、大会の企画運営等を尋ねるために幾多の市の関係者が犬山市を訪れました。その後、近隣に続々とシティーマラソンが各地で誕生する誘引になったものと喜んでおります。第三回大会から犬山市が主催者としてお入りいただくことができ、大会の質が一層高められ、運営もよりスムーズになり、多くの市民の方々に喜んでいただいております。当時は、陸上競技の上部団体の姿勢は「陸協」と名がつく団体は一般市民を対象に大会を開いてはならないというものでした。いろいろ軋轢もありましたが、陸協役員の皆さん全員が市民への奉仕の信念を貫いていただきましたことが今日の23回大会が存続することになっているわけです。とにもかくにも、犬山シティーマラソンがパイオニア的な役割を果たすことになったことに大きな誇りを感じております。

犬山国際友好シティーマラソンとして

石田芳弘現犬山市長が市長として就任された直後に、私は市長室に呼ばれ、犬山シティーマラソンとアメリカのどこかの市民マラソンとの交流を図ることの要請を受けました。それまで委員会で国際化の話題がくすぶっていた折でもありましたので、その実現は一気に加速され、米カリフォルニア州デービス市の市民マラソンとの交流が1997年に誕生しました。それまでに他の多くの大会が行っているような勝者に褒美として外国の著名な大会に切符を与えるという形式を避けて、市民が相互に訪問し交流を深めるという形式を選択しました。犬山と同様デービスも、派遣ランナーは参加市民の中から抽選で選ぶ選抜形式をとっています。

ランニング交流は2001年に姉妹都市締結に大きな役割を演じることとなりました。さらに、デービス派遣ランナーが中心となって創られたFOD(Friends OF Davis)と犬山リトルリーグ協会の共催で、市制50周年記念事業として犬山ーデービス少年野球交流が2004年8月に開催されました。これは日米リトルリーグ交歓ゲームとして日本で最初の大会となったようです。デービスから大挙45名の市民の訪問を受けました。このように、犬山国際友好シティーマラソンは両市民間の友好交流の発展に少なからず影響を果たしているものと言えます。

第一回犬山市民、マラソン選手権と今後の犬山陸協の活動

市制50周年記念を祝う23回大会には犬山市体育協会のご支援を受けて、さらに新しい試みが紹介されます。それは犬山市民を対象とするマラソン選手権です。年齢階層別、性別にシティーマラソン5kmまたは10kmに参加された市民からチャンピオンをきめます。ねらいは市民の参加を鼓舞することであり、願わくば全国的に活躍する長距離ランナーの誕生を期待することでもあります。

子どもたちのかけっこ離れは全国的な傾向のようです。しかし、走る、跳ぶ、投げるという動作は人間の本能的な動作であり、スポーツの基本でもあります。球技スポーツの地域クラブ化はすっかり定着しているようですが、陸上競技のような走ることが中心となるスポーツはなかなかうまく進まないのが実態です。しかし、発育期にある若者の健全な成長に役立ち、能力を引き出すことに支援することはきわめて重要です。犬山陸協ではこのことについてどのような方向付けができるのか早急に検討してみたいと考えます。かつて活躍された方々のご支援をお借りしながら、さしあたって、『かけっこクラブ』とでもいうようなごくインフォーマルなクラブから将来の陸上競技界に活躍する子どもの育成ができないものかを考えてみたいと思います。

組 織

1 総務部	2 競技部	3 広報部	4 国際交流部
会 長	小林 義雄		
副会長	佐橋 好春	松浦 峰義	
理事長	斉木 淳一		
副理事長	吉田 鋭夫		
理 事	米沢 邦弘	伊藤 勝則	大藪 佳輝
	鈴木 正	早川 守人	酒井 努
	中村 浩三	上原 敬正	柴田 恭志
			岡部 雄次
			大沢 隆二
			中村 達司

犬山剣道連盟

あゆみ

昭和28年犬山剣友会として発足、戦前、学生、一般社会人で剣道を経験のある方、そして子どもたちが多数一同に集まり、犬山市役所の屋上にて稽古会が再開されました。

その後、稽古会場を犬山南小学校、犬山市体育館に移転しながら、昭和58年には犬山市武道館が落成し、現在に至るまで稽古の拠点としています。

また、昭和40年代の後半には、犬山地区の他に楽田地区（稽古会場は、楽田小学校）での活動も始まっております。この間の昭和48年には、組織の見直しを行い、名称も現在のものに改められました。

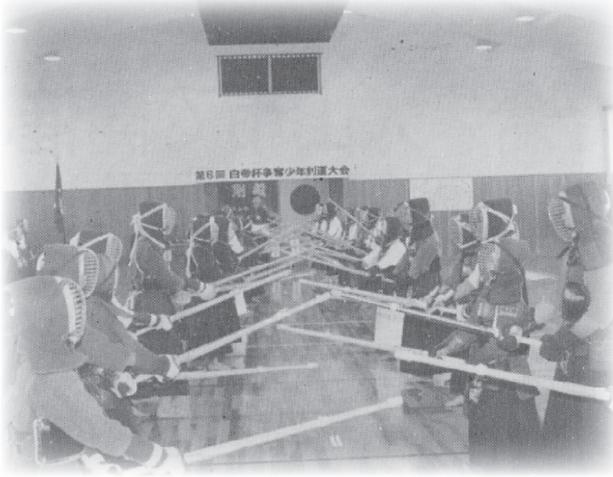
昭和62年には、犬山市から依頼を受けて、「犬山城築城450年祭記念 東海四県選抜少年剣道大会」を財団法人愛知県剣道連盟と犬山城築城450年祭実行委員会の共催で、尾張地区剣道連盟と犬山市剣道連盟の主管で開催しました。

平成8年、春の犬山祭前に開催される「犬山お城まつり」に協賛し、継続開催していた「白帝杯争奪剣道大会」の規模の拡大を図り、「犬山お城まつり 第1回犬山白帝杯少年剣道交流大会」を開催しました。この大会から、尾張地区の全地区が参加する大会となり、以後、毎年開催し、平成16年には第9回大会を開催しております。



■ 活動内容

犬山市武道館では火曜日と金曜日に、楽田小学校では月曜日と木曜日の夜に年間を通じて、稽古をしています。稽古の前半は少年少女を中心に、後半は中学生以上から一般が汗を流しています。稽古の他には、各種の少年剣道大会や一般の大会に参加するとともに、少年を対象とした昇級審査を年2回開催しております。また、一般も愛知県や全国で行われる昇段審査に挑戦しています。



■ 主な年間行事

- ・ 新年稽古始会
- ・ ライオンズクラブ杯少年剣道大会
- ・ 犬山白帝杯少年剣道交流大会
- ・ 少年剣道月例大会

■ 役員名簿

会 長	加藤 隆		
副 会 長	大海 勝則	武藤 健	
事務局 長	鈴木 健夫		



犬山サッカー協会

あゆみ

2002年にW杯日本開催というビッグイベントがありました。その影響もあって、サッカー人口は増えています。犬山サッカー協会にも、小学生からシニアまで多数の会員が活動しています。サッカー好きが集った当協会は、手作りの運営をモットーにしています。また、Jリーグ誕生に伴って日本サッカー協会は、公認指導者の養成に力を入れ始めました。私達も「地域で子供を育てる」を目標に掲げ平成7年度に少年部を発足し、普及・育成を目指して活動しています。



活動内容

◇運営部

1st・2ndリーグ始め各種大会を開催しています。現在は19チームが加盟しています。1部8チーム・2部11チームに分かれてリーグ戦を行っています。ここ数年、少年部を育ていった子供達がチームを作り協会に加盟して、活性化しています。将来は、彼らが中心となって運営が出来ることを願っています。

近隣の市町と交流を図っています。毎年7月から8月にかけて岩倉市・江南市・扶桑町と共催で尾北クラブカップを開催しています。平成15年度から西尾張スポーツレクリエーション大会を名証グラウンドで開催しています。(3年間の予定) また、40才以上のシニアチームが参加して市民大会を春と秋行っています。

◇審判部

各種大会に審判を動員しています。新規の4級審判認定講習会を開催したり、勉強会を開催して3級審判員・4級審判員のレベルアップを図りながら行っています。

◇少年部

小中一貫指導を目指しています。毎週火・木曜日(ナイター)と毎月第2・4土曜日を練習日としています。今ではU-10・11・12・13・14・15・ガールズとカテゴリーに分れて行っています。指導員は全員が日本サッカー協会公認C級指導員を取得しています。また夏には、富山・清水など積極的に遠征に出かけ心身ともに鍛えています。

市内4中学校の部活動には協会のスタッフが外部コーチとして、顧問の先生方と協力して活動しています。毎年協会会長杯を学年別で開催しています。

小学生は以前では、高学年だけの活動が主でしたが、今では1年生からサッカーに親しめる環境が徐々に整いつつあると思います。今年度からは市内全団(6団)参加しての月1回のペースで合同練習会を行っています。これからは、キッズ(U-6)・ガールズ・ユース(高校生年代)と手がけなければならない事があります。背伸びしないで一歩一歩前に向かって歩きたいと思っています。

■ 主な年間行事

(一般)

- ・ 春季市民大会 (4月～5月)
- ・ 1stリーグ (5月～9月)
- ・ 尾北クラブカップ (7月～8月)
- ・ 秋季市民大会 (9月～10月)
- ・ 2ndリーグ (11月～2月)
- ・ 会長杯 (3月)

(少年部)

- ・ 春季スポーツ少年団大会 (6月)
- ・ コパ犬山学年別大会 (7月)
- ・ IFL大会 (10月～12月)
(犬山フットボールリーグ)
- ・ 犬山ジュニアユースカップ (10月)
(静岡県・長野県・兵庫県・神奈川県より参加)
- ・ 秋季スポーツ少年団大会 (11月)
- ・ 犬山クラブ招待ジュニア大会 (11月)
(立山町・長野県より参加)
- ・ 会長杯中学生の部 (1, 2月)

(遠征)

- ・ 雷鳥カップ〔小学生〕(8月立山)
- ・ 全国少年少女草サッカー〔小学生〕(8月清水)
- ・ 清水FC杯〔中学生〕(8月清水)
- ・ エスパルスカップ〔中学生〕(12月清水)

本年度は50周年記念事業として24時間マラソンサッカーを犬山東部中学校をお借りして行いました。小学生から中学生、ガールズ、一般、シニア(パパさん)と約900名が参加しました。



■ 『役員名簿』

協会役員		少年部役員	
会 長	寺澤 良平	部 長	岡田 和明
理事長	寺澤 正久	副部長	秋吉 兼文
副理事長	横井 且英 山田 秀雄	副部長(兼事務局長)	市川 豊
庶務・会計	横井 且英	総務委員長	馬場 英幸
理 事	市川 豊 伊藤 昌弘 横井 尚幸 野川 昌宏	総務副委員長	斉木 修 松田 聡 近藤 龍也
監 査	河村 和紀 伊尾木美樹	競技委員長	山田 秀雄
審判部長	山田 秀雄	競技副委員長	福井 健人 森藤 剛正
審判副部長	伊藤 昌弘	技術・指導委員長	松浦 幹宏
運営委員長	野川 昌宏	(副)	小倉 武司
運営副委員長	横井 尚幸	(〃)	宮地 成幸
		体育協会理事	市川 豊

犬山柔道会

柔道の歴史と基本原理

嘉納治五郎師範が創始した講道館柔道は、179流もの柔術流派がある中で、投技を中心に稽古を行っていた起倒流と、抑込技・関節技・当身技を中心に稽古を行っていた天神真楊流の2流をもとに集大成されたものであり、従来の「形」を中心にした稽古の方法から発展させて、乱取りを中心にした稽古の方法を採用し大きな成果を上げることとなった。講道館柔道は、明治15年5月東京下谷の北稲荷町の永昌寺においてそのうぶ声をあげた。

また、嘉納師範は「柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。その修行は攻撃防御の練習によって身体精神を鍛錬修養し、斯道の神髓を体得することである。そうしてこれによって己を完成し、世を補益することが究極の目的である。」と柔道の基本原理を説かれた。これを要約して精力善用・自他共栄という。



犬山柔道会の活動内容と方針

犬山柔道会では月曜日と金曜日の週2回午後7時から午後8時30分（少年部）、午後7時から午後9時（一般）まで稽古している。

稽古内容は補強練習、打込、投込、寝技乱取、立技乱取を主に行い、小学生、中学生、高校、一般が、限られた時間の稽古のなかで、「精力善用」「自他共栄」の道を学び、内に礼の精神を深め、外に礼法を正しく守ることの精神を持ち稽古に励んでいる。

犬山柔道会の稽古に参加しているものの多くは、中学や高校、一般の選手として活躍している。また、少年部から続けてきて指導者として活躍している者もいる。

このように大勢の方が稽古に参加しているので、小学生や中学生などへの指導も行き届いている。

今後も、柔道の普及・発展のためにも、各大会での優勝を目標とし、指導者の育成にも力を入れていきたい。

年間行事

春季市民柔道大会（4月）
四市交歓体育大会柔道競技（5月）
尾西尾北地区少年柔道大会（5月）
名古屋地区少年柔道大会（5月）
尾西尾北地区段別柔道選手権大会（6月）
高山・犬山柔道会親睦柔道大会（7月）
愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル（9月）
秋季市民柔道大会（10月）
鏡開式（1月）



役員

犬山柔道会役員

会長	小川 薫
副会長	小川 雅弘
事務局長	小川さとみ
事務局次長	澤田 和宏
会計	柴山 基臣

少年部保護者会役員

会長	浅井 純子
副会長	中村 恵子
会計	堀田 悦子

犬山弓道協会

あゆみ

慶応3年の旧犬山城郭之図（犬山市史）において当時の敬道館の裏手（現在の丸の内）と土族屋敷及組長屋（現在の名栗町）あたりに矢場の文字が見える。明治になり旧犬山藩士を中心に弓術の心得などを紹介した資料が残されている。戦後名古屋から富岡に住まいを移された田中茂氏により武徳会の弓道を普及され多くの弟子が教わったと聞く。城下町では坪内富永氏の個人道場や、各町内に多数の個人道場があり後に「犬山大弓会」が発足する。当時弓道が格式高い社交の場として位置づけられていたもようである。



昭和29年市制施行に伴って設立された犬山市体育協会に「弓道部」として加盟、同年11月初めて市民弓道大会を開催。昭和33年県立犬山高校弓道部設立、犬山大弓会より講師を派遣。初めて青少年に弓道部が紹介された翌年針綱神社内にあった道場を犬山高校に移築寄贈された。この道場は昭和61年に新築されるまで、犬山高校弓道部他多くの行事開催など市の弓道普及発展の拠点として活用された。が各種行事を開催するにも市民弓道場がなく支障をきたしていたため昭和55年より弓道、剣道、柔道の三武道団体で武道館及び弓道場建設運動を展開、昭和57年12月市営弓道場竣工の運びとなった。

昭和58年1月新年射会、同年4月道場開きを兼ね春季市民弓道大会開催、5月第1回弓道教室開催、翌年その受講生で犬山桜弓会を組織。昭和49年犬山高校弓道部OBが弓友会を設立、昭和60年犬山南高校弓道部OBが紀昌会を設立。

活動の内容

現在の犬山弓道協会の活動は、下部組織に「桜弓会」「かすみ倶楽部」「名経弓道部」近隣の高校生弓道部があり、一般会員64名、学生準会員21名、高校生118名で構成されております。それぞれに月例射会と言って毎月射会が開かれ、競技力、技術力向上を図っています。が立場に寄り練習日、時間が異なりますので年に四回は全協会員が参加する、春と秋の市民射会、会長杯、新年射会にて会員相互のコミュニケーションをとっています。また県大会、県下西部地区大会、エリア大会等に選手を派遣し、最近は良い成績を収めるようになり、昇段審査にて高段者も増えつつあります。

また新入会員の募集には年二回初心者弓道教室を開き春の土曜日夜と、秋の火曜日午前中各12回程度行なわれており会員は増加しつつありますが、全国的な傾向で女性の進出が著しく、犬山でも女性会員が男性より多くなっています。学生時代弓道を経験した人、生涯教育として余暇のある男性の参加を待ち望んでいる今日この頃です。

主な年間行事

春季市民弓道大会（一般・学生）4月
 初心者弓道教室（一般のみ）5月～7月
 会長杯（一般）5月
 白帝杯（近隣5校高校生）8月
 女性初心者弓道教室（女性）9月～11月
 秋季市民弓道大会（一般・学生）9月
 納射会（12月）
 新年射会（一般）1月
 毎月第三土曜日夜に、月例射会を行う。



主な関連大会行事

全日本弓道大会（京都）5月
 県下弓道選手権大会兼全日本弓道選手権大会予選（県武）5月
 ねんりん弓道大会 5月
 県下西部地区西尾張エリア弓道大会 5月
 県下西部地区大会兼国体予選 7月
 県下弓道遠的選手権大会兼全日本遠的選手権大会予選 7月
 中日本弓道近的選手権大会 9月
 スポレク西尾張地区大会 9月
 東海三県弓道大会 9月
 中日本弓道遠的選手権大会 9月
 スポレク県大会 10月
 全日本弓道選手権大会（東京）9月
 県下西部地区西尾張エリア弓道大会 11月
 県下西部地区新年射会 1月
 県下西部地区弓道大会 2月



役員名簿

相談役	高木 光重	
顧問	清水 直	
会長	倉知 正人	
副会長	兼松 康江	安田 秀樹
会計	佐藤 尚美	
理事長	河田 計司	
理事	小山 富生	岡崎日出季
	福田 俊弘	川添 隆裕
監査	山本 聖留	

犬山射撃協会（クレー射撃）

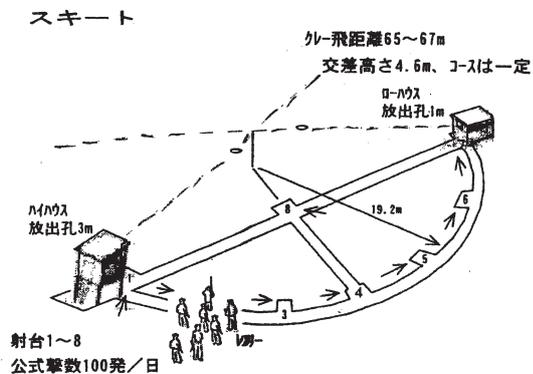
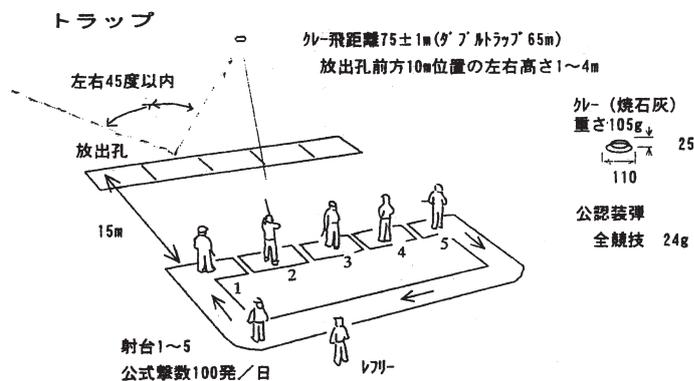
昭和45年に射撃クラブとして犬山市体育協会に入会し、昭和52年4月犬山射撃協会として発展してきた。

クレー射撃に於ける国際ルール（International Sports Shooting Federation以下ISSF）では、トラップ競技、スキート競技及びダブルトラップ競技の3種目がある。日本クレー射撃協会等が開催する公式大会は3種目とも行われていますが、国民体育大会においては、現在トラップ競技とスキート競技の2種目のみです。

ISSFのルールとは別に国内にジャパンルールやフィールドルールがあります。このルールは特にクレーの飛距離や速度を下げるなどのセットにして、クレーをねらう時間に余裕をもって射撃が出来ることが特徴です。銃砲メーカー主催の大会や猟友会などで主催する大会でよく採用されています。

クレー射撃の特徴として、ダイナミック（音、反動の体感）、緊張感、集中力、爽快感、老若男女と幅広く楽しめるスポーツです。

大会として、オリンピック、ワールドカップ、世界選手権、アジア大陸選手権、全日本選手権、国民体育大会、ミニ国体（ブロック大会）、日本クレー射撃協会主催の本部公式大会及び、各県クレー射撃協会主催の公式大会、各市クレー射撃協会主催の市民大会、その他クラブ大会（インフォーマルグループ）、猟友会等



■ 主な年間行事

春季市民大会（トラップ競技・スキート競技）
四市交歓クレー射撃大会（トラップ競技・スキート競技）
尾張地区射撃協会連合会射撃大会（トラップ競技・スキート競技）
秋季市民大会（トラップ競技・スキート競技）
愛知県民クレー射撃大会（トラップ競技・スキート競技）

■ 役員名簿 平成16年度

顧問	高田 章						
会長	久郷 大完						
副会長	大竹 清	宇都 正亜					
理事・会計	小川 博己						
理事	石田 利治	河尻 満男	宇都 洋	千田 健治	古田 豊		
	丸山 裕泰	佐藤 安一					
監事	小川加津美						
監事	板津 裕蔵						

愛知県公安委員会指定

クレー射撃指導員

大竹 清 石田 利治 小川 博己



犬山スキー連盟

■ あゆみ

スキー連盟の歴史は古く、昭和24年に現仙田スポーツ店が同好会員を募ってスキーツアーが行われたのが始まりとなりました。

本連盟は、昭和29年の体育協会設立と同時にスキー協会として発足し、昭和51年には犬山市体育協会の組織改編によりスキー部から犬山スキー連盟となり、規約も新たに現在に至っています。



■ 活動内容

本連盟は、前身であるスキー協会、体育協会スキー部の時代から奥村久男前会長をはじめ諸先輩方の情熱と努力により、当時ではあまり普及していなかったスキーというスポーツが市民に根をおろしてきました。その後、国民的ブームとなった時代もありましたが、現在ではスノーボードを始め様々なウィンタースポーツの普及もあり、スキー愛好者も減少傾向で推移しています。

現在、本連盟では毎年12月の「市民スキーツアー・スキー教室」に始まり、2月の「四市交歓スキー競技大会」まで冬季の短い期間に積極的な活動を行っています。

昭和30年に第1回の大会が開かれて以来毎年開催されてきた「市民スキー大会」は、主管事業として50年に近い歴史を誇っています。しかし、近年のスキー人口の減少傾向とともに大会参加者が固定化した人数少なくなってきており、誰もが楽しみながら大会への参加意欲がでるような運営や開催方法の見直しが必要となっています。

連盟発足の翌年から主催事業として盛況を続けてきた「ジュニアスキー教室」も参加者が減り続け、子供だけを対象とした教室は開催できなくなりました。今後はスキー教室のあり方を模索しながら何とか復活できるように努力していきたいと思っています。

このほか、連盟独自の活動として、毎年スキー大会の直前に希望者を募って「ポール・レッスン」を開催しており競技スキーの普及と技術の習得、向上に努めています。

毎年2月の第3日曜日に開催されています「四市交歓スキー競技大会」は、昭和63年に各市のスキー競技団体が共催して大会を開催して来ましたが、平成5年からは四市交歓体育大会冬季競技として開催されるようになり、四市の親善とアマチュアスポーツの普及を目的として、盛大に開催されるようになりました。

以上、先ほども述べましたように、本連盟では短い冬の間ではありますが役員一同精一杯の努力をしながら活動を続けています。今後は、スキーは安全で楽しい生涯スポーツとして理解され一人でも多くの市民の方に本連盟事業に参加していただき、スキー技術の向上に役立てていただくとともに、スキー指導者の育成に努めたいと思っています。

■ 主な年間行事

- ・ 市民スキーツアー・スキー教室（12月）
- ・ ポール・レッスン（1月第2日曜日）
- ・ 市民スキー大会（1月第3日曜日）
- ・ 四市交歓スキー競技大会（2月第3日曜日）

■ 役員名簿

会 長	井戸 正俊	
副会長	高木 金彦	
理事長	神谷 誠	
副理事長	伊藤 博光	中村 浩三
体協理事	青木 隆則	
会 計	宮島 照美	
監 事	北沢 和美	



犬山バドミントン協会

協会の沿革

昭和48年2月：市においてバドミントン教室が開催され、そのうち約50人の家庭婦人がクラブを結成

昭和50年4月：市民大会等の開催とともに男子の参加が増加

昭和51年10月：市体協の規約改正に伴い「犬山バドミントン同好会」から「犬山バドミントン協会」を設立

昭和53年4月：市体協へ加盟 会長／石田春雄 理事長／倉田好夫

昭和53年6月：役員改選 会長／石田春雄 理事長／倉田好夫

昭和63年6月：役員改選 会長／石田春雄 理事長／吉村昌弘 体協評議員／吉村昌弘

平成2年6月：役員改選 会長／宮島浩二 理事長／吉村昌弘 体協評議員／吉村昌弘

平成4年6月：役員改選 会長／宮島浩二 理事長／吉村昌弘 体協評議員／溝口美智子

平成6年6月：役員改選 会長／宮島浩二 理事長／納堂基宏 体協理事／溝口美智子

平成16年6月：役員改選 会長／宮島浩二 理事長／納堂基宏 体協理事／溝口美智子

活動内容

犬山バドミントン協会は、発足して30年になりますが、人数の比較的少ない団体であり、現在は約80人位です。会員は市内それぞれの地区で活動していますが、その中心になっているのは犬山市体育館で活動している家庭婦人クラブです。その他羽黒クラブ、羽黒サンデークラブなどがいろいろな施設で活動しています。平成11年初初心者講習会、平成12年バドミントン教室を開催、現在協会の中心層として協会主催行事にも積極的に参加。また近年は、国際色豊かになり、インドネシア、中国、ブラジルの選手も参加、小中学生大会に出場の選手たちもレベルが年々高くなり、東海大会、全国大会へと羽ばたく日も近いと確信し、協会全体で応援しています。



主な年間行事

・協会主催の大会

混合ダブルス、家族、ミックスチーム、小中学生、新人戦、IBA杯争奪戦（シングル・ダブルスの部）

・市主催の大会

春・秋市民バドミントン大会 四市交歓体育大会

・主な他の大会

北尾張連合協会バドミントン大会（7月・3月）

西尾張地区レディース大会（春・秋）

愛知県レディース大会（10月）



犬山家庭婦人バドミントンクラブ 30周年記念 H.16.3.23

IBA杯争奪バドミントン大会優勝者（ダブルスの部）

第1回	昭和52年2月	男子	倉田・塚本組	女子	宮川・山本組
第2回	昭和52年11月	男子	倉田・塚本組	女子	村田・増田組
第3回	昭和53年11月	男子	倉田・塚本組	女子	宮川・山本組
第6回	昭和56年11月	男子	林・吉村組	女子	佐藤・有田組
第8回	昭和58年11月	男子	江口・林組	女子	溝口・小川組
第10回	昭和60年11月	男子	納堂・林組	女子	渡辺・大池組
第13回	昭和63年11月	男子	納堂・小崎組	女子1部	渡辺・宮島組
				2部	中村・増田組
第18回	平成5年11月	男子	西出・藤澤組	女子1部	藤澤・熊井組
				2部	内藤・溝口組
第22回	平成9年11月	男子	納堂・藤澤組	女子1部	藤澤・大藪組
				2部	今仁・宇田川組
第25回	平成12年11月	男子1部	西出・森組	女子1部	藤澤・大藪組
		2部	西川・小山組	2部	稻越・丸山組
第27回	平成14年11月	男子	納堂・小山組	女子1部	矢木野・片岡組
				2部	加藤・川西組
第28回	平成15年11月	男子	矢木野・大澤組	女子1部	渡辺・今仁組
				2部	内藤・溝口組
第29回	平成16年11月	男子1部	林・新海組	女子1部	藤澤・大藪組
		2部	納堂・リザルディ	2部	加藤・梶田組

平成16年度役員

会 長	宮島 浩二	
理 事 長	納堂 基宏	
理 事	溝口美智子	藤澤真木夫
	内藤 和美	佐藤 晶子
	梶田 好子	
体協理事	溝口美智子	

犬山山岳会

あゆみ

昭和49年(1974)に「犬山にも山岳会を…」と準備
昭和50年(1975)4月に設立総会、活動開始
昭和52年、第1回市民登山「御岳」を実施
「市民体力づくり100歩こう会」など
平成16年、第28回市民登山「尾瀬」
春「湖東三山」、秋「釈迦ヶ岳」を企画
*1年を通じて、登山と下山後の温泉を楽しみに活動しています。
*愛知県山岳連盟に加盟、平成6年(1994)「わかしゃち国体」の運営に協力しました。



1977年5月・穂高春山合宿



2002年8月第26回「白山」市民登山
石川(白峰)～岐阜(平瀬)

活動内容

- 市民ハイキング・市民登山
1. 春、秋の日帰り市民登山・ハイキング
 2. 市民登山の実施
 3. それぞれの下見山行

例会山行

1. 月2回程度の例会山行
2. 訓練山行 雪上訓練、岩登り訓練
3. 教育 読図山行、気象など

個人山行

(会員の自主的な企画による山行)

1. 山スキー 御岳、白馬、妙高など残雪を求めて
2. 沢登り 鈴鹿、奥美濃などでシャワークライム
3. 縦走山行 北・中央・南アルプスなど長期の山行
4. 岩登り 御在所、城山、人工壁、各ツカゲ・デソ
5. 雪山 西穂高、八ヶ岳、南アルプス、上高地
6. スキー スキー教室、市民大会参加
7. 全国 北海道、東北、四国、九州の山々
8. その他 ヌーフェイス、ヨーロッパアルプス、カナダなど



1995年2月・西穂独標

平成 16 年度年間行事

4月 西台山・妙高、火打山スキー、市民ハイキング
5月 尾瀬山スキー、猿ヶ馬場山、十二ヶ山、見量山
6月 人形山、定光寺岩登り、利尻・礼文、鉢伏山
7月 尾瀬下見、黒姫・斑尾山、鳥海山、鈴鹿沢登り
8月 尾瀬市民登山、摺古木山、白根三山
9月 五竜下見、西穂高、

10月 市民登山下見、徳本峠、七面山、大杉谷
11月 大峰山系、日帰り市民登山、西台山、読図山行
12月 御岳雪上訓練、忘年山行、西穂高、
1月 ご来光登山、谷汲山、スキー教室、ブンゲン
2月 六甲山、北八ヶ岳、東海自然歩道
3月 ロクロ天井山、市民ハイク下見、定時総会

平成 16 年度役員名簿

会 長	加藤 千統	
副会長	渡辺 茂	
副会長	磯山 登	
会 計	池田 成央	
庶 務	可児 芳民	田中 茂
広 報	岩佐 太一	日浦 若子
装 備	藤波まみ江	
体協担当	加藤 千統	
岳連担当	伊賀井 隆	
教 育	渡辺 茂	



ホームページの紹介

<http://www.inuyamasangakukai.com>

犬山山岳会のホームページ上で、山行計画、市民登山の案内、我々の山行記録などが見られます。是非ご覧の際には、ゲストブックへの書き込みもお願いいたします。

犬山ソフトボール協会

あゆみ

犬山市体育協会の創立50周年の平成16年は、ソフトボール界にとっても大きなイベントの年でもありました。

まず8月、木曽川緑地多目的グラウンドにおいて第59回国民体育大会ソフトボール競技の東海ブロック予選大会が開催されました。

この大会で、愛知県は成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の4種目全てに優勝し、東海ブロック代表となりました。

大会に当たっては、犬山市体育協会を主体とした実行委員会、ソフトボール協会加盟チームの皆さんが一丸となって運営に当り、市民の皆さんのあたたかい応援もあって、大きな成功を収めることができました。

続いて9月には、皆さんの記憶にも新しいアテネオリンピックでの日本女子チームの大活躍がありました。ソフトボールに詳しくない方も、日本チームに金メダルの期待をかけ、テレビの前で鮮やかな黄色のボールの行方に一喜一憂したことと思います。

振り返りますと、丁度10年前の平成6年11月、愛知県で開催されました「わかしゃち国体」では、犬山市が成年男子1部のソフトボール競技会場となり、大会関係者始め市民の皆さん挙げての多大なる協力と盛り上がりによって、このビックイベントは大成功を収めました。

現在、木曽川緑地多目的グラウンドに記念のレプリカが建ち、当時を思い出すことができます。

また、当時開会式で風船マスコットを演じた幼児たちは、いまでは高校生になり、パレードを盛り上げたマーチングバンドの生徒は、社会人になっています。

このように、ソフトボールと犬山とは大変関わりの深いスポーツであり、犬山ソフトボール協会も、輝かしいスポーツ史の節目に立会い、その責務を果たすことによって育ってきました。

犬山ソフトボール協会は、昭和52年、故本多逸郎氏の発案により設立準備会を立ち上げ、準備会メンバーの熱意が地域団体を動かし、「健全な精神は健全な肉体から」を合言葉に昭和53年7月、会員800名をもって発足しました。

以来、犬山ソフトボール協会加盟チームによるリーグ戦を主体として、各種大会の開催・主管を行い今日に至っています。

最盛期には加盟チーム数も100余を数えていましたが、高齢化と若年世代の減少に伴って競技人口も減少し、チームの統合・再編などもあって、現在では35チームとなっています。

しかしながら、70歳代から10代まで現役プレイヤーの巾は広く、明るく・元気に体力と技術力に応じて試合を楽しみながら、真剣にプレーを行っています。

平成18年度には、犬山ソフトボール協会創立30周年を迎えますが、これを新たな契機として、「年齢にかかわらず楽しめるスポーツ」「心のふれあうスポーツ」「感謝の心を育てるスポーツ」としてのソフトボールの普及・発展を期しているところであります。



■ 活動内容

「あゆみ」の中でも触れましたように、ソフトボールは年齢・体力・技術に応じてそれぞれのレベルで楽しむことができるスポーツです。

このことから、年間を通じた「協会リーグ戦」は、チーム力に応じてA・B・Cの各リーグに分けて試合を行うとともに、春の市民大会では投手力に差が出ない「スローピッチ・ルール」による、誰でも参加できる試合を男女別に開催し、秋の市民大会では本格的な「オフィシャル・ルール」により、チームの力を競う大会としています。

また、次世代を担う選手の育成として、小学生を対象とした「少年少女ソフトボール大会」、「スポーツ少年団ソフトボール大会」を行っています。

このほか、全尾張選手権大会を始めとする各種対外試合に代表チームを派遣してレベルアップを図っております。

■ 主な年間行事

犬山市内大会	協会リーグ戦（3月～12月）	春季市民大会（4月）
	スポーツ少年団ソフトボール大会（6月）	秋季市民大会（10月）
	犬山警察管内防犯ソフトボール大会（9月）	少年少女ソフトボール大会（10月）
	犬山ハーフマラソン走路員等派遣（2月）	犬山シティマラソン走路員派遣（2月）
対外試合	四市交歓体育大会（5月）	全尾張選手権大会（6月）
	尾北三市二町親善大会（女子）（7月）	西尾張選手権大会（9月）
	尾北三市二町親善大会（男子）（11月）	その他各種大会に随時参加
小学生 対外試合	愛知県小学生ソフトボール大会（8月）始め年間6大会に出場	
審判部	高体連高校女子大会など各種大会に審判員を派遣	
会議関係	総会（3月）・理事会（毎月開催）・役員会（随時開催）・評議員会（随時開催）	

■ 審判部の活動

審判部は、日本ソフトボール協会の公認審判員で構成されています。

現在、1種から3種まで55名が登録され、協会リーグ戦を始めとする各種大会で審判を務めるとともに、上位級の資格獲得に向けて技能向上に努めています。

年間の審判従事数は、延600人です。

■ 平成16年度役員名簿

名誉会長	石田 芳弘	会計次長	笹倉 八郎	理事	河村 紀一
顧問	田中 志典	事務局長	柳見沢 正	理事	水田 豊
相談役	本多 逸郎	事務局次長	木下 秀男	理事	坂梨 昭二
参与	水野三美夫	事務局次長	保坂 毅	理事	伊藤 勝美
会長	本多 克郎	審判委員長	石田 徳一	理事	渡辺 侑子
副会長	橋本 辰彦	記録担当理事	稲田 詠二	理事	大沢美智代
理事長	長瀬 一男	理事	近藤 寛	理事	宮脇りえ子
副理事長	小川 浩史	理事	二見 廣二	監査	朝倉 淳夫
副理事長	仙石 金一	理事	大泉 勝	監査	松浦 功
会計	引地 清一	理事	松浦 清昭		29名

犬山卓球協会

沿革

- 昭和29年 市体育協会の発足と同時に、「犬山体育協会卓球部」としてスタート。
- 昭和55年 「犬山卓球協会」を設立。(会長：藤田正澄、理事長：小川勝広)
- 昭和56年 「犬山卓球協会婦人部」が発足、現在に至る。

活動

毎週火曜日と木曜日の午後7時から9時まで、犬山市体育館で大勢の会員が集まって練習をしている。婦人部の活動は毎週金曜日の午前10時から12時である。平成15年度の会員は118名(うち婦人部42名、中学生38名)であった。

練習は自由練習が中心であるが、中学生には専任コーチがついて指導している。いつも、楽しく練習する中で技術の向上と親睦を図っている。

会員の中には、各地の大会で優れた成績を残す選手も出ており、中学生選手のよい目標となっている。

会員の主な成績(平成15・16年度)

- ・平成15年度西尾張卓球大会女子の部優勝(3年連続) 松田 恵
- ・平成16年度四市交歓卓球大会団体戦女子の部優勝 犬山市チーム
- ・平成16年度東海卓球選手権大会30歳以上の部優勝 中村夕佳
- ・第7回Nittaku杯ミックスダブルス優勝 小川利江・入尾範之
- ・第17回中日旗・TSP楯争奪卓球大会女子団体優勝 犬山市立東部中学校



平成16年度東海卓球選手権大会女子
30歳以上の部優勝の中村夕佳選手(右)
西尾張卓球大会女子
3年連続優勝の松田恵選手(左)



第7回Nittaku杯ミックス
ダブルス優勝の小川利江・入尾範之組

平成16年度役員

理事長 入尾 範之
常任理事 浅野 政春 松田 博 小川登志子 渡会由貴夫
理事 長尾 生野 南谷 知宏 岡本 えみ 水谷ひさ子 小川 利江 石黒 聖英
長谷川登志子 島田三重子
会計 林 一雄
監査 田中千代子

平成16年度の主な行事

平成16年 5月 2日(日)	春季市民卓球大会(犬山市体育館)
平成16年 5月 9日(日)	四市交歓卓球大会団体戦(小牧市大輪体育館)
平成16年 6月20日(日)	第2回藤田杯犬山オープン卓球大会 (犬山市体育館)
平成16年10月 3日(日)	秋季市民卓球大会(犬山市体育館)
平成16年10月17日(日)	四市交歓卓球大会個人戦(小牧市大輪体育館)
平成16年11月21日(日)	第7回N i t t a k u杯ミックスダブルス (犬山市体育館)
平成16年12月 5日(日)	第17回中日旗・T S P楯争奪卓球大会 (犬山市体育館)
平成17年 1月 9日(日) 10日(月)	第15回バタフライ・ダブルス・チームカップ 犬山大会(犬山市体育館)



第17回中日旗・T S P楯争奪卓球大会女子団体優勝の東部中学校チーム

犬山テニス協会

協会のおゆみ

犬山市内においてテニス（旧呼称は硬式庭球）の本格的な活動は非常に浅く、東洋紡等の企業内や、女性の同好会である犬山レディーステニスクラブ等々が個々に活動されていたが、一般的な同好会活動は、昭和52年6月14日、犬山市が楽田山ノ田公園内に全天候型テニスコート3面を新設したのに伴い、鵜飼茂夫氏（犬山市木津池の上）を中心とした人々の呼び掛けにより、テニス同好会100余人が参加し、この時設立された犬山グリーンテニスクラブが始まりだった。

その当時、尾張地区では、まだマイナーなスポーツではあったが、その当時のテニスブームの影響もあってか、犬山グリーンテニスクラブの会員数も年毎に増え続け、300人を超すほどとなり、このころから、犬山にもテニス協会を設立しようと言う声が高まり、昭和55年、犬山グリーンテニスクラブが中心となり、その当時個々に活動していた、東洋紡、村田機械、市邨学園、犬山レディース等10団体に協力を願って、ここに犬山テニス協会が設立された。

初代会長には、鵜飼茂夫さんが選任され、理事には小川宏嗣、清野晋八、鷺見宏治、平井至、山中正和、大沢昌樹、長谷川仁、小島美子、佐藤清文、安永利啓、三村洋介、浜田英明の皆さんを含む15名が選任された。

そして、昭和56年には、正式に犬山市体育協会加盟の競技団体として認められ、会員数も500人以上に増加した。

次いで、昭和57年には、初代会長鵜飼茂夫氏が勇退され、2代目会長に小川宏嗣氏（犬山市富士見町）が選任されて、現在に至っている。



昭和52年犬山グリーンテニス設立時



テニス教室風景

■ 主な行事や大会

犬山テニス協会の年間行事としては4月の春季市民大会、10月の秋季市民大会を主管し、5月の初心者テニス教室、協会杯テニス大会、9月の協会加盟団体戦、11月の会長杯ミックスダブルス大会、2月の中級者・初級者テニス教室を主催し、そして3月の江南市テニス連盟との定期戦、8月の岩倉市テニス協会との定期戦など外部団体との交流等々があります。

犬山テニス協会が主催しているテニス教室（初心者のためのテニス教室、中級者・初級者テニス教室）については、初回から好評で、毎年定員オーバーの状態が現在に至るまで続いているので当協会としても、指導者の育成及び指導法の学習には力を入れ、講習者の指導にあたっています。

■ テニス協会の役員

会 長	小川 宏嗣					
副会長	山中 正和					
理事長	鷺見 宏治					
理 事	杉江 正行	平井 至	大沢 昌樹	長谷川 仁	清野 晋八	荒木 俊定
	山下 敏弘	大久保真一	津志田清美	柴田 和子	佐藤佐代子	梨木 政行
監 事	浜田 英明					

犬山バレーボール協会

あゆみ

バレーボールは、市体協発足時からの種目ですが、昭和56年4月から現在の組織となり、池田信之会長のもと「継続とは力なり」を合言葉に会員一同力を合わせ、24年の月日を迎えました。

昭和59年には協会活動の活発化を図る為、県より派遣されたスポーツ主事の坪内利男さんの指導により、大会運営、講習会等も実を結びました。選抜チーム「シャトー」も結成され、県体西尾張大会、四市大会、県各種大会、尾張支部各種大会に参加し、地道な活動を続けております。



現在の登録チーム数は、男子7チーム73名・女子16チーム219名の合計23チーム292名です。

活動内容

◎競技委員会

各種大会を開催しております。

会長杯（男子・女子）も今年で24回目となりました。

エナジーサポート（株）さんのご協力によるエナジーサポート杯V・B大会（女子）は12回目を迎えました。

前期女子親睦大会では、近隣市町との親善の為、扶桑町・岩倉市・江南市のチームを招待し友好を深めております。

マドンナ杯女子は、永年バレーボールを続けているシニアの会員をつのり、60歳代の経験豊かなバレー愛好者も参加し、和気あいあい、楽しくプレーしています。又、一番のお姉様には、花束がプレゼントされます。

◎審判委員会

年2回の審判講習会を開催しております。

主審、副審、公式記録員点示係、ラインズマン、モデルチームにと、90名の会員が1日かけて真剣に勉強し、講習会も24年目となり着実に審判員が育っています。

県の審判講習会、尾張支部の講習会も勉強を続け、現在では県家庭婦人公認審判員4名、尾張支部家庭婦人公認審判員3名が育ち、県、尾張支部の各種大会で活動しています。当協会の講習会では7名が講師となり後進の指導にあたり、大会では審判員として活躍しています。

選抜チーム「シャトー」の練習日には、審判員の指導、育成の勉強会も兼ねて励んでおります。

主な年中行事

(一般)

- ・ 春季市民大会 (男子、女子1部 女子2部) (4月)
- ・ 前期審判講習会 (5月)
- ・ エナジーサポート杯 (5月)
- ・ 男子親睦大会 (6月)
- ・ 女子親睦大会 (6月)
- ・ 女子会長杯 (7月)
- ・ 後期審判講習会 (9～10月)
- ・ 秋季市民大会 (男子、女子1部 女子2部) (10月)
- ・ マドンナ杯 (11月)
- ・ 男子会長杯 (11月)
- ・ 女子親睦大会 (11月)

(中学生)

- ・ 春季市民中学生大会 (男子・女子) (5月)
- ・ 秋季市民中学生大会 (男子・女子) (11月)

(その他一般) (県大会遠征)

- ・ 家婦連春季大会 (4月)
- ・ 四市大会 (5月)
- ・ 東海ことぶき大会 (8月)
- ・ 青年体育大会 (8月)
- ・ 家婦連秋季大会 (10月)
- ・ 弥生大会 (3月)
- ・ 青年クラブカップ大会

(その他 一般尾張支部)

- ・ 全国ママさんバレーボール大会 (5月)
- ・ ステップ大会 (6～7月)
- ・ 西尾張地区大会 (8月)
- ・ シニア大会 (3月と8月)
- ・ 東海大会支部予選会 (9月)
- ・ 中京コカコーラカップ支部予選会 (9月)
- ・ 中央大会 (11月)



役員名簿

会 長	池田 信之
副会長・女子理事長	水野 伸子
男子理事長	田中 豊明
副理事長	金成 敏弘
会 計	森川 幸子
書 記	熊澤かよ子
〃	阪口美保子
審判委員長	岡山 正子
競技委員長	日比野真代
常任理事	松山 清子
常任理事	川合 雪恵
常任理事	丹羽久美子
常任理事	江口みさ子
常任理事	伊藤ゆき子
体協理事	水野 伸子
尾張理事(会計)	岡山 正子

友好 親善

毎年、岩倉市(2月)扶桑町(3月)江南市(11月)の各バレーボール協会より、近隣市町親善大会の招待があり、希望チームが2チームずつ参加しています。更に16年度から、名古屋経済大学同窓会会長杯VB大会にも招待され、役員、シャトーのメンバーが友好を深めて参りました。

子供達がバレーボールを生涯スポーツとして愛好してくれるようお願い、会員の多数がスポーツ少年団(バレーボール)の指導、育成に励んでおります。



感謝と和の心

- 平成13年 柳本監督とオーキス(バレーボール教室)
- 平成15年 柳本監督と全日本女子(バレーボール教室と紅白戦)
- 平成16年 柳本監督(バレーボール教室と講演)

縁あって犬山に3度も来ていただいた柳本監督。それを実現して下さった体育協会に感謝し、今後共、会員一同和の心でバレーボールの普及発展に努めて参ります。

犬山バウンドテニス協会

バウンドテニスとは

「バウンドテニス」はひと言でいうならば、テニスと卓球の競技が合成されたスポーツです。ラケットボールを原型に、テニスと同様のルールで、狭い場所でも手軽にでき、しかも運動量も十分あるスポーツとして、メルボルンオリンピックで活躍した、レスリングのゴールドメダリスト、笹原 正三氏が昭和55年に考案、開発したスポーツです。

コートのはさは3m×10m、ネットの高さが50cm、ラケットの長さが50cmと定められ、テニスコートの6分の1の面積でプレイができ、場所を選ばないのが何よりも大きな特色となっています。小学生から高齢者までだれでも気軽にプレーでき、個人の体力、年齢に応じた運動量を得ることができます。



協会設立20周年記念大会の様子

あゆみ

昭和58年、犬山市が愛知県のトップを切って導入を図り、バウンドテニス教室が開催されました。そして、この教室修了者などを結集して昭和59年4月「犬山バウンドテニス協会」が発足しました。

以降、先駆者ということから各地に指導に出掛けたり又、クラブの練習日に各地から体験者が訪れ、普及に活躍しました。犬山から火がついたバウンドテニスが、今では愛知県下で900名ほど(協会加盟人員)となっています。

当初、本会はスポーツ団体のどこにも所属せず、単独の組織でしたが、県大会などでの活躍が認められて、平成3年5月、犬山市体育協会へ加盟しました。レクリエーションスポーツ部門での最初の加盟でした。競技スポーツ一辺倒から生涯スポーツとしてのレク・スポの重要性が認識されてきたためです。



活動内容

平成16年4月1日現在の会員数は、9クラブ・87名であり、武道館を主な練習場として活動しています。クラブによって会員は4名から16名とバラツキがありますが、曜日・午前・午後・夜とそれぞれの都合に合わせて楽しんでいます。クラブ間交流も積極的に勤め、市内はもちろん市外からも多数来犬して、技術の向上と親睦に貢献しております。

競技スポーツと生涯スポーツの二面性を重視し、行事の内容にもその事を配慮した企画をしています。誕生してまだ20数年の種目だけに、まだまだ知名度が薄く、一般市民に馴染みのないことが課題。バウンドテニス教室やフェスティバル、口コミを通じて更に仲間を増やしていきたいものです。

上部団体は日本バウンドテニス協会で、47都道府県に協会があり、日本体育協会に加盟しています。毎年7月に東京体育館で全国バウンドテニス選手権大会が開催され、当協会からも毎回出場しています。テニスや卓球経験者は非常に上達が早く、始めて1～2年で全国大会優勝という実績もあります。

主な年間行事

〈主催・主管〉

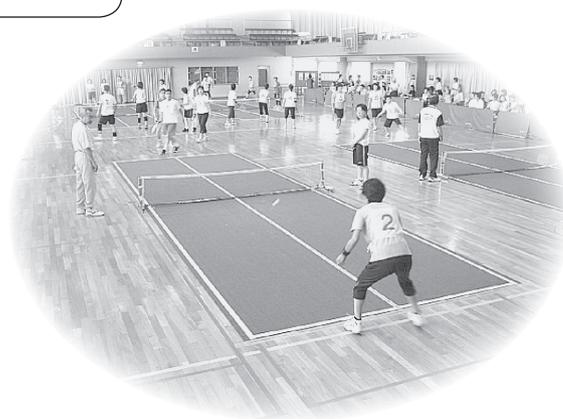
- | | | |
|----|----------------|--------|
| 1 | 第21回協会杯シングルス大会 | 4月18日 |
| 2 | バウンドテニス教室(1) | 5月31日 |
| 3 | 春季市民大会 | 6月6日 |
| 4 | 合同練習会(1) | 6月13日 |
| 5 | 審判講習会 | 7月18日 |
| 6 | 合同練習会(2) | 8月8日 |
| 7 | 協会設立20周年記念大会 | 8月29日 |
| 8 | バウンドテニス教室(2) | 10月15日 |
| 9 | 秋季市民大会 | 11月7日 |
| 10 | 合同練習会(3) | 1月23日 |
| 11 | 協会杯ダブルス大会 | 2月20日 |

〈参加〉

- | | | |
|----|------------------------|----------|
| 1 | 全国大会愛知県地区大会 | 5月中村 s/c |
| 2 | 指導者研修会 | 5月犬山 |
| 3 | 理事長杯ダブルス大会 | 6月北 s/c |
| 4 | 全日本出場者審判講習会 | 6月犬山 |
| 5 | 第22回全日本選手権大会 | 7月東京 |
| 6 | ニュースポフェス2005in あいちプレ大会 | 9月大府 |
| 7 | 公認審判員研修会 | 9月豊山 |
| 8 | 公認指導員・審判員認定試験 | (未定) |
| 9 | 第17回全国スポレク祭 | 10月福井 |
| 10 | スポーツ会館杯 | 10月県スポ |
| 11 | 第13回東海ブロック親善交流大会 | 10月三重 |
| 12 | 愛知スポレクフェスティバル2004 | 10月大治 |
| 13 | 第9回愛知県選手権大会 | 11月緑 s/c |
| 14 | 第13回テレビ愛知杯 | 2月中村 s/c |
| 15 | 会長杯ミックスダブルス大会 | 3月中村 s/c |
| 16 | 日本BTゴールド静岡大会 | 3月静岡 |
| 17 | 教室担当者研修会 | 3月豊山 |

役員名簿

会 長	上垣外勝安						
副会長	宮島 啓六						
理事長	倉田 勝子						
副理事長	鈴木 愛子						
会 計	水口 幸子						
理 事	鈴木 正	伊藤カオル	田中 雅子				
代表者	中山 一造	安松長寿郎	加藤 恵子	後藤 由子	坂崎 汎子		



犬山水泳協会

あゆみ

平成5年に犬山体協と市体育指導員の一行が友好都市の立山市との交流会に参加した席上で体協役員から「水泳協会を立ち上げてほしい」との要望が出されたのが出発点です。

数人で準備会を作り五郎丸にあった「中央プラザスイミングスクール」の会員、大口町の温水プールで講習会を開いている「犬山マーガレットスイミングスクール」のクラブ員

、そして市内のトライアスロン愛好者の集まりである「犬山トライアスロンクラブ」が中心となって体制ができ、平成6年に松山市長を招いて設立総会を開催し、その年に第1回のスイミングフェスティバルを開催しました。体協に加盟を認められたのが平成7年で、それから10年、夏の犬山市民水泳大会や、各種の練習会、研修会、講習会等を行い積極的な活動を展開しております。

主な年間行事

- ・年度会員総会（4月）
- ・ちびっこ水泳教室（7月）
- ・競技練習会
- ・夏季市民水泳大会（8月）
- ・ジャパンマスタース水泳大会（8月）
- ・研修会（10月）
- ・冬季市民水泳大会兼スイミングフェスティバル（1月）
- ・指導者講習会
- ・救急救命講習会
- ・合同練習会

活動内容

・ちびっこ水泳教室

市民体育課の行事を引き継いで小学生児童を対象に100名前後参加の短期教室で、全く泳げない初心者から各種泳法をマスターした上級者までに協会のカリキュラムによりクラス分けして質の高い指導を行っています。協会の指導員と共に国体級の選手の支援を受け楽しく、早く上達することを目標にしています。

・夏季市民水泳大会

小学生から高齢者までの市民を対象にした競技大会で毎年8月の最終日曜日に開催しておりましたが、昨年からは市民プールの使用期間が短くなったため第3日曜日になりました。競技種目は50m、100mの自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライと200m個人メドレー、そして200mのメドレーリレー、フリーリレーです。区分は小学生、中学生、高校生と一般は10歳刻みの年齢別競技となっております。毎年多くの大会記録が塗り替えられるほどレベルも高く、各種の大会で入賞する選手も輩出しております。大会の悩みは真夏の屋外プールのため、中高年の女性の参加者が少ないことで、早く室内競技プールの建設が待たれます。

・スイミングフェスティバル

毎年冬季の市民水泳大会としてフィットネス「フロイデ」の温水プールで開催しております。「フロイデ」の運営上、協会が使用できる日はプールが休みとなる月曜日に限定されるため1月の成人の日（1月の第2月曜日）に開催が決まっております。

「フロイデ」の温水プールは25mの短水路でコース数も少なく、水深が浅いため公式の競技ができず、記録会として開催し、より多くの市民に楽しんでもらうため水中ゲーム（ボール投げ、4分間リレー、宝探し、水中綱引き等）も取り入れて幼児から高齢者まで楽しめるフェスティバルとしております。

課題

- ・水泳はきちんとした指導者と温水プールがあれば0歳児から高齢者までいつでも行える唯一の健康的なスポーツです。しかし当犬山市の場合、その施設は近隣市町に比べて大きく立ち遅れています。選手の育成、指導はもとより高齢化社会における健康志向の水泳愛好者に応えることができません。総合体育館とともにぜひ温水プールを早期に建設し、犬山市のスポーツ振興に寄与していくことが重要です。
- ・長い歴史を数える四市交歓体育大会ですが、例年5月の日曜日に開催されています。しかし各市もプール事情に夫々の制約があり、特に当市では施設に問題があって積極的に開催を推進できない状態です。四市の水泳協会とも連携して、早い時期に水泳競技も四市交歓体育大会として開催できるよう努力していく計画です。

役員名簿

顧問	荻田 誠一				
相談役	久保田カヨ子				
会長	伊藤 敏彦				
副会長	宮地 瑛子				
理事長	森 幹雄				
副理事長	横田 幸男				
会計	平山 敦子				
監事	渡辺 康成	伯耆 睦男			
体協理事	亀井 健二				
理事（SC代表）	足立美津子	亀井 健二	竹島 正美	林 桂子	
理事（個人会員代表）	岡本 晴美				
理事（組織担当）	奥村まゆみ				
理事（中学生担当）	鍵野 英夫				
理事（競技大会担当）	日下部和朗				
理事（広報担当）	竹本 均				



■ グラウンド・ゴルフの紹介

グラウンド・ゴルフは、ゴルフをアレンジしたスポーツとして昭和57年に鳥取県泊村が文部省の生涯スポーツ推進事業の一環として、開発研究に取り組み誕生したものです。いつでも、だれでも、どこでものスローガンの下に、広く全国に普及し、子供から高齢者まで幅広く愛され、現在では約100万人の愛好者に親しまれています。専用のクラブ、ボール、ホールポスト、スタートマットを使用して、ゴルフのようにボールをクラブで打ち、ホールポストにホールインするまでの打数を競います

■ グラウンド・ゴルフ協会のあゆみ

- 1983 (昭和58) 日本グラウンド・ゴルフ協会設立
- 1988 (昭和63) 愛知県グラウンド・ゴルフ協会発足
- 1994 (平成6) 犬山グラウンド・ゴルフ協会創立 (会員167人)
- 1997 (平成9) 犬山市体育協会に加盟承認
- 2004 (平成16) 犬山グラウンド・ゴルフ協会創立10周年記念大会・式典
・記念誌発刊 (会員491人)



年間事業

市関係行事

春季会長杯大会（4月～5月） 犬山緑地
 春季市民大会（5月） 犬山緑地
 スポレク予選会（7月） 犬山緑地
 秋季会長杯大会（9月） 犬山緑地
 秋季市民大会（11月） 犬山緑地
 会員親睦大会（3月） 栗栖園地

県関係行事

県会長杯大会（5月）
 県理事長杯大会（11月）
 スポレク祭（9月・11月）
 東海四県大会（5月）

全国大会

全国交歓大会
 全国スポレク祭
 全国健康福祉祭（ねんりんピック）



役員（平成16年現在）

本部役員

・会長 紀藤 公二
 ・副会長 松浦 一郎
 ・理事長 岡田 俊三
 ・副理事長 中村 幸夫
 ・会計 小泉 町子
 ・理事 古川 和子 三輪 征子
 ・監事 日比 勇治 岩田 春男
 ・顧問 仙田 逸二 宮島 完

クラブ役員

NO	クラブ名	人数	正理事	副理事	代議員
1	キャッスル	42	今井 伸枝	江口 福子	野村 義隆
2	しろひがし	50	大神 九州男	内田 栄一	渡辺 達也
3	日の出	27	岩田 春男	松下 草男	押野 勝子
4	橋爪中	31	宮田 勇三	日比 勇治	大川 一幸
5	新 聖	26	和泉 好雄	青木 勉	遠藤 初美
6	城 南	34	庄司 旬	織田 順光	一色 四郎
7	婦人会	37	宮田 幸	古川 和子	玉野 広子
8	前 原	31	小川 義一	鈴木 滋	林 弘子
10	体育指導員	2			
11	善師野	19	日比野 恵二	吉田 勇次	前田 均
12	スピリット	24	辻井 豊治	富塚 貢	高橋 明
13	橋爪上	29	遠藤 釵雄	河合 芳夫	吉川 恵三
14	時迫間	34	渡辺 勇二	田村 吉弘	大池 啓夫
15	樂田クラブ	28	伊藤 康正	服部 邦生	桜井 邦昭
16	ピーチーズ	18	水野 幸雄		牛田 秀男
17	栗 栖	18	川治 立身	長瀬 哲夫	
18	羽黒遊々会	41	奥田 清二	古野 弘之	後藤 鉦治

犬山空手道会

あゆみ

健全なスポーツ空手を目指して開設した犬山空手教室は、今年で24年目を迎えました。結成当時は、わずか14名の子ども達だけのスタートでしたが、その後少しずつ人数も増え、今では100名余の団員を抱える教室にまで成長しています。

空手の稽古風景を見学していた保護者の中に「私もやってみよう!」という声が挙がり、平成11年には「犬山空手道会」を発足し、犬山市体育協会に加盟する運びとなりました。

現在は、会員約20名、武道館で週1回の稽古を行っています。

今後も日本の伝統武道を通して青少年の健全育成と共に、私達自身の健康維持・促進に役立てていきたいと考えています。



犬山市民空手道大会「開会式」

活動内容

毎年、3月に総会を開き、年間事業計画に基づいて活動を推進している。

○春季犬山市民空手道大会参加・運営・支援（審判）

市民の体力づくり、空手道の普及、及び技術の向上を目標として実施している。市内の児童・生徒、在住・在勤の一般、または犬山市スポーツ少年団に所属している約100名の参加を得て、空手形・組手試合を行っている。

○四市交歓体育大会（空手競技）参加・支援（審判）

小牧市で行われた第49回大会では、組み手の部で優勝、空手形の部では準優勝、総合で第1位の好成績を収めることができた。

○夏の合宿参加・支援

犬山空手教室との合同合宿を毎年八曾の里（岐阜県）で行ってきたが、今年は会場の都合でデイキャンプ（昭和村）に変更して実施した。空手の稽古の他に小学生から大人までの親睦を目的としている。

○四市（犬山・江南・岩倉・小牧）少年少女空手道大会 運営・支援（審判）

春季犬山市民空手道大会で選抜された代表選手が参加する。会場は持ち回りで17年度は犬山市が会場となり、その運営や支援にあたる。

○尾張西部空手道大会参加・支援（審判）

毎年、岩倉市総合体育文化センターを会場として6月に実施される。犬山市からも小学生から大人まで約30名が参加し、例年好成績を収めている。



組手試合「エイ！ヤー！」

○犬山空手教室演武会参加・支援（審判）

1年間の練習成果を保護者や地域のみなさんの前で発表する。主な演武内容は、空手形、組術、古武道（棒、ヌンチャク、サイ、鎌、トンファーなど）形、組術、試割、組手試合などをそれぞれの技能（色帯）別や学年別に実施している。



寒稽古「針綱神社までファイト！」

○岩倉市民武道大会支援（審判）

愛知県下の各道場（約50団体）から、小学3年生以上中学生までの選手500名以上が参加して行われ、レベルの高い大会としても知られている。犬山市からは毎年30名前後の選手が参加し、好成績を取めている。

○寒稽古への参加と支援

1月の第2日曜日に初稽古を兼ねて毎年丸山学供で行っている。空手の基本や形の稽古をした後、ランニングをしながら針綱神社と成田山にお参りし、1年間の健康と安全と空手の上達を祈願する。丸山学供では、父母の会の役員さん達が心をこめて作られた熱々の豚汁とおにぎりをいただき、「今年も頑張ろう！」と心を新たにする。

■ 研修内容

○審判研修会

（財）全日本空手道連盟競技規定に基づいて、ルールの学習会や実技研修会を年3回実施し、審判技術の向上に努めている。

○月例研修会

毎月、第1土曜日の稽古の後、お茶を飲みながら空手談義と親睦を目的として行っている。和やかな雰囲気の中での語らいは、空手仲間の楽しみのひとつである。

○研修旅行

年1回、1泊2日の研修旅行をしている。今年は、長谷川流棒術を継承してみえる長谷川秀子氏宅（奈良県柳生の里）を訪ね、宗家のルーツ等について色々とお話を伺った。帰路につく間際には、高齢にも拘わらず秀子氏自らが杖の形「水引」を解説付きで演武され、私たちは感銘を受けた。



研修旅行「柳生の里を訪ねて」

■ 役員名簿（犬山空手道会）

役員	氏名
会長	浦本 直記
副会長	岡 重行
理事	服部 邦彦 長谷川直人 西野 輝一
事務局	加藤 元子
会計	梶 満博
体育協会理事	浦本 直記

犬山ペタンク協会

“ペタンクとは老若男女問わず楽しめるゲーム”

ペタンクとは単純そのもので、初心者でも第一投から心おきなく楽しめる。

ゴルフとペタンクをちょっぴり比較して見ると、ゴルフは個人プレーだが、ペタンクは一般的にダブルス（2名）かトリプルス（3名）で1チームとして競技する。相手のボールに触れてはならないゴルフに対して、ペタンクでは相手の邪魔なボールを容赦なく打ち飛ばすことができる。ゴルフボールはほぼ統一（直径42.6mm以上重量45.9g以下）されているが、ペタンクは自分の体に合わせて（直径70.5～80.0mm重量650～800.0g）選ぶことが出来る良さがあります。

あゆみ

平成10年に犬山ペタンク同好会を結成、約15名ほどの会員が、するすみ公園、山の田公園で活動してきました。

平成12年4月1日犬山市体育協会に加盟団体として犬山ペタンク協会を認めていただきました。犬山市体育協会主要行事に参加、犬山ペタンク協会には皆様のご支援と協力を得ながら、するすみ公園で活動しています。

活動

活動としては、犬山市民大会と定例カップ大会を中心に年4～5回の大会活動をしています。毎週水曜日と木曜日午後1時30分より、するすみ公園で参加人数によってトリプルス（3人・6球）、ダブルス（2人・6球）の2・4または6チームに分かれ楽しく練習をしています。

愛知県ペタンク協会主要行事として年間12～14回の大会が開催されています。このうち、2大会の運営スタッフとして運営に携わっております。



開催月	大会名	開催場所	開催月	大会名	開催場所
4月	愛知選手権	刈谷駅南G	9月	N・S・F	大府横根G
5月	ねんりん(愛)	熱田公園K	10月	小牧ペタンク	小牧南SC
5月	ねんりん(名)	瑞浪公園K	11月	初心者親睦	豊川公園
6月	南区大会	三井G	12月	干支取ペタンク	瑞穂公園K
7月	日選手権(予)	名状公園H	2月	シニアペタンク	美浜G
8月	なごやかカップ	瑞穂公園R	10月	スポレク	熱田公園K
8月	東浦大会	東浦北部G			

上記以外にもペタンク月例親睦大会が毎月1回名城公園を中心に刈谷、東浦、美浜、知立等の大会にも参加している。

会員名簿

協会役	氏名	備考
	浦野 章	
会 計	大竹恵美子	
理 事	小川 種子	岡田 昌子 指導員
	掛札 すう	
	片山 鈴子	指導員・審判員
監 事	木村 秀子	菅 誠
会 長	杉本 安久	指導員
	関屋 幸夫	
	林 嘉門	指導員・審判員
理 事	舟橋 英子	加茂 秀夫
	古谷 恭子	保浦 鈴子 指導員



編 集 後 記

昭和29年、犬山市制とともに設立された犬山市体育協会も50年という節目を迎え、これまでの歴史を形にして長くとどめ、その存在意義を改めて確認できたらと記念誌「50年のあゆみ」を発行することになりました。「体協35年のあゆみ」を発行した経緯もあり、以後の15年に主力を置いて作成いたしました。

今日では当たり前のように存在している体育協会ですが、50年という歴史を掘り起こしていくうちに本当に多くの方々が携わられたことを知り、その重さを今更ながら痛感することとなりました。特に設立にあたっては生みの苦しみと申しますか、かなりの苦労があったとお聞きするに及び、当時の状況を思いますとただ頭が下がるばかりです。そんな苦難をものともせず乗り越え設立に至ったのは、他ならぬ先人諸氏の何としてでも立ち上げようとする強い『志』があったからではないでしょうか。

こうして刻まれた熱い『志』を受け継ぎ、未来に向け時の流れに的確かつ柔軟に反応できる組織として今後の歴史を築いていければと思っております。

最後に、編集にあたっては体協役員、各団体役員はじめ、関係者の方々に多大なるご協力をいただき深く感謝しております。また関係各位だけでなく市民の皆様がこの冊子を手になされ、体協とスポーツに興味を持っていただければ幸いです。

犬山市体育協会 広報委員会

発 刊 平成17年3月31日
発 行 犬山市体育協会
編 集 犬山市体育協会 広報委員会
〒484-0082
犬山市大字犬山字北古券12番地
(犬山市体育館内)
Tel 0568-61-0544
Fax 0568-61-8855
URL <http://www.inuyama.net/^taikyou>
E-mail taikyou@inuyama.net
印 刷 株式会社 コームラ
URL <http://www.kohmura.co.jp>